

子どもの生活に関する調査

- 子どもの規範意識を高めるために -

平成 18 年 3 月

栃木県総合教育センター

はじめに

今日、いじめ、不登校、青少年犯罪の凶悪化・低年齢化などの問題に加え、学力や体力の低下、学習や運動への意欲や能力の二極化なども課題となっています。さらには、幼い子どもたちをねらった卑劣な犯罪も多発しており、学校の安全をいかに確保するかが、喫緊の課題としてクローズアップされていることは悲しいことです。

栃木県教育委員会では、重点施策の一つに「心の教育」を位置付け、その機会をとらえて推進を図ってきました。栃木県総合教育センターにおいても、子どもたちの生活の現状と問題点の把握に努め、子どもたちの心を健全に成長させるための糸口を探ってきました。平成 16、17 年度には、子どもたち一人一人の生活に着目した「児童生徒の生活状況調査」を行い、その結果の報告とともに、大人が子どもとどうかかわるべきかについて7つの提言をしたところです。

今年度は、子どもたちの規範意識に着目して調査を行い、その中で、子どもたちの意識や行動に最も大きな影響を与える保護者の意識および家庭でのしつけの状況についても調査をしました。保護者から寄せられた回答内容の多くからは、子どもたちの健全な成長とよりよい社会の構築への期待を感じとることができました。この一人一人の思いを、多くの人の思いにして行動に移していくことができれば、子どもたちを社会全体で育てていく推進力になるでしょう。

この調査結果を、家庭・地域・学校、そして教育行政・一般行政機関を含めた子どもたちにかかわるすべての方々に、子どもたちのよりよき成長と健全な規範意識の涵養に向けて、役立てていただけることを期待します。

平成 18 年 3 月

栃木県総合教育センター 所長
佐藤 信勝

目次

1章	調査の概要	-----	1
	1 調査の目的		
	2 調査の方法		
	3 質問の構成		
	4 集計・分析		
2章	単純集計結果・分析	-----	5
	家庭でのしつけに関すること	-----	7
	1 児童生徒の調査結果について		
	2 保護者の調査結果について		
	ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	-----	19
	1 児童生徒の調査結果について		
	2 保護者の調査結果について		
	規範意識の向上に関すること	-----	35
3章	クロス集計結果・分析	-----	51
4章	まとめ	-----	59
5章	資料	-----	65
	・ 子どもの生活に関するアンケート（児童生徒用）		
	・ 子どもの生活に関するアンケート（保護者用）		
	・ 、 の項目ごとの集計結果を示した表およびグラフ		

1 章 調査の概要

1 調査の目的

本県の施策である「栃木の子どもをみんなで育てよう運動」の中に示されている「人に迷惑をかけることは『ダメ』と言おう」に関連し、「子どもの生活に関するアンケート」調査を行い、児童生徒の規範意識や実際の行動の様子、保護者の意識や家庭でのしつけ等について把握する。

2 調査の方法

(1) 抽出方法

小学校第5学年、中学校第2学年、高等学校第2学年（全日制）の児童生徒それぞれ300人程度とその保護者を想定し、学校を抽出した。

ア 県内市町村立小・中学校

市町村人口規模別、学校規模別のグループを設定し、それぞれのグループから無作為に抽出し、その学校の該当学年の1学級を対象とした。

イ 県立高等学校

全日制高校について、学区・学科別のグループを設定し、それぞれのグループから無作為に抽出し、その学校の該当学年の1学級を対象とした。

(2) 調査対象

学 年	対象 学校数	有効回答者数	
		児童生徒（男子・女子）	保護者
小学校第5学年	13	373（195・178）	338
中学校第2学年	12	361（175・186）	340
高等学校第2学年	10	390（211・179）	363
計	35	1124（581・543）	1041

(3) 調査方法

質問紙により行った。所要時間は20分程度を想定した。

(4) 実施時期

児童生徒について

平成17年7月4日（月）～夏休み前日までの期間の適当な日時を学校が定めた。

保護者について

平成17年7月4日（月）～夏休み前日までの期間に、児童生徒を通じて配布・回収した。

3 質問の構成

この調査では、 . . . の領域に分けて質問を構成した。

領域	項目数	質問内容（児童生徒）	質問内容（保護者）
家庭でのしつけに関すること	19 項目	家庭で話題になったり、家の人から言われたりすることがどれくらいあるか	その必要性や大切さを子どもと話したり、子どもに言って聞かせたりすることがどれくらいあるか
		それらのことがどれくらいできているか	子どもは、それらのことがどれくらいできているか
ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	16 項目	小・中・高校生がそのような行動をとることをどう思うか	自分の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するか
		周囲にそのような行動をとる人がいたらどう感じるか	自分の子ども以外の子どものような行動をとったとしたら注意するか
規範意識の向上に関すること	児童生徒 5 項目	保護者や地域の人からしかられたり注意されたりしたことの体験	自分の子どもや自分の子ども以外の子どもの、しかったり注意したりしたことの体験
	保護者 3 項目	ルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うか	子どもたちのルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うか

では「家庭でのしつけに関すること」、では「ルールやマナーについての善悪の判断に関すること」について、児童生徒・保護者とも共通の質問項目を2段階で質問した。質問内容は児童生徒・保護者でやや異なっている。回答はすべて選択肢とした。

では、「規範意識の向上に関すること」について、児童生徒は選択肢と記述により、保護者は記述により回答を求めた。

4 集計・分析

- (1) 回答のうち有効なものについて単純集計を行った。その結果から表やグラフを作成し、考察した。
- (2) 領域間の関係を見るためにクロス集計を行い、考察した。

2章 単純集計結果・分析

- ◆ ここでは、回答された選択肢の割合をいくつか合わせて示したり、あるいは、選択肢の一部のみの割合を示したりしている。
また、項目ごとの学年間の違いと学年ごとの項目の特徴を同時に見るために、折れ線グラフで示しているが、項目間の関連があるわけではない。
- ◆ それぞれの質問項目については、「5章 資料」の71ページから105ページに詳細な結果を掲載してあるので、参照してほしい。

家庭でのしつけに関すること

「家庭でのしつけに関すること」の質問は、次の表に示す 19 項目である。
 なお、これ以降は、表中に示す略称を用いる。

	質問項目	略称
1	家族そろって食事をする	家族そろって食事をする
2	毎日、朝食を食べる	毎日、朝食を食べる
3	自分で起床する	自分で起床する
4	睡眠を十分にとる	睡眠を十分にとる
5	身のまわりの整理整頓をする	整理整頓をする
6	自分のことは自分でする	自分のことは自分でする
7	言ったことやしたことに責任をもつ	言動に責任をもつ
8	家の手伝いをする	家の手伝いをする
9	命を大切にする	命を大切にする
10	うそをついたり、人をだましたりしない	うそをつかない
11	約束を守る	約束を守る
12	人に親切にする	人に親切にする
13	友達や先生、近所の人などに「おはよう」「おはようございます」などのあいさつをする	あいさつをする
14	人に何かをしてもらったときに「ありがとう」「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言う	感謝の言葉を言う
15	人に迷惑をかけたときや自分が間違ったときに「ごめんなさい」「すみません」などとあやまる	間違ったときはあやまる
16	言葉づかいに気をつける	言葉づかいに気をつける
17	テレビゲームや携帯電話などを使うときは、使いすぎないようにする	ゲームや携帯を使いすぎない
18	お金を大切にする	お金を大切にする
19	物を大切にする	物を大切にする

1 児童生徒の調査結果について

この表は、4 ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
家庭でのしつけに関すること	19 項目	家庭で話題になったり、家の人から言われたりすることがどれくらいあるか		よく言われる ときどき言われる あまり言われない まったく言われない
		それらのことがどれくらいできているか		よくできている だいたいできている あまりできていない まったくできていない

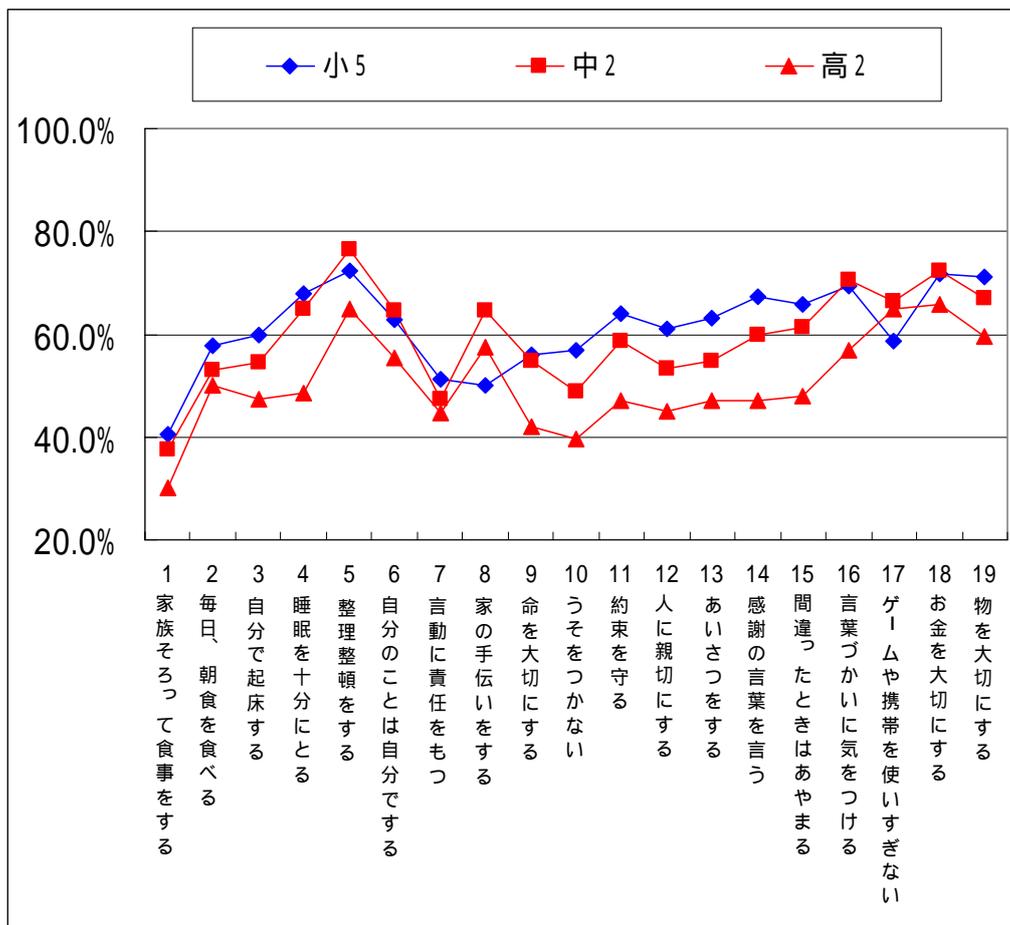
では、家庭で話題になったり、家の人から言われたりすることがどれくらいあるか、その頻度を質問した。

では、それらのことがどれくらいできているか、その程度を質問した。

(1)家庭で話題になったり、家の人から言われたりする頻度

質問 「1から19のことが家庭で話題になったり、家の人から言われたりするものがどれくらいありますか。」

下のグラフは、各質問項目の「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合						
順位	小5	中2	高2			
1	整理整頓をする	72.3%	整理整頓をする	76.5%	お金を大切ににする	65.7%
2	お金を大切ににする	71.8%	お金を大切ににする	72.2%	ゲームや携帯を使いすぎない	65.0%
3	物を大切ににする	71.0%	言葉づかいに気をつける	70.6%	整理整頓をする	64.8%
4	言葉づかいに気をつける	69.5%	物を大切ににする	67.0%	物を大切ににする	59.6%
5	睡眠を十分にとる	67.8%	ゲームや携帯を使いすぎない	66.3%	家の手伝いをする	57.3%
6	感謝の言葉を言う	67.2%	睡眠を十分にとる	64.8%	言葉づかいに気をつける	56.8%
7	間違ったときはあやまる	65.7%	家の手伝いをする	64.7%	自分のことは自分でする	55.3%
8	約束を守る	64.1%	自分のことは自分でする	64.6%	毎日、朝食を食べる	50.0%
9	あいさつをする	63.3%	間違ったときはあやまる	61.3%	睡眠を十分にとる	48.6%
10	自分のことは自分でする	62.8%	感謝の言葉を言う	60.0%	間違ったときはあやまる	48.1%
11	人に親切にする	61.2%	約束を守る	58.7%	自分で起床する	47.4%
12	自分で起床する	59.7%	命を大切ににする	54.9%	約束を守る	47.0%
13	ゲームや携帯を使いすぎない	58.8%	あいさつをする	54.8%	あいさつをする	47.0%
14	毎日、朝食を食べる	57.8%	自分で起床する	54.6%	感謝の言葉を言う	47.0%
15	うそをつかない	56.9%	人に親切にする	53.2%	人に親切にする	45.0%
16	命を大切ににする	55.9%	毎日、朝食を食べる	53.1%	言動に責任をもつ	44.4%
17	言動に責任をもつ	51.1%	うそをつかない	48.8%	命を大切ににする	42.0%
18	家の手伝いをする	50.1%	言動に責任をもつ	47.3%	うそをつかない	39.6%
19	家族そろって食事をする	40.5%	家族そろって食事をする	37.7%	家族そろって食事をする	30.2%

〔結果から見られる特徴〕

- ア 学年ごとに 19 項目の「言われる」(「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合)の平均値を求めると、小5は61.4%、中2は59.5%、高2は50.6%であり、全体的に学年が上がるにしたがって低くなっている。
- イ 「17. ゲームや携帯を使いすぎない」、「8. 家の手伝いをする」は、全体的傾向とは違い、中2、高2の「言われる」割合が高く、小5の「言われる」割合が低い。
- ウ 「5. 整理整頓をする」、「18. お金を大切に使う」、「19. 物を大切に使う」、「16. 言葉づかいに気をつける」は、どの学年の中でも「言われる」と回答している割合が高い。
- エ 「1. 家族そろって食事をする」、「7. 言動に責任をもつ」、「10. うそをつかない」は、どの学年の中でも「言われる」と回答している割合が低い。
- オ 「1. 家族そろって食事をする」は、どの学年の中でも最も「言われる」と回答している割合が低い。
- カ 「9. 命を大切に使う」は、小5と高2の中では「言われる」と回答している割合が低い。

キ 「8. 家の手伝いをする」の男女の割合を見てみると、小5ではあまり男女差がないが、中2では11.4%、高2では20.2%女子の方が男子より高い。(表1参照、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合)

家の手伝いをする		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
小5	男	53 27.7%	39 20.4%	53 27.7%	46 24.1%	191
	女	58 33.0%	34 19.3%	49 27.8%	35 19.9%	176
	計	111 30.2%	73 19.9%	102 27.8%	81 22.1%	367
中2	男	40 22.9%	63 36.0%	44 25.1%	28 16.0%	175
	女	83 44.9%	47 25.4%	40 21.6%	15 8.1%	185
	計	123 34.2%	110 30.6%	84 23.3%	43 11.9%	360
高2	男	40 19.0%	61 29.0%	57 27.1%	52 24.8%	210
	女	58 32.4%	64 35.8%	40 22.3%	17 9.5%	179
	計	98 25.2%	125 32.1%	97 24.9%	69 17.7%	389

表 1

ク 「16. 言葉づかいに気をつける」の男女の割合を見てみると、中2ではあまり男女差がないが、小5では16.4%、高2では18.9%女子の方が男子より高い。(表2参照、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合)

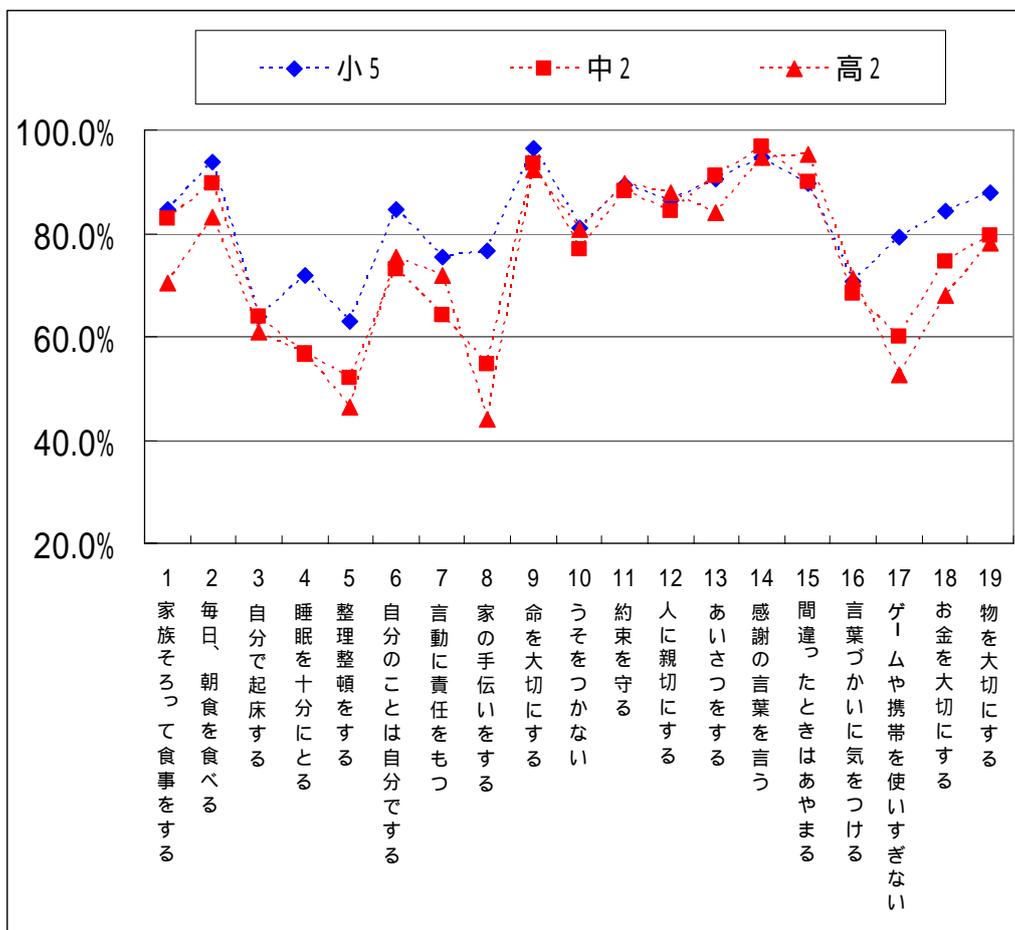
言葉づかいに気をつける		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
小5	男	74 38.3%	45 23.3%	42 21.8%	32 16.6%	193
	女	89 50.3%	49 27.7%	21 11.9%	18 10.2%	177
	計	163 44.1%	94 25.4%	63 17.0%	50 13.5%	370
中2	男	55 31.6%	60 34.5%	29 16.7%	30 17.2%	174
	女	75 40.3%	64 34.4%	32 17.2%	15 8.1%	186
	計	130 36.1%	124 34.4%	61 16.9%	45 12.5%	360
高2	男	49 23.3%	52 24.8%	51 25.2%	56 26.7%	210
	女	69 38.5%	51 28.5%	33 18.4%	26 14.5%	179
	計	118 30.3%	103 26.5%	86 22.1%	82 21.1%	389

表 2

(2)できている程度

質問 「あなたは、そのことがどれくらいできていますか。」

下のグラフは、各質問項目の「よくできている」と「だいたいできている」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



順位	小5	中2	高2
1	命を大切ににする 96.5%	感謝の言葉を言う 96.7%	間違ったときはあやまる 95.4%
2	感謝の言葉を言う 94.6%	命を大切ににする 93.6%	感謝の言葉を言う 94.6%
3	毎日、朝食を食べる 93.8%	あいさつをする 91.1%	命を大切ににする 92.3%
4	あいさつをする 90.5%	間違ったときはあやまる 89.9%	約束を守る 89.7%
5	間違ったときはあやまる 89.7%	毎日、朝食を食べる 89.6%	人に親切にする 87.9%
6	約束を守る 89.3%	約束を守る 88.1%	あいさつをする 84.1%
7	物を大切ににする 87.9%	人に親切にする 84.2%	毎日、朝食を食べる 83.2%
8	人に親切にする 86.5%	家族そろって食事をする 82.8%	うそをつかない 80.9%
9	家族そろって食事をする 84.7%	物を大切ににする 79.6%	物を大切ににする 78.1%
10	自分のことは自分でする 84.6%	うそをつかない 76.9%	自分のことは自分でする 75.4%
11	お金を大切ににする 84.4%	お金を大切ににする 74.4%	言動に責任をもつ 72.0%
12	うそをつかない 81.1%	自分のことは自分でする 73.0%	言葉づかいに気をつける 71.3%
13	ゲームや携帯を使いすぎない 79.3%	言葉づかいに気をつける 68.3%	家族そろって食事をする 70.5%
14	家の手伝いをする 76.5%	言動に責任をもつ 64.1%	お金を大切ににする 67.9%
15	言動に責任をもつ 75.3%	自分で起床する 64.0%	自分で起床する 61.0%
16	睡眠を十分にとる 71.9%	ゲームや携帯を使いすぎない 59.9%	睡眠を十分にとる 56.8%
17	言葉づかいに気をつける 70.5%	睡眠を十分にとる 56.8%	ゲームや携帯を使いすぎない 52.6%
18	自分で起床する 64.0%	家の手伝いをする 54.6%	整理整頓をする 46.4%
19	整理整頓をする 62.9%	整理整頓をする 51.9%	家の手伝いをする 44.0%

〔結果から見られる特徴〕

ア 「2. 毎日、朝食を食べる」、「9. 命を大切にする」、「10. うそをつかない」、「11. 約束を守る」、「12. 人に親切にする」、「13. あいさつをする」、「14. 感謝の言葉を使う」、「15. 間違ったときはあやまる」は、どの学年も高い割合で「できている」(「よくできている」と「だいたいできている」を合わせた割合)と回答している。

イ アに挙げた項目以外の項目では、多くの項目で中2と高2に比べ、小5の割合が高い。特に「4. 睡眠を十分にとる」、「8. 家の手伝いをする」、「17. ゲームや携帯を使いすぎない」では、その傾向が顕著である。

ウ 「9. 命を大切にする」、「14. 感謝の言葉を使う」、「15. 間違ったときはあやまる」は、どの学年の中でも「できている」と回答している割合が高い。

エ 「5. 整理整頓をする」は、どの学年の中でも「できている」と回答している割合が低い。さらに、男女の割合を見てみると、小5、中2では、女子が男子よりそれぞれ26.5%、11.5%「できている」と回答している割合が高い。一方、高2では、男子の方が20.9%高くなっている。(表3参照、「できている」と「だいたいできている」を合わせた割合)

整理整頓をする		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	男	26 13.6%	70 36.6%	65 34.0%	30 15.7%	191
	女	53 30.1%	82 46.6%	32 18.2%	9 5.1%	176
	計	79 21.5%	152 41.4%	97 26.4%	39 10.6%	367
中2	男	25 14.4%	55 31.6%	79 45.4%	15 8.6%	174
	女	17 9.1%	90 48.4%	62 33.3%	17 9.1%	186
	計	42 11.7%	145 40.3%	141 39.2%	32 8.9%	360
高2	男	39 18.5%	79 37.4%	64 30.3%	29 13.7%	211
	女	13 7.3%	49 27.7%	92 52.0%	23 13.0%	177
	計	52 13.4%	128 33.0%	156 40.2%	52 13.4%	388

表 3

オ 「8. 家の手伝いをする」は、中2と高2の中では「できている」と回答している割合が低い。

カ 「10. うそをつかない」では、どの学年も女子の方が男子より10~15%「できている」と回答している割合が高い。(表4参照、「できている」と「だいたいできている」を合わせた割合)

うそをつかない		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	男	65 33.9%	81 42.2%	39 20.3%	7 3.6%	192
	女	62 34.8%	92 51.7%	19 10.7%	5 2.8%	178
	計	127 34.3%	173 46.8%	58 15.7%	12 3.2%	370
中2	男	48 27.6%	75 43.1%	44 25.3%	7 4.0%	174
	女	44 23.7%	110 59.1%	25 13.4%	7 3.8%	186
	計	92 25.6%	185 51.4%	69 19.2%	14 3.9%	360
高2	男	48 22.9%	108 51.4%	42 20.0%	12 5.7%	210
	女	65 36.7%	92 52.0%	18 10.2%	2 1.1%	177
	計	113 29.2%	200 51.7%	60 15.5%	14 3.6%	387

表 4

(3) 児童生徒の結果から考えられること

- お金や物などの使い方という観点から、「17. ゲームや携帯を使いすぎない」、「18. お金を大切にする」、「19. 物を大切にする」の問いを設定したが、「ゲーム」と「携帯電話」では、質的な意味において違いがあるようである。「17. ゲームや携帯を使いすぎない」については、中高校生の携帯電話の所有率が高まっていることから、その使用に関して家庭内で話題になることが多くなっていると考えられる。
- 9～15の、人と接する場面での行動に関するような項目については、できているという意識が高いが、3～8の、自分自身の行動に関するような項目では、できているという意識は低いようである。

2 保護者の調査結果について

この表は、4 ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
家庭でのしつけに関すること	19 項目		その必要性や大切さを子どもと話したり、子どもに言って聞かせたりすることがどれくらいあるか	よく話す ときどき話す あまり話さない まったく話さない
			子どもは、それらのことがどれくらいできているか	よくできている だいたいできている あまりできていない まったくできていない

保護者も、児童生徒と同様に、2 段階に分けて質問した。

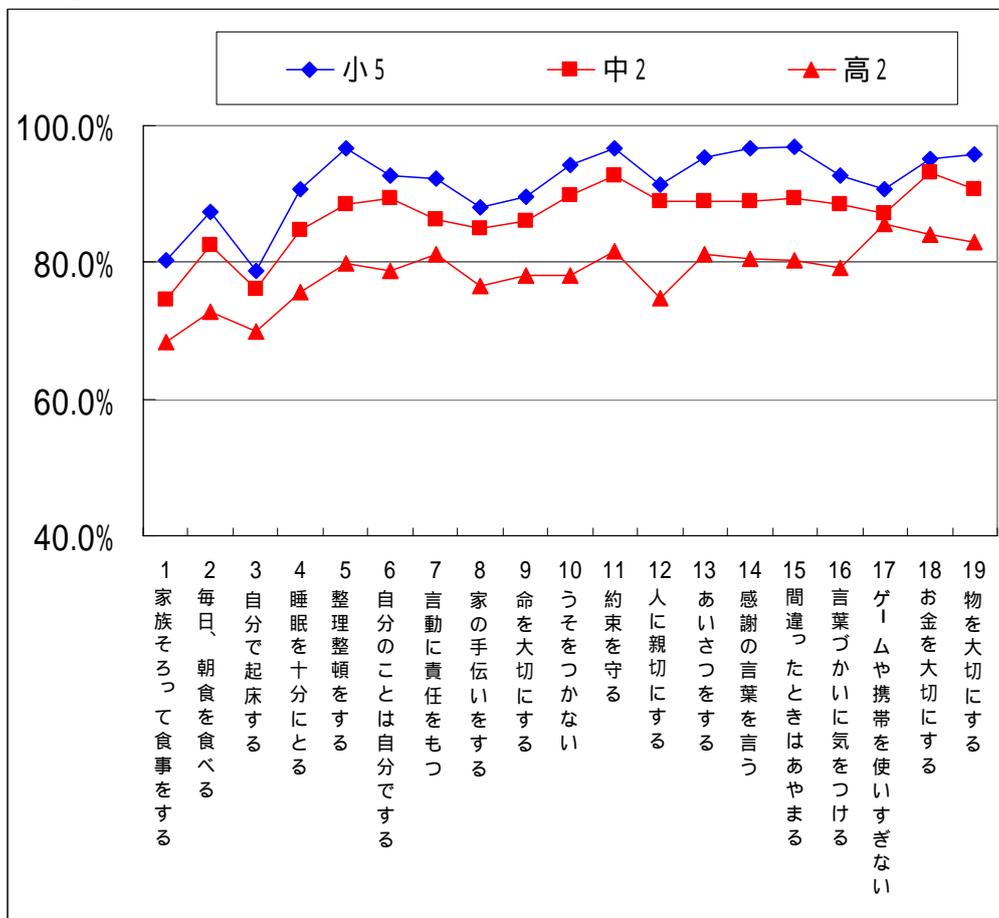
では、その必要性や大切さを子どもと話したり、子どもに言って聞かせたりすることがどれくらいあるか、その頻度を質問した。

では、子どもが、それらのことがどれくらいできているか、その程度を質問した。

(1) 必要性や大切さを子どもと話したり、言って聞かせたりする頻度

質問 「その必要性や大切さを子どもと話したり、子どもに言って聞かせたりすることが、どれくらいありますか。」

下のグラフは、各質問項目の「よく話す」と「ときどき話す」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



順位	小5		中2		高2	
1	間違ったときはあやまる	96.9%	お金を大切にす	93.1%	ゲームや携帯を使いすぎない	85.7%
2	整理整頓をする	96.6%	約束を守る	92.7%	お金を大切にす	84.1%
3	約束を守る	96.6%	物を大切にす	90.6%	物を大切にす	82.8%
4	感謝の言葉を言う	96.6%	うそをつかない	89.8%	約束を守る	81.6%
5	物を大切にす	95.7%	間違ったときはあやまる	89.4%	言動に責任をもつ	81.2%
6	あいさつをする	95.4%	自分のことは自分でする	89.3%	あいさつをする	81.2%
7	お金を大切にす	95.1%	感謝の言葉を言う	88.9%	感謝の言葉を言う	80.5%
8	うそをつかない	94.2%	人に親切にする	88.9%	間違ったときはあやまる	80.3%
9	自分のことは自分でする	92.6%	あいさつをする	88.9%	整理整頓をする	79.9%
10	言葉づかいに気をつける	92.6%	言葉づかいに気をつける	88.6%	言葉づかいに気をつける	79.1%
11	言動に責任をもつ	92.3%	整理整頓をする	88.4%	自分のことは自分でする	78.8%
12	人に親切にする	91.4%	ゲームや携帯を使いすぎない	87.0%	うそをつかない	78.0%
13	睡眠を十分にとる	90.8%	言動に責任をもつ	86.2%	命を大切にす	78.0%
14	ゲームや携帯を使いすぎない	90.7%	命を大切にす	86.1%	家の手伝いをする	76.6%
15	命を大切にす	89.6%	家の手伝いをする	84.9%	睡眠を十分にとる	75.7%
16	家の手伝いをする	88.0%	睡眠を十分にとる	84.7%	人に親切にする	74.7%
17	毎日、朝食を食べる	87.3%	毎日、朝食を食べる	82.4%	毎日、朝食を食べる	72.9%
18	家族そろって食事をする	80.4%	自分で起床する	76.2%	自分で起床する	69.9%
19	自分で起床する	78.7%	家族そろって食事をする	74.5%	家族そろって食事をする	68.4%

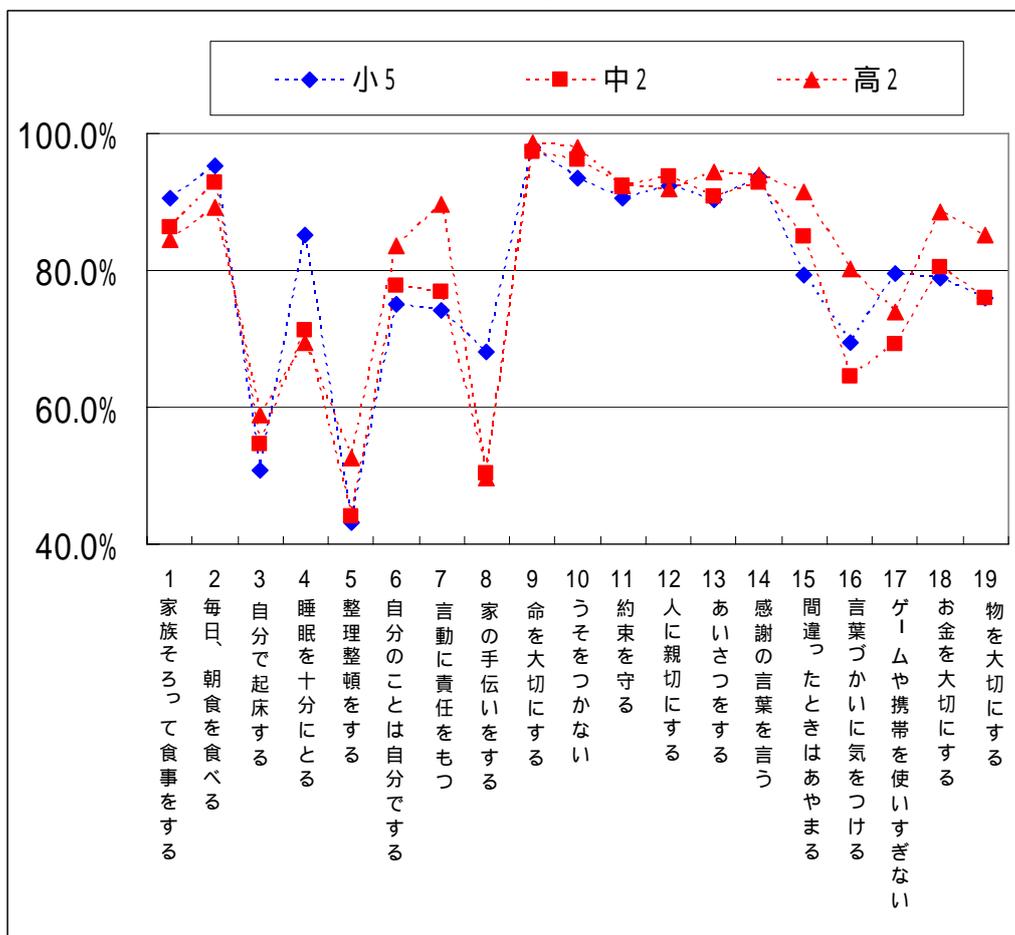
〔結果から見られる特徴〕

- ア すべての項目で、小5の割合が最も高く、中2、高2と学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。
- イ 「11．約束を守る」、「19．物を大切に使う」は、どの学年の中でも「話す」（「よく話す」と「ときどき話す」を合わせた割合）と回答している割合が高い。
- ウ 「1．家族そろって食事を食べる」、「2．毎日、朝食を食べる」、「3．自分で起床する」は、どの学年の中でも「話す」と回答している割合が低い。
- エ 中2、高2の「18．お金を大切に使う」、高2の「17．ゲームや携帯を使いすぎない」は、それぞれの学年の中で、「話す」割合が高い。

(2) 子どもができている程度

質問 「お子様は、そのことがどれくらいできていますか。」

下のグラフは、各質問項目の「よくできている」と「だいたいできている」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



「よくできている」と「だいたいできている」を合わせた割合						
順位	小5		中2		高2	
1	命を大切にすること	97.9%	命を大切にすること	97.3%	命を大切にすること	98.6%
2	毎日、朝食を食べる	95.3%	うそをつかない	96.2%	うそをつかない	98.1%
3	感謝の言葉を言う	93.8%	人に親切にする	93.7%	あいさつをする	94.4%
4	うそをつかない	93.5%	感謝の言葉を言う	92.9%	感謝の言葉を言う	93.9%
5	人に親切にする	92.3%	毎日、朝食を食べる	92.8%	約束を守る	92.3%
6	家族そろって食事をする	90.6%	約束を守る	92.3%	人に親切にする	91.9%
7	約束を守る	90.5%	あいさつをする	90.8%	間違ったときはあやまる	91.4%
8	あいさつをする	90.2%	家族そろって食事をする	86.3%	言動に責任をもつ	89.7%
9	睡眠を十分にとる	85.1%	間違ったときはあやまる	84.9%	毎日、朝食を食べる	89.2%
10	ゲームや携帯を使いすぎない	79.5%	お金を大切にすること	80.5%	お金を大切にすること	88.5%
11	間違ったときはあやまる	79.3%	自分のことは自分ですること	77.7%	物を大切にすること	85.2%
12	お金を大切にすること	78.9%	言動に責任をもつ	76.9%	家族そろって食事をする	84.4%
13	物を大切にすること	76.0%	物を大切にすること	76.0%	自分のことは自分ですること	83.6%
14	自分のことは自分ですること	75.1%	睡眠を十分にとる	71.2%	言葉づかいに気をつける	80.2%
15	言動に責任をもつ	74.1%	ゲームや携帯を使いすぎない	69.1%	ゲームや携帯を使いすぎない	74.0%
16	言葉づかいに気をつける	69.4%	言葉づかいに気をつける	64.6%	睡眠を十分にとる	69.5%
17	家の手伝いをする	68.2%	自分で起床すること	54.5%	自分で起床すること	58.8%
18	自分で起床すること	50.9%	家の手伝いをする	50.4%	整理整頓をする	52.5%
19	整理整頓をする	43.2%	整理整頓をする	44.0%	家の手伝いをする	49.6%

〔結果から見られる特徴〕

- ア 9～15の、人と接する場面での行動に関するような項目では、「できている」「よくできている」と「だいたいできている」を合わせた割合が高いが、3～8など、自分自身の行動に関するような項目では、「できている」割合が低いものが多い。
- イ 「9．命を大切にする」は、すべての学年で「できている」と回答した割合が最も高い。また、「10．うそをつかない」「14．感謝の言葉を言う」も、どの学年の中でも回答の割合が高い。
- ウ 「3．自分で起床する」「5．整理整頓をする」「8．家の手伝いをする」が、どの学年の中でも「できている」割合が低い。しかし、これらと関連の深い「6．自分のことは自分でする」「7．自分の言動に責任をもつ」「9．約束を守る」は比較的高い。

(3)保護者の結果から考えられること

- しつけに関することについて話す頻度は、全体的に小5が高く、中2、高2と学年が上がるにしたがって低くなっている。子どもが小さいときには、様々なことについて言って聞かせ、できるようにしていく、できなければその都度言って聞かせている、年令が上がるにしたがって多くのことを話す機会は減ってくるが、発達段階に応じた言葉かけをしているものと考えられる。
- 小5の「15.間違ったときはあやまる」、「11.約束を守る」、「14.感謝の言葉を言う」、「13.あいさつをする」などで保護者が子どもに話す割合が高いのは、小学生の段階では、子どもに基本的な人との接し方を身に付けさせようとする意識が高いからであろう。
- 中2、高2の「18.お金を大切に使う」、高2の「17.ゲームや携帯を使いすぎない」で保護者が話す割合が高いのは、発達段階に応じてお金の管理を子どもに委ねるようになっていくことや、子どもが扱う金額が大きくなっていくこと、行動が保護者の目の届く範囲から広がっていくこと、携帯電話等の所有率の上昇などの影響によることなどが考えられる。また、中・高校生の携帯電話所有率が高くなっている（「情報に関するアンケート」平成17年 総合教育センター調べ）ことから、携帯電話の使用にかかわる時間や金銭的な問題と、生活や学習等への影響について、保護者の多くが不安に思っていることの表れであると考えられる。
- 「できている」程度については、児童生徒同様、人と接する場面での行動に関するような項目については、できている意識が高いが、自分自身の行動に関するような項目ではできている意識は低いようである。
- 学年が上がるにしたがって、「自分で」、「責任をもつ」、「約束を守る」などはできるようにしていると評価してはいるものの、その中でも「起床」、「整理整頓」、「家の手伝い」などの評価が低い。その理由として、それらの行為は具体的に常に目に見えるものであることが考えられる。

ルールやマナーについての善悪の判断に関すること

「ルールやマナーについての善悪の判断に関すること」の質問は、次の表に示す16項目である。

なお、これ以降は、表中に示す略称を用いる。

	質問項目	略称
1	タバコを吸う	タバコを吸う
2	お酒を飲む	お酒を飲む
3	物をこわしたり、落書きしたりする	物の破壊や落書き
4	人に暴力をふるう	人に暴力をふるう
5	人のものを無断で使う	人のものを無断で使う
6	「いじめ」をする	「いじめ」をする
7	万引きをする	万引きをする
8	自転車の二人乗りや並進をする	自転車二人乗り・並進
9	自転車のかさ差し運転をする	自転車かさ差し運転
10	茶髪にしたり化粧したりする	茶髪・化粧
11	深夜出歩く	深夜出歩く
12	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、大声で話したり騒いだりする	大声で話す・騒ぐ
13	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、携帯電話で話す	携帯電話で話す
14	バスや電車の中で、座席を必要以上にとる	座席を必要以上にとる
15	電車の中や店さきなどで、しゃがみ込んだりじかに座ったりする	しゃがむ地べた座り
16	ごみをポイ捨てしたり置きっぱなしにしたりする	ポイ捨て

1 児童生徒の調査結果について

この表は、4ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	16項目	小・中・高校生がそのような行動をとることをどう思うか		悪い どちらかといえば悪い どちらかといえば悪くない 悪くない
		周囲にそのような行動をとる人がいたらどう感じるか		とてもいやな気がする 少しいやな気がする あまり気にならない まったく気にならない

でも、と同様、2段階に分けて質問した。

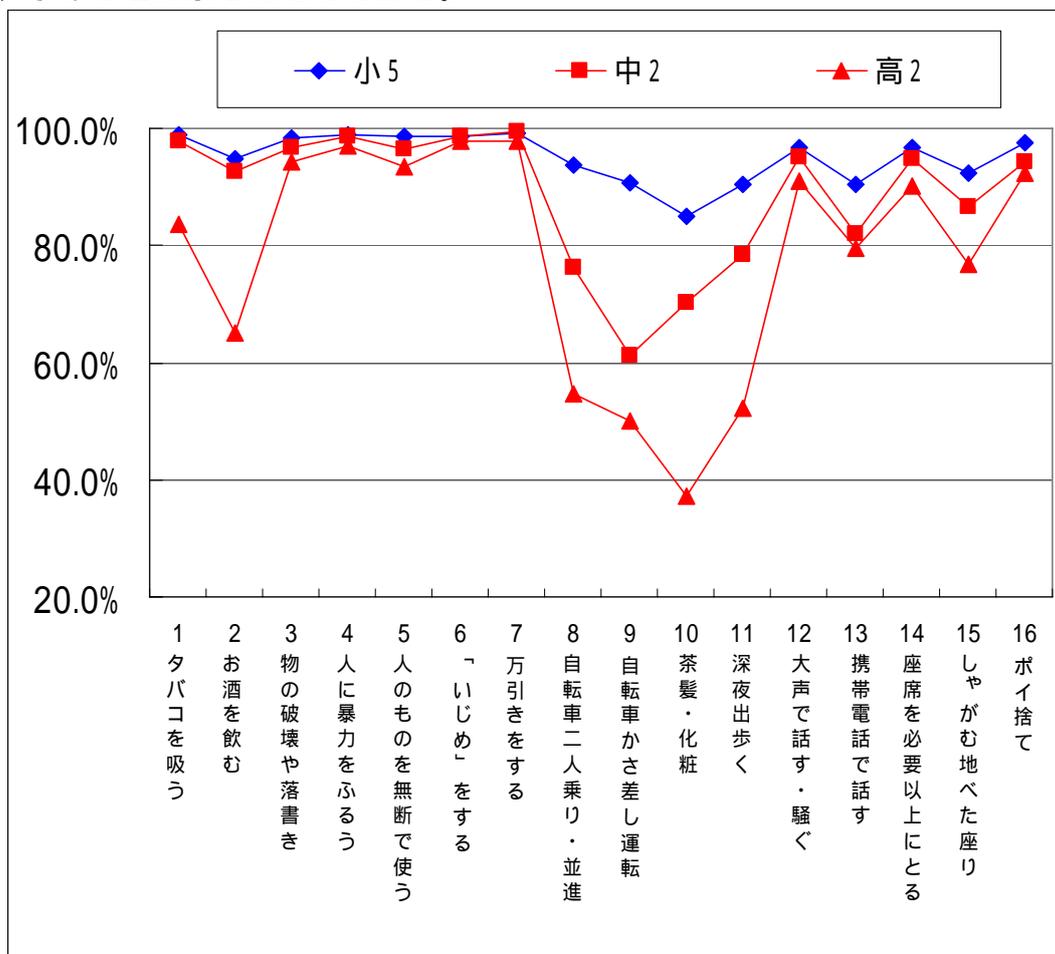
では、小・中・高校生がそのような行動をとることをどう思うか、その善悪の判断について質問した。

では、そのような行動をとる人が周囲にいたらどう感じるかを質問した。

(1)ルールやマナーについての善悪の判断

質問 「小学生、中学生、高校生がそれらのことをすることをどう思いますか。」

下のグラフは、各質問項目の「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



	小5		中2		高2	
1	万引きをする	99.2%	万引きをする	99.4%	「いじめ」をする	97.9%
2	タバコを吸う	98.9%	人に暴力をふるう	98.6%	万引きをする	97.7%
3	人に暴力をふるう	98.9%	「いじめ」をする	98.6%	人に暴力をふるう	96.9%
4	人のものを無断で使う	98.6%	タバコを吸う	97.8%	物の破壊や落書き	94.4%
5	「いじめ」をする	98.6%	物の破壊や落書き	96.7%	人のものを無断で使う	93.3%
6	物の破壊や落書き	98.4%	人のものを無断で使う	96.4%	ボイ捨て	92.3%
7	ボイ捨て	97.6%	大声で話す・騒ぐ	95.0%	大声で話す・騒ぐ	91.0%
8	大声で話す・騒ぐ	96.8%	座席を必要以上にとる	94.7%	座席を必要以上にとる	90.3%
9	座席を必要以上にとる	96.8%	ボイ捨て	94.2%	タバコを吸う	83.6%
10	お酒を飲む	94.9%	お酒を飲む	92.5%	携帯電話で話す	79.5%
11	自転車二人乗り・並進	93.8%	しゃがむ地べた座り	86.7%	しゃがむ地べた座り	76.7%
12	しゃがむ地べた座り	92.5%	携帯電話で話す	82.0%	お酒を飲む	65.1%
13	自転車かさ差し運転	90.8%	深夜出歩く	78.4%	自転車二人乗り・並進	54.6%
14	携帯電話で話す	90.6%	自転車二人乗り・並進	76.2%	深夜出歩く	52.2%
15	深夜出歩く	90.3%	茶髪・化粧	70.1%	自転車かさ差し運転	50.0%
16	茶髪・化粧	84.9%	自転車かさ差し運転	61.3%	茶髪・化粧	37.2%

〔結果から見られる特徴〕

ア 全体的に多くの項目で、「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答している割合が高いが、学年が上がるにしたがって低くなっている。特に「8. 自転車二人乗り・並進」、「9. 自転車かさ差し運転」、「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」は大きく低下している。

イ 高2の「1. タバコを吸う」、「2. お酒を飲む」の「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合は、それぞれ83.6%、65.1%と、小5、中2に比べ割合が低い。さらに、男女の差を見てみると、男子の方が女子よりも13.9%、17.0%それぞれ低い。(表5、6参照)

タバコを吸う		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	185	95.4%	8	4.1%	0	0.0%	1	0.5%	194
	女	160	89.9%	15	8.4%	2	1.1%	1	0.6%	178
	計	345	92.7%	23	6.2%	2	0.5%	2	0.5%	372
中2	男	152	87.4%	20	11.5%	1	0.6%	1	0.6%	174
	女	154	82.8%	26	14.0%	3	1.6%	3	1.6%	186
	計	306	85.0%	46	12.8%	4	1.1%	4	1.1%	360
高2	男	115	54.5%	48	22.7%	23	10.9%	25	11.8%	211
	女	126	70.4%	37	20.7%	10	5.6%	6	3.4%	179
	計	241	61.8%	85	21.8%	33	8.5%	31	7.9%	390

表 5

お酒を飲む		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	161	83.0%	23	11.9%	8	4.1%	2	1.0%	194
	女	138	77.5%	31	17.4%	5	2.8%	4	2.2%	178
	計	299	80.4%	54	14.5%	13	3.5%	6	1.6%	372
中2	男	120	68.6%	46	26.3%	8	4.6%	1	0.6%	175
	女	113	60.8%	55	29.6%	13	7.0%	5	2.7%	186
	計	233	64.5%	101	28.0%	21	5.8%	6	1.7%	361
高2	男	60	28.4%	61	28.9%	48	22.7%	42	19.9%	211
	女	63	35.2%	70	39.1%	33	18.4%	13	7.3%	179
	計	123	31.5%	131	33.6%	81	20.8%	55	14.1%	390

表 6

ウ 高2の「11. 深夜出歩く」、「15. しゃがむ地べた座り」の男女の差を見てみると、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合は、男子の方が女子より18.8%、20.4%それぞれ低い。(表7、8参照)

深夜出歩く		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	141	72.7%	33	17.0%	11	5.7%	9	4.6%	194
	女	124	69.7%	38	21.3%	11	6.2%	5	2.8%	178
	計	265	71.2%	71	19.1%	22	5.9%	14	3.8%	372
中2	男	67	38.3%	72	41.1%	24	13.7%	12	6.9%	175
	女	70	37.6%	74	39.8%	28	15.1%	14	7.5%	186
	計	137	38.0%	146	40.4%	52	14.4%	26	7.2%	361
高2	男	32	15.2%	60	28.4%	52	24.6%	67	31.8%	211
	女	29	16.3%	82	46.1%	45	25.3%	22	12.4%	178
	計	61	15.7%	142	36.5%	97	24.9%	89	22.9%	389

表 7

しゃがむ地べた座り		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	149	77.2%	26	13.5%	9	4.7%	9	4.7%	193
	女	141	79.2%	27	15.2%	5	2.8%	5	2.8%	178
	計	290	78.2%	53	14.3%	14	3.8%	14	3.8%	371
中2	男	86	49.1%	69	39.4%	11	6.3%	9	5.1%	175
	女	89	47.8%	69	37.1%	20	10.8%	8	4.3%	186
	計	175	48.5%	138	38.2%	31	8.6%	17	4.7%	361
高2	男	87	41.2%	55	26.1%	43	20.4%	26	12.3%	211
	女	69	38.5%	88	49.2%	15	8.4%	7	3.9%	179
	計	156	40.0%	143	36.7%	58	14.9%	33	8.5%	390

表 8

エ 「3. 物の破壊や落書き」、「4. 人に暴力をふるう」、「5. 人のものを無断で使う」、「6. 『いじめ』をする」、「7. 万引きをする」は、どの学年も「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答している割合が非常に高い。

オ 「４．人に暴力をふるう」では、４つの選択肢のうち「悪い」だけについて男女の差を見てみると、女子は約 94%でどの学年も差がない。一方、男子は、小５の 92.8%に対し、中２、高２では、77.0%、75.4%とそれぞれ低くなっており、女子との差が大きくなっている。(表 9 参照)

人に暴力をふるう		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数
小5	男	180 92.8%	11 5.7%	2 1.0%	1 0.5%	194
	女	169 94.9%	8 4.5%	0 0.0%	1 0.6%	178
計		349 93.8%	19 5.1%	2 0.5%	2 0.5%	372
中2	男	134 77.0%	36 20.7%	2 1.1%	2 1.1%	174
	女	175 94.1%	10 5.4%	1 0.5%	0 0.0%	186
計		309 85.8%	46 12.8%	3 0.8%	2 0.6%	360
高2	男	159 75.4%	40 19.0%	9 4.3%	3 1.4%	211
	女	167 93.8%	11 6.2%	0 0.0%	0 0.0%	178
計		326 83.8%	51 13.1%	9 2.3%	3 0.8%	389

表 9

カ 「６．『いじめ』をする」では、４つの選択肢のうち「悪い」だけについて男女の差を見てみると、小５、中２では差がないが、高２では男子の割合が低く、女子との差が 16.1%と大きい。(表 10 参照)

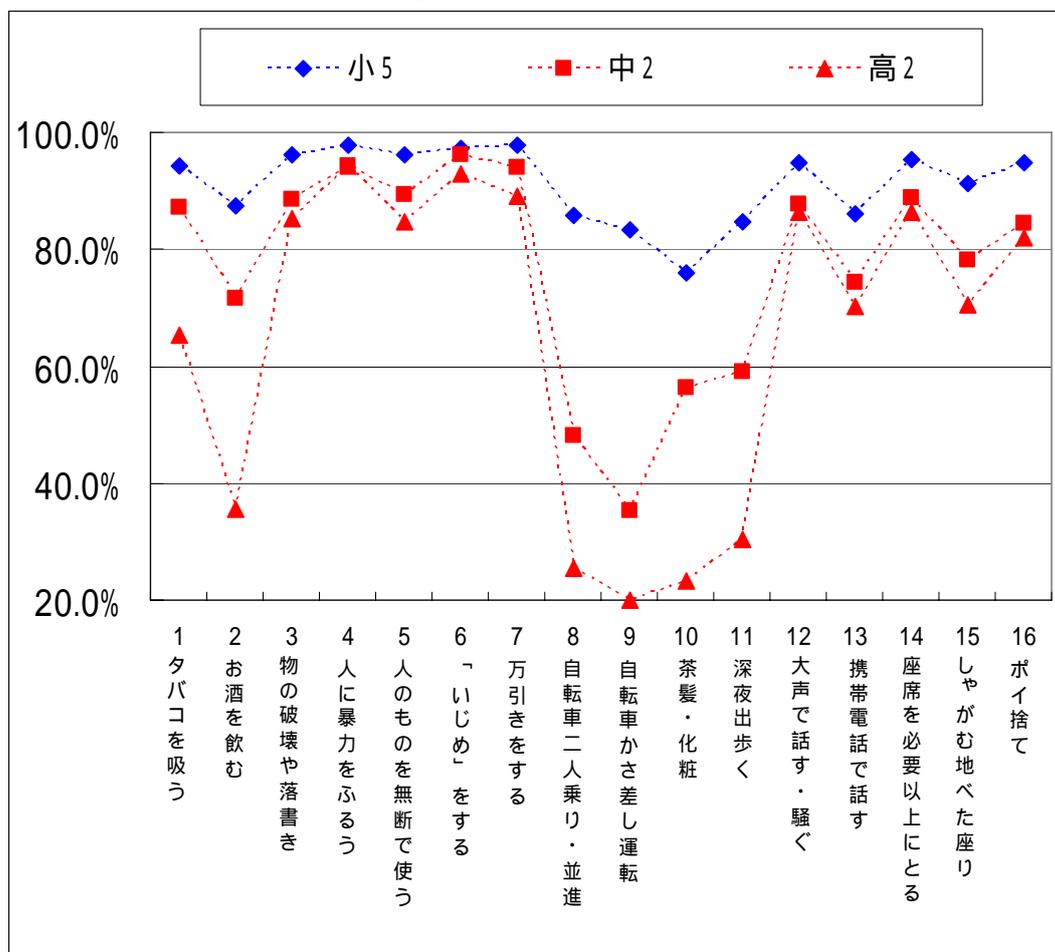
『いじめ』をする		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数
小5	男	177 92.2%	12 6.3%	2 1.0%	1 0.5%	192
	女	167 93.8%	9 5.1%	1 0.6%	1 0.6%	178
計		344 93.0%	21 5.7%	3 0.8%	2 0.5%	370
中2	男	157 90.2%	15 8.6%	1 0.6%	1 0.6%	174
	女	171 91.9%	12 6.5%	2 1.1%	1 0.5%	186
計		328 91.1%	27 7.5%	3 0.8%	2 0.6%	360
高2	男	169 80.5%	33 15.7%	6 2.9%	2 1.0%	210
	女	173 96.6%	6 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	179
計		342 87.9%	39 10.0%	6 1.5%	2 0.5%	389

表 10

(2) 周囲の人の行動に対する意識

質問 「そのようなことをする人がまわりにいたらどう思いますか。」

下のグラフは、各質問項目の「とてもいやな気がする」と「少しいやな気がする」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



順位	小5		中2		高2	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
1	人に暴力をふるう	97.8%	「いじめ」をする	96.1%	人に暴力をふるう	94.4%
2	万引きをする	97.8%	人に暴力をふるう	94.4%	「いじめ」をする	93.0%
3	「いじめ」をする	97.3%	万引きをする	93.9%	万引きをする	89.2%
4	物の破壊や落書き	96.2%	人のものを無断で使う	89.4%	大声で話す・騒ぐ	86.3%
5	人のものを無断で使う	96.2%	座席を必要以上にとる	88.8%	座席を必要以上にとる	86.3%
6	座席を必要以上にとる	95.4%	物の破壊や落書き	88.5%	物の破壊や落書き	85.3%
7	大声で話す・騒ぐ	94.9%	大声で話す・騒ぐ	87.7%	人のものを無断で使う	84.8%
8	ポイ捨て	94.9%	タバコを吸う	87.2%	ポイ捨て	82.0%
9	タバコを吸う	94.3%	ポイ捨て	84.4%	しゃがむ地べた座り	70.6%
10	しゃがむ地べた座り	91.3%	しゃがむ地べた座り	78.3%	携帯電話で話す	70.4%
11	お酒を飲む	87.3%	携帯電話で話す	74.4%	タバコを吸う	65.2%
12	携帯電話で話す	86.0%	お酒を飲む	71.6%	お酒を飲む	35.6%
13	自転車二人乗り・並進	85.7%	深夜出歩く	59.1%	深夜出歩く	30.4%
14	深夜出歩く	84.7%	茶髪・化粧	56.4%	自転車二人乗り・並進	25.4%
15	自転車かさ差し運転	83.3%	自転車二人乗り・並進	48.2%	茶髪・化粧	23.2%
16	茶髪・化粧	76.0%	自転車かさ差し運転	35.2%	自転車かさ差し運転	19.9%

〔結果から見られる特徴〕

ア 中2と高2の「4.人に暴力をふるう」の回答率が同じであること以外、すべての項目で、学年が上がるにしたがって「いやな気がする」「とてもいやな気がする」と「少しいやな気がする」を合わせた割合)と回答した割合が低くなっている。

イ 特に、「1.タバコを吸う」、「2.お酒を飲む」、「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「11.深夜出歩く」で、低下する傾向が顕著である。

ウ 「4.人に暴力をふるう」、「6.『いじめ』をする」、「7.万引きをする」は、どの学年の中でも「いやな気がする」と回答している割合が高い。

エ 「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「11.深夜出歩く」は、どの学年の中でも「いやな気がする」と回答している割合が低い。

オ 高2の「1.タバコを吸う」、「2.お酒を飲む」、「11.深夜出歩く」は、の「悪い」と同じように、男子の方が女子よりも低い。(表11、12、13参照)

タバコを吸う		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	160	82.9%	23	11.9%	5	2.6%	193
	女	145	81.5%	22	12.4%	6	3.4%	178
	計	305	82.2%	45	12.1%	11	3.0%	371
中2	男	110	64.0%	35	20.3%	18	10.5%	172
	女	127	68.3%	40	21.5%	16	8.6%	186
	計	237	66.2%	75	20.9%	34	9.5%	358
高2	男	77	36.8%	43	20.6%	51	24.4%	209
	女	97	54.2%	36	20.1%	32	17.9%	179
	計	174	44.8%	79	20.4%	83	21.4%	388

表 11

お酒を飲む		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	132	68.0%	37	19.1%	15	7.7%	194
	女	126	71.2%	29	16.4%	15	8.5%	177
	計	258	69.5%	66	17.8%	30	8.1%	371
中2	男	74	42.8%	48	27.7%	37	21.4%	173
	女	78	41.9%	57	30.6%	39	21.0%	186
	計	152	42.3%	105	29.2%	76	21.2%	359
高2	男	28	13.4%	33	15.8%	75	35.9%	209
	女	31	17.3%	46	25.7%	69	38.5%	179
	計	59	15.2%	79	20.4%	144	37.1%	388

表 12

深夜出歩く		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	122	62.9%	39	20.1%	22	11.3%	194
	女	119	66.9%	35	19.7%	11	6.2%	178
	計	241	64.8%	74	19.9%	33	8.9%	372
中2	男	51	29.5%	48	27.7%	44	25.4%	173
	女	53	28.5%	60	32.3%	52	28.0%	186
	計	104	29.0%	108	30.1%	96	26.7%	359
高2	男	17	8.1%	32	15.3%	73	34.9%	209
	女	23	13.1%	45	25.6%	73	41.5%	176
	計	40	10.4%	77	20.0%	146	37.9%	385

表 13

カ 「4. 人に暴力をふるう」も、の「悪い」と同じように、中2、高2の男子が女子よりも低く、男女差が見られる。(表14参照)

人に暴力をふるう		とてもいやな気がする		少しいやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
小5	男	172	88.7%	16	8.2%	4	2.1%	2	1.0%	194
	女	166	93.3%	10	5.6%	1	0.6%	1	0.6%	178
計		338	90.9%	26	7.0%	5	1.3%	3	0.8%	372
中2	男	124	72.1%	31	18.0%	10	5.8%	7	4.1%	172
	女	161	87.0%	21	11.4%	3	1.6%	0	0.0%	185
計		285	79.8%	52	14.6%	13	3.6%	7	2.0%	357
高2	男	140	67.0%	43	20.6%	18	8.6%	8	3.8%	209
	女	158	88.8%	18	10.1%	2	1.1%	0	0.0%	178
計		298	77.0%	61	15.8%	20	5.2%	8	2.1%	387

表 14

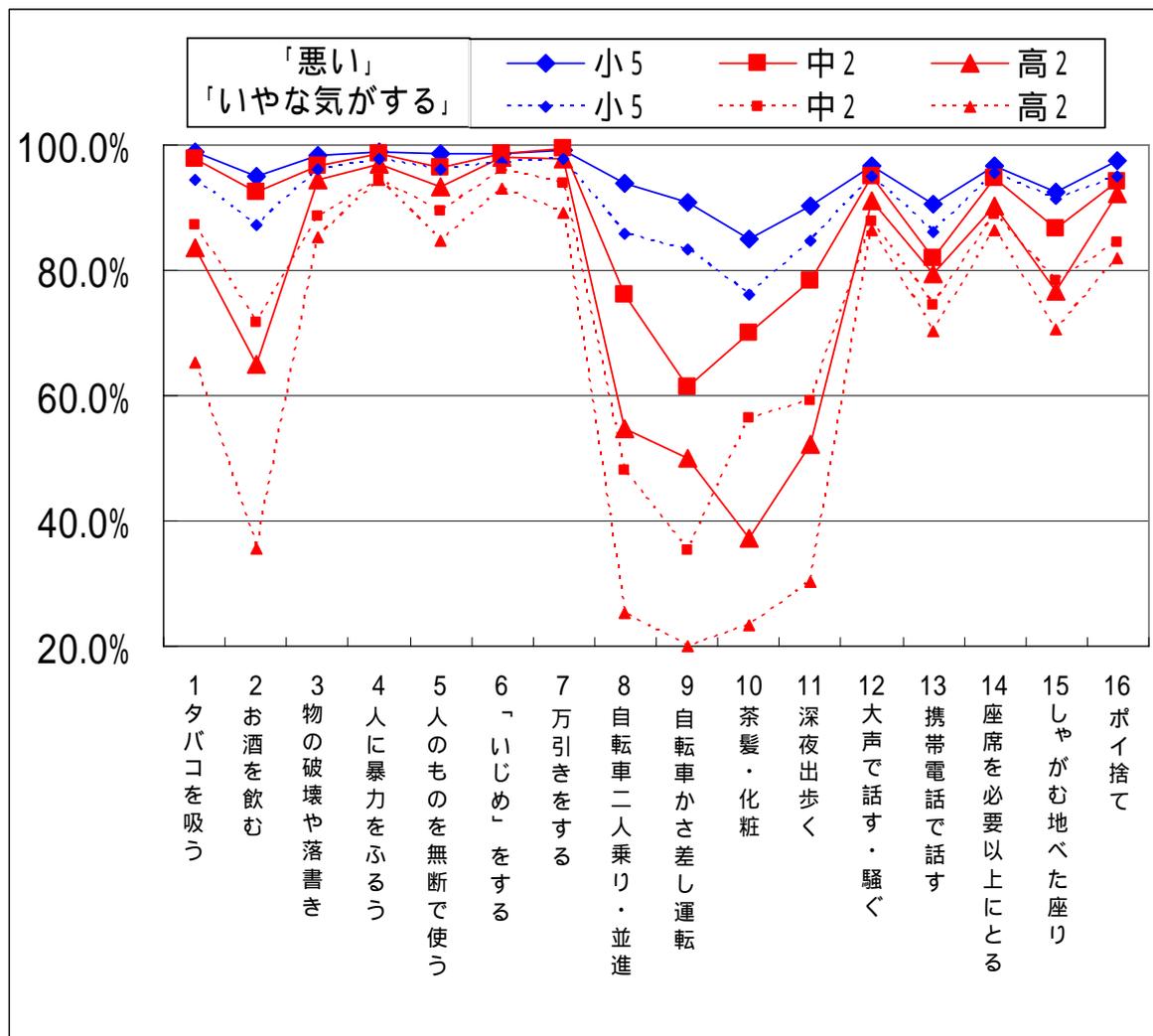
キ 「6. 『いじめ』をする」も、の「悪い」と同じように、高2の男子が女子よりも低く、男女差が見られる。(表15参照)

『いじめ』をする		とてもいやな気がする		少しいやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
小5	男	174	89.7%	13	6.7%	3	1.5%	4	2.1%	194
	女	165	92.7%	10	5.6%	1	0.6%	2	1.1%	178
計		339	91.1%	23	6.2%	4	1.1%	6	1.6%	372
中2	男	140	81.4%	24	14.0%	3	1.7%	5	2.9%	172
	女	164	88.6%	15	8.1%	5	2.7%	1	0.5%	185
計		304	85.2%	39	10.9%	8	2.2%	6	1.7%	357
高2	男	146	70.2%	37	17.8%	15	7.2%	10	4.8%	208
	女	164	91.6%	13	7.3%	1	0.6%	1	0.6%	179
計		310	80.1%	50	12.9%	16	4.1%	11	2.8%	387

表 15

(3) 「ルールやマナーについての善悪の判断」と「周囲の人の行動に対する意識」との比較

下のグラフは、ルールやマナーについて、小・中・高校生がそれらのことをすることを「悪い」(「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合)と回答した割合と、そのようなことをする人がまわりにいたら「いやな気がする」と回答した割合の比較をするために、20 ページと 23 ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 小5では、「悪い」と「いやな気がする」の割合の差が、最も大きいものでも8.9%（「10．茶髪・化粧」）であり、どの項目もあまり大きな差がない。
- イ 特に、「4．人に暴力をふるう」、「6．『いじめ』をする」は、どの学年でも、割合が高く差が小さい。
- ウ 中2と高2では、「1．タバコを吸う」、「2．お酒を飲む」、「8．自転車二人乗り・並進」、「9．自転車かさ差し運転」、「10．茶髪・化粧」、「11．深夜出歩く」に大きな差が見られる。

(4) 児童生徒の結果から考えられること

- 小5と中2の間、中2と高2の間に、それぞれ大きな差が見られる部分は、発達段階に応じた特徴といえる。小中および中高の間で連携を図り、地域社会の協力を得ながら解決していくべき課題と考えられる。
- 「2. お酒を飲む」、「8. 自転車二人乗り・並進」、「9. 自転車かさ差し運転」、「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」については、中・高校生で、これらの行動を容認する傾向が顕著であることから、指導上大きな課題であるといえる。
- ルールの範疇に入るもののうち、大人であろうとも許されない行為に対しては否定的に見ている。しかし、大人であれば許されることや自転車の乗り方については、寛容である。これらの違いは、物理的・肉体的・精神的な面での危害や被害が人に直接及ぶか否かというところに、子どもたちの判断の分かれ目があることを表しているのではないだろうか。

2 保護者の調査結果について

この表は、4 ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	16 項目		自分の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するか	注意する なかなか注意できない 特に注意しない
			自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するか	注意する なかなか注意できない 特に注意しない

保護者も、児童生徒と同様に、2 段階に分けて質問した。

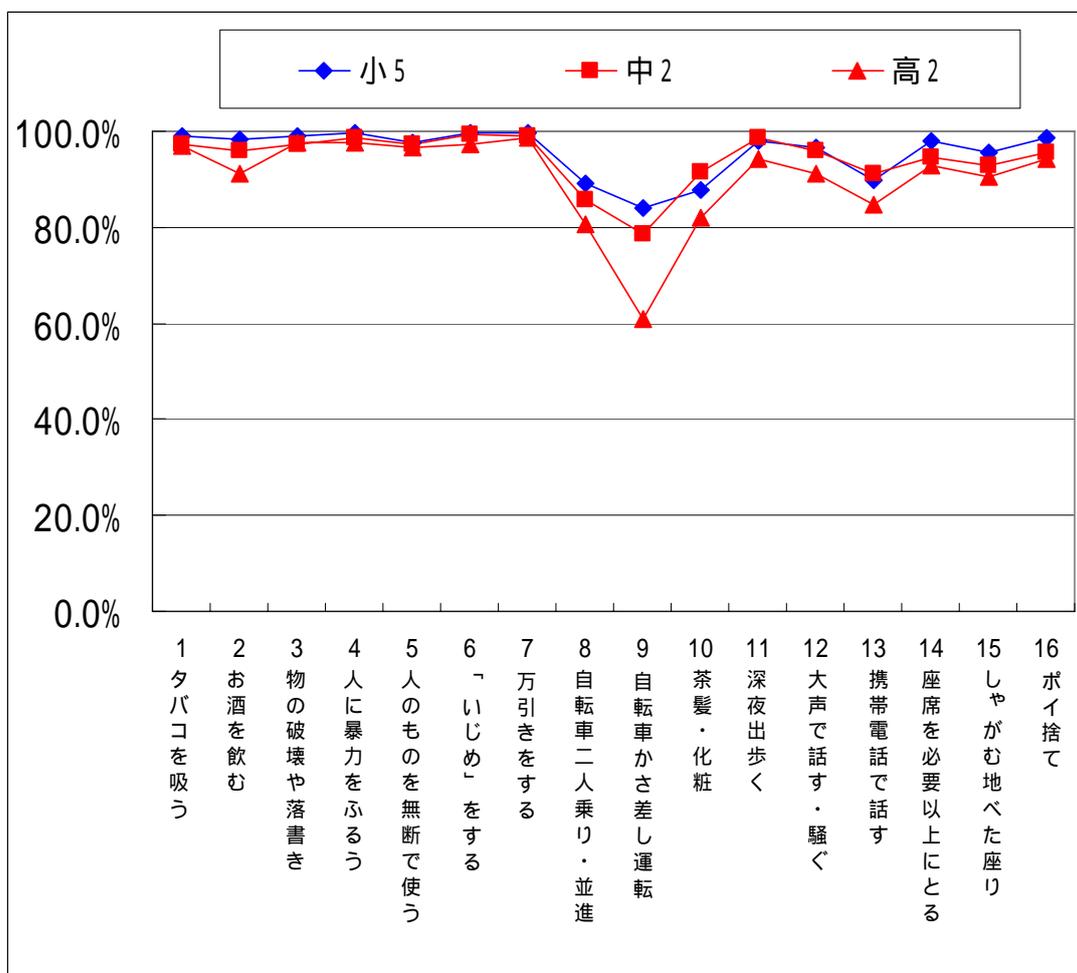
では、自分の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するかどうかを質問した。

では、自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するかどうかを質問した。

(1)自分の子どもに注意をするか

質問 「あなたのお子様がそのような行動をとったとしたら、注意をしますか。」

下のグラフは、「注意する」と回答した割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



順位	小5	中2	高2
1	万引きをする 99.7%	「いじめ」をする 99.4%	万引きをする 98.6%
2	人に暴力をふるう 99.7%	万引きをする 99.1%	人に暴力をふるう 97.8%
3	「いじめ」をする 99.7%	深夜出歩く 98.5%	物の破壊や落書き 97.8%
4	物の破壊や落書き 98.8%	人に暴力をふるう 98.5%	「いじめ」をする 97.2%
5	タバコを吸う 98.8%	タバコを吸う 97.3%	タバコを吸う 96.9%
6	ポイ捨て 98.5%	物の破壊や落書き 97.3%	人のものを無断で使う 96.7%
7	お酒を飲む 98.2%	人のものを無断で使う 97.3%	深夜出歩く 94.2%
8	深夜出歩く 97.9%	お酒を飲む 95.8%	ポイ捨て 94.2%
9	座席を必要以上にとる 97.9%	大声で話す・騒ぐ 95.8%	座席を必要以上にとる 92.7%
10	人のものを無断で使う 97.6%	ポイ捨て 95.6%	お酒を飲む 91.1%
11	大声で話す・騒ぐ 96.7%	座席を必要以上にとる 94.7%	大声で話す・騒ぐ 91.1%
12	しゃがむ地べた座り 95.5%	しゃがむ地べた座り 92.9%	しゃがむ地べた座り 90.5%
13	携帯電話で話す 89.9%	茶髪・化粧 91.7%	携帯電話で話す 84.7%
14	自転車二人乗り・並進 89.1%	携帯電話で話す 91.1%	茶髪・化粧 81.9%
15	茶髪・化粧 87.8%	自転車二人乗り・並進 85.8%	自転車二人乗り・並進 80.8%
16	自転車かさ差し運転 83.9%	自転車かさ差し運転 78.5%	自転車かさ差し運転 61.0%

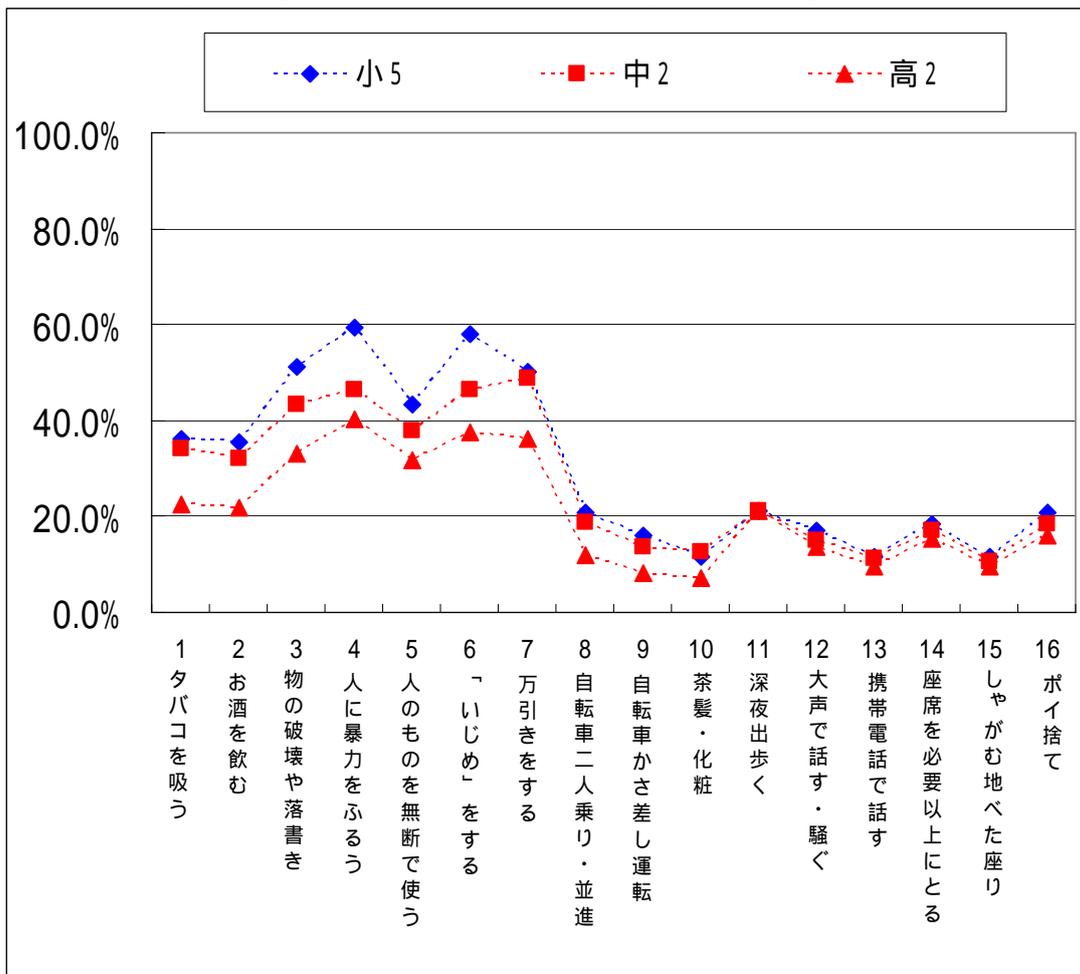
〔結果から見られる特徴〕

- ア どの学年も、ほとんどの項目で「注意する」と回答した割合が高い。
- イ 特に、小5では、16項目中12項目で「注意する」と回答した割合が95%を超えている。
- ウ ほとんどの項目で、中2、高2と学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。
- エ 「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「13.携帯電話で話す」は、他の項目に比べ割合が低い。

(2)自分の子ども以外の子どもの注意をするか

質問 「あなたのお子様以外の子どものような行動をとったとしたら、注意をしますか。」

下のグラフは、「注意する」と回答した割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



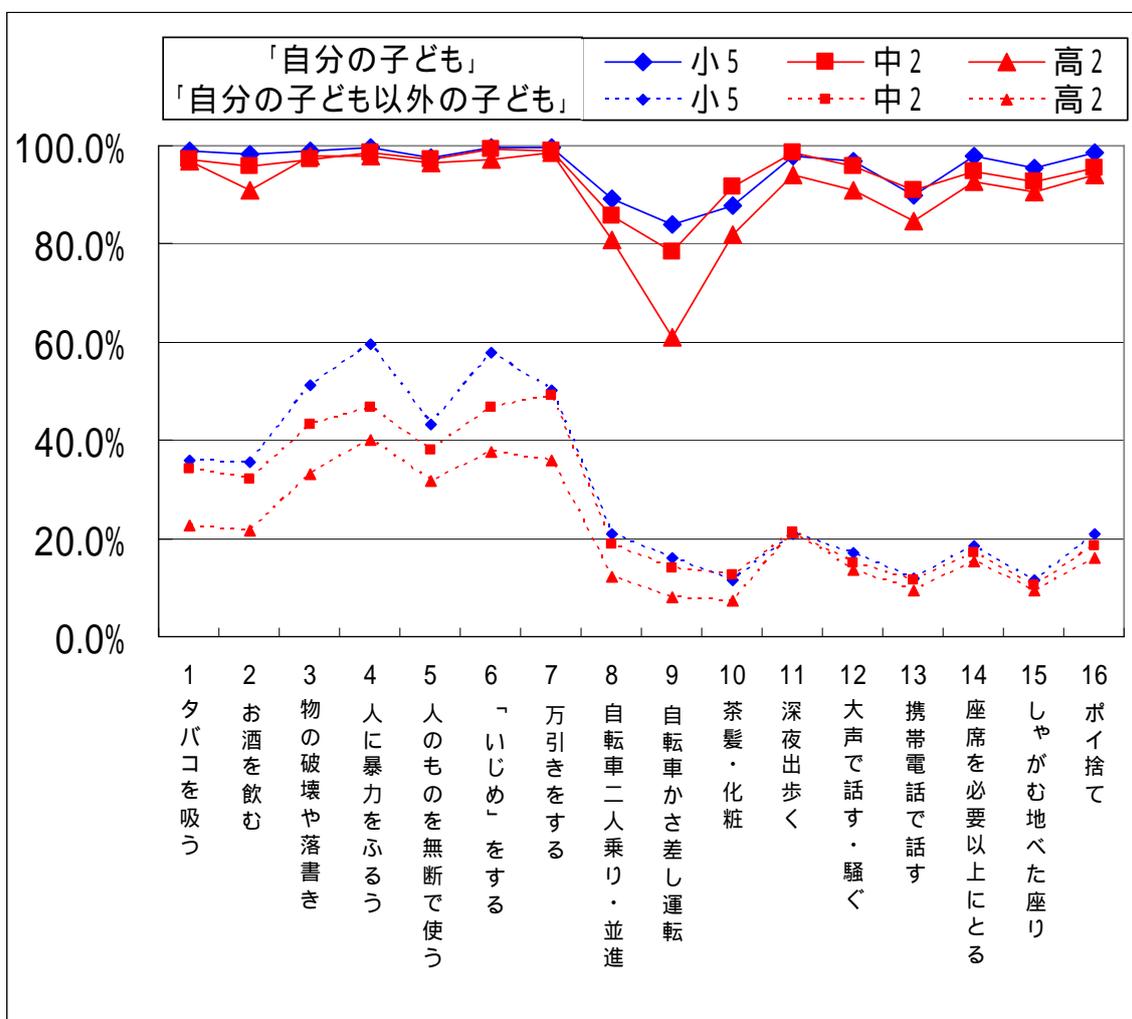
「注意する」と回答した割合						
順位	項目	小5	中2	項目	高2	
1	人に暴力をふるう	59.5%	万引きをする	49.0%	人に暴力をふるう	40.2%
2	「いじめ」をする	57.9%	「いじめ」をする	46.5%	「いじめ」をする	37.5%
3	物の破壊や落書き	51.1%	人に暴力をふるう	46.5%	万引きをする	36.1%
4	万引きをする	50.2%	物の破壊や落書き	43.2%	物の破壊や落書き	33.1%
5	人のものを無断で使う	43.3%	人のものを無断で使う	37.9%	人のものを無断で使う	31.6%
6	タバコを吸う	36.1%	タバコを吸う	34.2%	タバコを吸う	22.6%
7	お酒を飲む	35.6%	お酒を飲む	32.0%	お酒を飲む	21.7%
8	深夜出歩く	21.0%	深夜出歩く	21.3%	深夜出歩く	21.3%
9	自転車二人乗り・並進	20.8%	自転車二人乗り・並進	18.9%	ボイ捨て	16.0%
10	ボイ捨て	20.8%	しゃがむ地べた座り	18.6%	座席を必要以上にとる	15.4%
11	座席を必要以上にとる	18.5%	座席を必要以上にとる	17.1%	大声で話す・騒ぐ	13.5%
12	大声で話す・騒ぐ	17.2%	大声で話す・騒ぐ	15.0%	自転車二人乗り・並進	12.1%
13	自転車かさ差し運転	16.1%	自転車かさ差し運転	13.8%	しゃがむ地べた座り	9.6%
14	携帯電話で話す	11.7%	茶髪・化粧	12.6%	携帯電話で話す	9.5%
15	茶髪・化粧	11.6%	携帯電話で話す	11.4%	自転車かさ差し運転	8.1%
16	しゃがむ地べた座り	11.5%	ボイ捨て	10.5%	茶髪・化粧	7.3%

〔結果から見られる特徴〕

- ア どの学年も同じような傾向であり、「注意する」と回答した割合は高くない。
- イ 8～16は、いずれも「注意する」との回答が10～20%程度であり、低い割合である。

(3) 「自分の子どもに注意をするか」と「自分の子ども以外の子どもに注意をするか」
との比較

下のグラフは、ルールやマナーについて、自分の子どもがそのような行動をとったとしたら「注意する」と回答した割合と自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら「注意する」と回答した割合の比較をするために、29ページと31ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

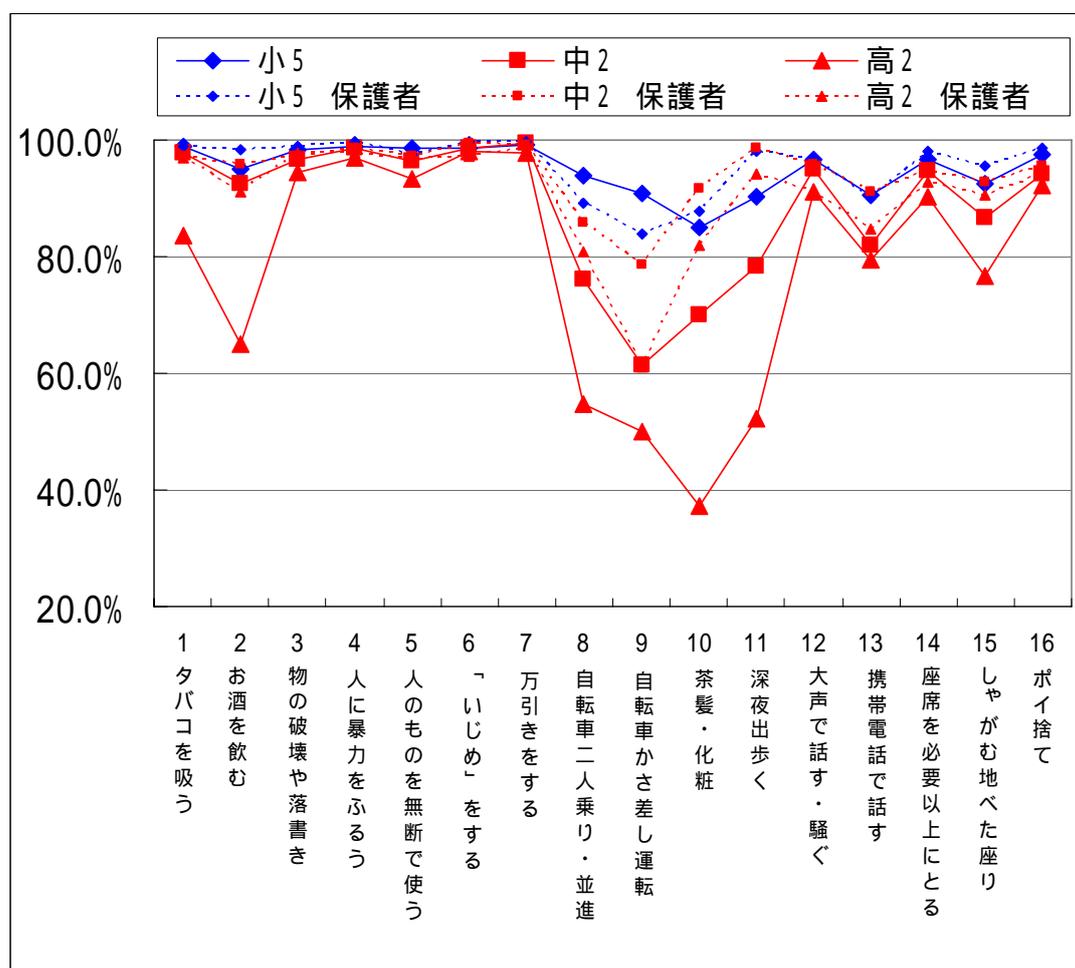
- ア どの項目も、自分の子どもに「注意する」割合と、自分の子ども以外の子どもに「注意する」割合には大きな差がある。

(4) 児童生徒と保護者の意識の違い

ここでは、ルールやマナーについての善悪の判断について、児童生徒の「悪い」「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合)と、保護者の「自分の子どもを「注意する」の回答の割合を比較する。

保護者の「注意する」を、保護者はそれらのことを「悪い」と判断したため「注意する」と解釈すると、この比較によって見られる割合の差を、児童生徒と保護者との意識の違いと見ることができる。

下のグラフは、20ページと29ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 小5では、どの項目でも、児童と保護者の意識の差は小さいが、中2、高2では、いくつかの項目で生徒と保護者の間に意識の差が見られる。
- イ 「1. タバコを吸う」、「2. お酒を飲む」は、保護者は学年の差があまりないが、児童生徒は、高2だけ大きく低下しており、保護者との意識の差が見られる。
- ウ 「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」は、中2、高2で、生徒と保護者の意識の差が大きい。

(5)保護者の結果から考えられること

- どの項目についても、自分の子どもがそのような行動をとった場合、保護者は注意をするという意識を強くもっている。
- 一方、自分の子ども以外の子どもを注意することにはためらいを感じる 경우가うかがえるが、マナーに関することよりもルールに関することについては、注意をするとの回答が比較的高い。
- ルールやマナーについての善悪の判断については、児童生徒・保護者ともほぼ同じような傾向であり、同じ意識であるといえる。
- 多くの保護者は自分の子どもに「注意する」と回答しているが、100%にならなかった分の保護者は「なかなか注意できない」あるいは「注意しない」と回答していることになる。
- 喫煙、飲酒、茶髪・化粧、深夜出歩くについては、児童生徒が理解し納得できるよう、家庭や学校で粘り強く指導していくことが必要と考えられる。

規範意識の向上に関すること

この表は、4ページ「3 質問の構成」を再掲し、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)
規範意識の向上に関すること	児童生徒 5項目	保護者や地域の人からしかられたり注意されたりしたことの体験	自分の子どもや自分の子ども以外の子どもを、しっかりと注意したりしたことの体験
	保護者 3項目	ルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うか	子どもたちのルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うか

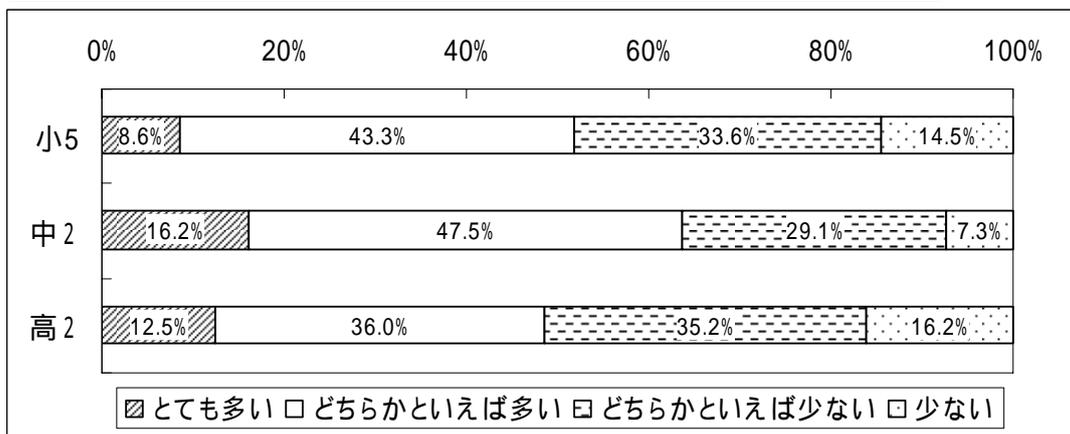
では、児童生徒と家族や地域の人とのかかわりについて、児童生徒には保護者や地域の人からしかられたり注意されたりしたこと、保護者には子どもをしかったことなどの体験を質問した。

また、今後、子どもたちのルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うか、その考えを聞いた。

1 家族からの注意の頻度とそのときの意識

児童生徒 質問(1)「あなたは、家族から注意や意見をされることが多いですか。」

		とても多い		どちらかといえば多い		どちらかといえば少ない		少ない		回答数
		回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	
小5	男	22	11.3%	85	43.6%	57	29.2%	31	15.9%	195
	女	10	5.6%	76	42.9%	68	38.4%	23	13.0%	177
	計	32	8.6%	161	43.3%	125	33.6%	54	14.5%	372
中2	男	24	14.0%	82	47.7%	49	28.5%	17	9.9%	172
	女	34	18.3%	88	47.3%	55	29.6%	9	4.8%	186
	計	58	16.2%	170	47.5%	104	29.1%	26	7.3%	358
高2	男	20	9.8%	67	32.7%	76	37.1%	42	20.5%	205
	女	28	15.7%	71	39.9%	59	33.1%	20	11.2%	178
	計	48	12.5%	138	36.0%	135	35.2%	62	16.2%	383

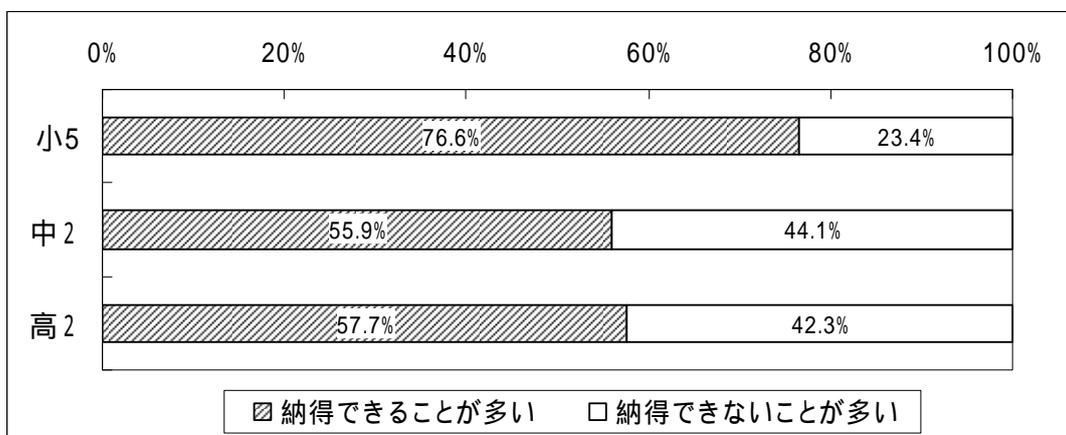


〔結果から見られる特徴〕

- ア 注意をされる頻度について、小5と高2はほぼ同じ割合で回答しており、「多い」（「とても多い」と「どちらかといえば多い」を合わせた割合）と「少ない」（「どちらかといえば少ない」と「少ない」を合わせた割合）が約半分ずつである。
- イ 中2では、「多い」と「どちらかといえば多い」を合わせると6割を超えており、小5、高2に比べて、注意されると感じている割合が高い。

児童生徒 質問(2) 「家族から注意や意見をされたとき、納得できることが多いですか、納得できないことが多いですか。」

		納得できることが多い		納得できないことが多い		回答数
小5	男	149	76.4%	46	23.6%	195
	女	136	76.8%	41	23.2%	177
	計	285	76.6%	87	23.4%	372
中2	男	98	57.3%	73	42.7%	171
	女	101	54.6%	84	45.4%	185
	計	199	55.9%	157	44.1%	356
高2	男	119	58.0%	86	42.0%	205
	女	102	57.3%	76	42.7%	178
	計	221	57.7%	162	42.3%	383



〔結果から見られる特徴〕

- ア 小5の76.6%が「納得できることが多い」と回答しているのに対し、中2、高2ではその割合がそれぞれ55.9%、57.7%となり、「納得できないことが多い」が増えている。

2 しっかりと注意したりしたことの体験（保護者と自分の子どもとの関係）

家庭でのしつけについて、児童生徒、保護者にそれぞれ下のような質問をした。

児童生徒 質問(3)	今までに、家族からしかられたことで反省できたことはどのようなことですか。
保護者 質問(1)	今までに、あなたのお子様をしかったことで、お子様自身が反省できたことはどのようなことですか。また、どのようなしかり方や言葉が効果的だったと思いますか。

(1)児童生徒への質問：「家族からしかられたこと」

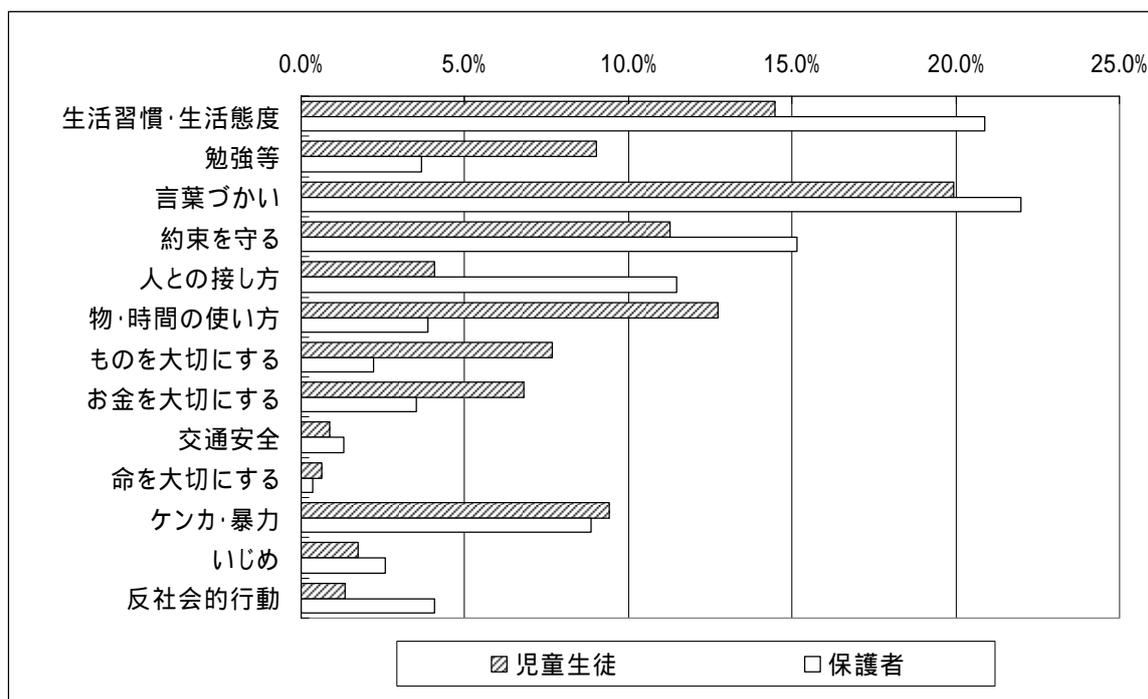
保護者への質問：「子どもをしかったこと」について

児童生徒は、1124名のうち829名が、保護者は1041名のうち493名が、記述により回答した。

記述のすべてを掲載することはできないので、回答の内容を分類し、下の表およびグラフに示す。一人の回答でも複数の内容が含まれているものは、それぞれの項目に別々にカウントしている。また、下記の分類に当てはまらないものは、省略した。

主な内容	児童生徒	保護者
生活習慣・生活態度 起床・就寝、整理整頓・片付け、自分のことは自分でする・言動への責任、自己中心的な態度、投げやりな態度、道徳、礼儀、マナー など	117	113
勉強 勉強、宿題、成績 など	73	20
言葉づかい あいさつ、うそ、悪口、謝る、お礼を言う、きたない言葉、目上の人に対する言葉づかい など	161	119
約束 約束、時間、家の手伝い、校則などのきまり など	91	82
人との接し方 友人関係、親・家族への態度、機嫌が悪い など	33	62
物・時間の使い方 ゲーム、TV、携帯電話、パソコン など	103	21
ものを大切にする 物の大切さ、捨てる、なくす、壊す、 など	62	12
お金を大切にする お金の使い方、無駄遣い、携帯電話等の料金、貸借 など	55	19
命を大切にする 命の大切さ、動植物の飼育 など	5	2
交通安全 路上での遊び、歩行の仕方、自転車・バイクの乗り方 など	7	7
ケンカ・暴力 兄弟ゲンカ、友達とのケンカ、暴力 など	76	48
いじめ いじめ、意地悪、仲間はずれ、からかい、差別 など	14	14
反社会的行動 喫煙、飲酒、万引き、窃盗、家出、夜遊び など	11	22

グラフは、回答数の合計を分母とし、それぞれの内容の回答数の割合を示している。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 児童生徒には、「しかられたことで反省できたこと」を質問したが、単に「しかられたこと」を回答しているものが多い。
- イ 「生活習慣・生活態度」に分類した回答の記述内容をみると、児童生徒は具体的な行為について回答しているものが多いが、保護者はその行為の背景にある意識や態度についてしかっているものが多い。
- ウ 「ケンカ・暴力」では、小5では「兄弟ゲンカ」が多いが、学年が上がるにしたがって友達など周囲の人たちとのものが多くなっている。
- エ 「物・時間の使い方」では、ゲームやテレビ、携帯電話などに関するものが多い。その「物」自体の使い方について注意している場合と、それによる時間の浪費などを注意している場合などが含まれる。また、「お金を大切にする」に関する注意でも、携帯電話の使用と関係しているものが多い。
- オ 数は少ないものの、「喫煙」、「万引き」、「夜遊び」などの、反社会的な行動に関する回答があった。

児童生徒の回答の中には、しかられたことではないが、次のような記述があった。すべての場合に当てはまるわけではないが、子どもの率直な意見として、子どもをしかったり注意したりするときの参考になるのではないだろうか。

- ・ 一方的にしかるのではなく、話を聞いてくれるときに反省できる。
- ・ しかり方が理不尽なので反省しない。
- ・ 大人の言うことは矛盾ばかりだ。だから反省できない。
- ・ 注意というよりも、一方的に怒られている感じなので、あまり反省できない。

(2)保護者への質問：「どのようなしかり方や言葉が効果的だったと思いますか」について

保護者からの回答のうち、いくつかを内容ごとに分類し紹介する。

話を聞く・話し合う

まず理由を聞いてからしかること。頭ごなしにしからず理由を聞いてあげればお互い冷静になれるし、子どもも考える余裕があると思う。
子どもの気持ちをよく聞き、その気持ち・考え方をかえていくよう、いろいろな考え方があることを話す。問題から逃げるのではなくて前向きに考えられるように話すようにしている。あくまでも子どものことを信じたうえでです。
愛情をもって全部うけとめた上で注意する。一方的ではなく子どもの話もちゃんと聞いた上で話してみる。
しかるのではなく、よく子どもの話を聞き子どもの気持ちを理解し、親の意見を言い、納得のいくまで話をします。
頭からしかるとよけいに反抗的になり逆効果になることが多く、なかなかできないのですが、感情的にならず、子どもの言い分も聞き、一緒に考えたいです。
たまたま世界中のいろいろな子どもの生活を放送する番組があったので、一緒に見て、その後いろいろ話をしていたら、自分のわがままさがわかった。
きちんと対座して、納得いくまで静かに話をするようにする。
愛情をもってしかる。しかりっぱなしにしないで、子どもとコミュニケーションをとる。
感情的にしかるのではなく、優しく言い聞かせるような(ときには子どもをほめる)言葉が効果的だった様な気がします。
一方的に怒るのではなく親の正直な悲しかった気持ちをその子の年令で理解できる言葉を選んで話す。
うそをついたときは「お母さんにしかられなくなかったんだよね、しかられると思って正直にいえなかったんだよね」と子どもの気持ちをくんであげてから、「でもね」とうそをつくことの何がいけないか話してました。涙を流して一言一言よく聞いてくれました。しかるとき最後にいつも言う言葉です。「あなたを愛してるから、かわいいから、お母さんしかることが悲しくなるよ。でも大切なことだからこうやって言わなきゃね。」抱きしめて話してます。学年は大きいですが抱きしめることで、子どもの反応(私を抱きしめ返してくる強さ)から本当に反省してくれているかということがわかる気がします。
話をよく聞いて、抱きしめてよく話し合ったため!?
まずやさしく抱きしめてやり、同じ立場で一緒に悩んで話を聞く。そのあとでアドバイスする。
抱きしめて、「大好きヨ!!でも絶対してはダメよ!」と心から子どもにやさしくうったえた。「うそをつくと誰からも信用してもらえないよ。お母さんもうそをつき、信じてもらえなかったことがあるよ。」と自分のことを話した。

厳しくしかる・真剣にしかる

親も真剣になってしかる必要性があると思う。あいまいなしかり方や、中途はんばなしかり方は子どもも受けとめ方に真剣さがなかった。

言葉づかいに関してはその都度気が付いたら注意してあまりしつこく言うより、そのときどきにバシッとしかった方が、本人にはいいかなと思っています。

効果的な言葉やしかり方や言葉はそのときの言動で、強くしかることもあるし褒めるときもあるので親が子のために本気で思いやることが、効果的なしかり方だと思います。

ダメはダメで絶対に許さないということで話し合う。「大切な宝物である」ということを常に話す。夫は最後にとっておく。夫がしかったときはだまっているよう心がける。

諭す・わけを話して聞かせる

子どもの父親は技術職人で、その仕事に対して侮辱することを言ったのでわかりました。今までお父さんが苦労したことやがんばって来たことをいろいろ話しました。そして何でも口に出して言うてはいけないことがわかったようです。反省し、お父さんに「ごめんなさい」と謝っていました。

喫煙に対して、『百害あって一利なし』と、体にはぜったい良くないことを話してきかせました。一人でなく何人かでしていたようなので、仲間意識というのはあるけど自分の気持ちはしっかりもって「NO」と言える人にならなくてはということを行いました。

小学4年の頃、カッターを自分のお腹にさせば学校へいかずに嫌なことからにげられると思ったみたいです。

命の大切さ、親の思い”宝”だと言いました。やっぱり子どもは親にとって生きがいだからと。死んでも楽にはならないということ、今は元気で頑張っています。

一緒に謝る

とにかくいたずらをしてはいけないこと、人に迷惑をかけたりしてはいけないということを使いかせて、いっしょにそのお宅にあやまりに行きました。親も頭を下げるという手本を目の前で見せることもよいのではないのでしょうか？

自分に置きかえて説教し、相手の家に行き一緒にあやまった。

自分はいじわるではなく軽い気持ちでしたことでも、された方はどんなに悲しい気持ちになるかを話し、一緒に友人宅に謝りに行きました。「お母さんも悲しいな」って言ったら、素直に「ごめんなさい」が出てきました。

ほめる・感謝する

親が「お手伝いをして」と求めるばかりで、子どもも心よくお手伝いをしないというときもありましたが、逆に一つ手伝いをしてくれるたびに、親が「どうもありがとう。たすかるわ」と子に言うように心がけました。子どもも気分良くお手伝いをしてくれます。

自分の体験話や、最後に必ずあなたなら出来るとほめる(自信をもたせる)。

3 しっかりと注意したりしたことの体験（保護者と自分の子ども以外の子どもの関係）

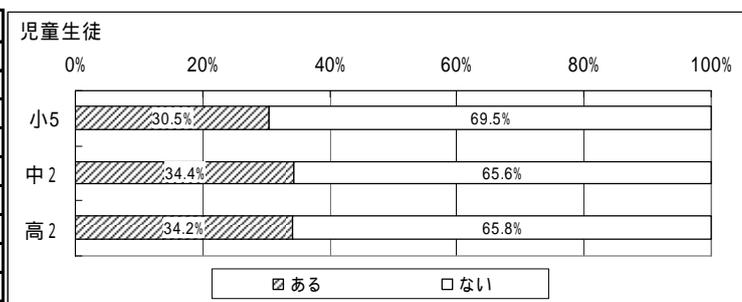
大人と子どもとのかかわりの中で、児童生徒が注意をされたり、保護者が自分の子ども以外の子どもの注意したりした体験を、次のように質問した。

児童生徒 質問(4)	今までに、家族や先生以外の大人から何か注意されたことがありますか。「1.ある」に答えた人は、どのようなことで注意をされたか、書いてください。
保護者 質問(2)	今までに、自分のお子様以外の子どもの注意したことがありますか。「1.ある」と回答した方は、そのことをお聞かせください。どのようなことを注意しましたか。どのように注意しましたか。

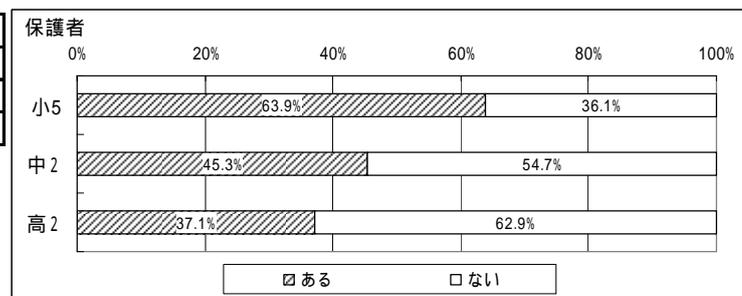
(1) 児童生徒への質問：「家族や先生以外の大人から注意されたこと」

保護者への質問：「自分の子ども以外の子どもの注意したこと」について

児童生徒		ある	ない	回答数
小5	男	76 39.0%	119 61.0%	195
	女	37 21.1%	138 78.9%	175
	計	113 30.5%	257 69.5%	370
中2	男	65 38.0%	106 62.0%	171
	女	57 31.0%	127 69.0%	184
	計	122 34.4%	233 65.6%	355
高2	男	66 32.8%	135 67.2%	201
	女	63 35.8%	113 64.2%	176
	計	129 34.2%	248 65.8%	377



保護者	ある	ない	回答数
小5	179 63.9%	101 36.1%	280
中2	112 45.3%	135 54.7%	247
高2	104 37.1%	176 62.9%	280



〔結果から見られる特徴〕

ア 児童生徒が、家族や先生以外の大人から注意されたことが「ある」と回答しているのは、どの学年も約3割である。

イ 保護者が、自分の子ども以外の子どもの注意したことが「ある」と回答しているのは、小5で63.9%、中2で45.3%、高2で37.1%である。

(2)児童生徒への質問：「どのようなことで注意されたか」

保護者への質問：「どのようなことを注意したか」、「どのように注意したか」について

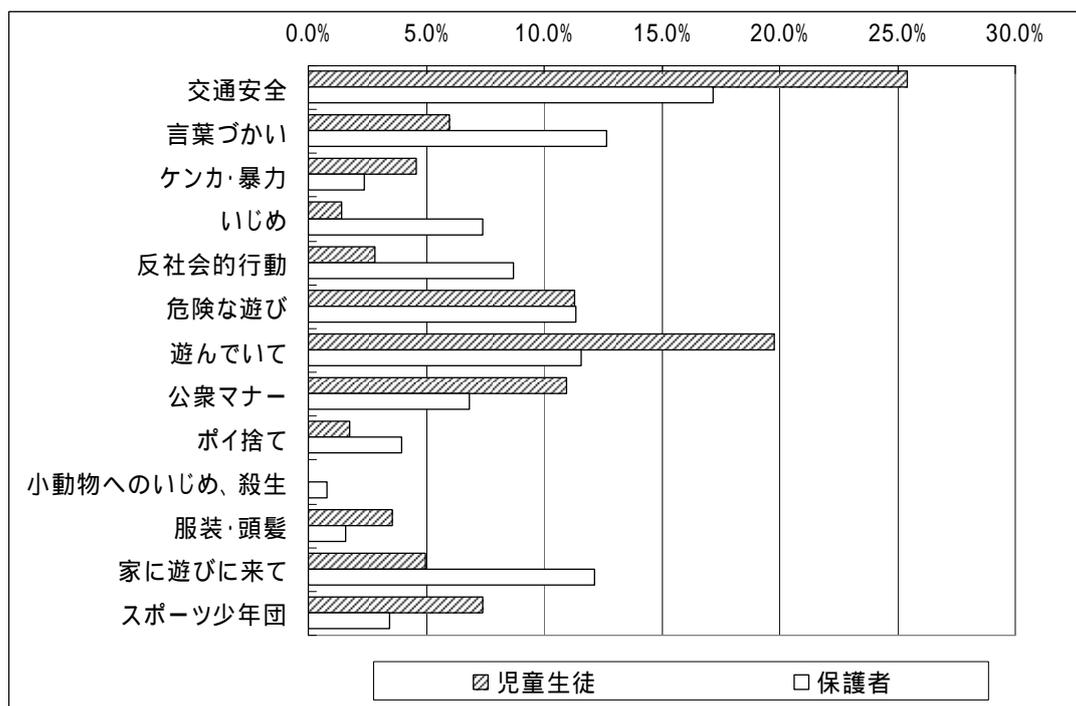
(1)で「１．ある」と回答したうち、児童生徒 339 名、保護者 374 名が、記述によりその内容を回答した。

記述のすべてを掲載することはできないので、回答の内容を分類し、下の表およびグラフに示す。一人の回答でも複数の内容が含まれているものは、それぞれの項目に別々にカウントしている。また、下記の分類に当てはまらないものは、省略した。

主な内容	児童生徒	保護者
交通安全 路上での遊び、歩行の仕方、自転車・バイクの乗り方 など	72	65
言葉づかい あいさつ、きたない言葉、目上の人に対する言葉づかい など	17	48
ケンカ・暴力 友達とのケンカ、暴力 など	13	9
いじめ いじめ、仲間はずれ など	4	28
反社会的行動 喫煙、飲酒、万引き、夜遊び など	8	33
危険な遊び 危険な場所での遊び、投石、花火 など	32	43
遊んでいて 騒いでうるさい、ふざけて危ない など	56	44
公衆マナー 電車やバスの中、図書館など公共の場での態度 など	31	26
ポイ捨て	5	15
小動物へのいじめ、殺生	0	3
服装・頭髪	10	6
家に遊びに来て 冷蔵庫を開けるなど勝手な振る舞い、片付けない、帰宅時間 など	14	46
スポーツ少年団 話を聞く態度、時間を守らない、さぼり など	21	13

注：児童生徒には「家族や先生以外の大人から」と質問したが、先生にしかられたと思われる学校での出来事が多く回答されていた。分類に当てはまらないと判断したため、児童生徒の回答数が回答者数に比べ少なくなっている。

グラフは、回答数の合計を分母とし、それぞれの内容の回答数の割合を示している。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 児童生徒の記述を分類したが、「交通安全」、「遊んでいて」、「危険な遊び」については関連性が見られるものが多かった。路上での遊び、危険性、騒がしさなど、生活の中で大人が気付いて声をかけたことが、子どもたちの記憶に残っているようである。
- イ 保護者が自分の子ども以外の子どもを注意する場面は、自分の子どもの友人が家を訪れたときに、片付けや帰宅時間などについて注意している例が多い。中には、勝手に「冷蔵庫を開ける」、「お菓子などを勝手に食べる」など自分の家と他人の家の区別ができない、場をわきまえられないなどの子どもの様子が見られる。これらについて注意した保護者は、その子が家で指導されていないことに驚きと不安を感じている。

保護者からの記述による回答のうち、いくつかを内容ごとに分類し紹介する。

相手の立場になって考えさせる

自分が仲間はずれにされたらどんな気持ちになるのか考えてみてねと注意した。
まちがってしまうことは誰にでもあるのだから、素直に謝る。人のせいにとりたくないように話した。いつも自分が逆の立場だったらどうか考えてみようと言った。
自分の家とは違うのだから、人の家の引き出しや戸を勝手に開けてはいけないよと注意しました。
その言葉、自分が言われたらどうかと話し、私だったらきずつくよと話しました。

人の迷惑を考えさせる

他の人に迷惑(自分は楽しいかもしれないが)がかかるということを説明した。

登校班で歩いているとき、年下の子がきちんと歩かずランドセルを引っばったり、班長や副班長が注意しても"いいじゃーん"と言って全然言うことを聞いてくれない子がいたので、「ちゃん、きちんと歩いてる？ もし事故にでもあったら、お父さんもお母さんもすごく悲しいよね。歩いてるほうがふざけていたとしても、悪いのは車のほうになっちゃうよね。そしたら運転してた人だって、かわいそうだよ。1人だけの責任じゃなくて、班全員、そしてたくさんの人が心配して、迷惑かけるんだよ。きちんと歩いて行こうね。できるかな?」と問いかけると"うん"と言って、その後きちんと並んで行ってるそうです。

家で、みんなで遊んでいるとき、友人の物（ゲーム）を無断で持ち帰り、みんなで捜しているのを知っているのにうそをついていたので注意しました。

友人が毎日毎日捜して歩いたこと。私も家中を毎日毎日捜したこと。それだけでも人に大変な迷惑をかけたんだということ、その上、うそをついたらみんなから信用をなくしてしまうこと、もっと真剣に考えないと絶対ダメだということ。そういうことが2回目だったので、1回目のとき、最も厳しくしかっていれば...と思い、なんとか直してほしいと思い夢中でしかつたと思います。

野外でのことだったので、「自分で片付けなかったら、誰が片付けたらいいの?」と声をかけたら持ち帰りました。

この場所は大声を出したり走り回ったりする場所ではないことを理解させ、みんな、どのようにしているか周囲を改めて観察させ、納得させた。

理由を話して聞かせる

「あなたが、今、したことはいいことか、悪いことか?」いじめた本人に聞きました。「悪いこと」といじめていた子が言ったので「悪いこととわかっているんだから、もういじめはやめてほしい」と言いました。いじめはなくなりました。

おもちゃのピストルに実際に玉を入れて人に向けてうっていた。(ビービー弾) 失明や大ケガにつながると注意した。

話し合う

わが家では遊びに行ったら PM5:00 までには必ず帰宅することになっています。友だちがわが家に来たときも同様の上遊んでよいとしていますが、その約束をやぶったとき、友だちも一緒に注意しました。皆を集めて約束を交わしたことから始まり、どうしてそうなったのか、またどういうところが悪いと思うのか、これからこのようなことがあったらどうしたらいいのか話し合いました。

ほめる

「食べたゴミはゴミ箱に捨ててね」と話した。帰りぎわに「きれいに片付けたね、ありがとう」とほめると、いつ来てもなおっています。

あいさつをさせる

思春期はなにごととも照れくささが入るが、基本のあいさつは一番大切にすべきだと伝えた。

我が身の安全を考えると注意できない

単刀直入に「乗車する 15 分前からきちんと並んで待っているのだから割込みはやめなさい!」 向こう側の席に座っていたので間を見て顔をゆがめ人差し指で口に当て「シー」というゼスチャーで暗黙の注意をした。

なお、どれも 20 年前のことである。その後注意した人を殺害する事件が散発するに及んで身の安全のため今はしていない

4 規範意識を高めるために

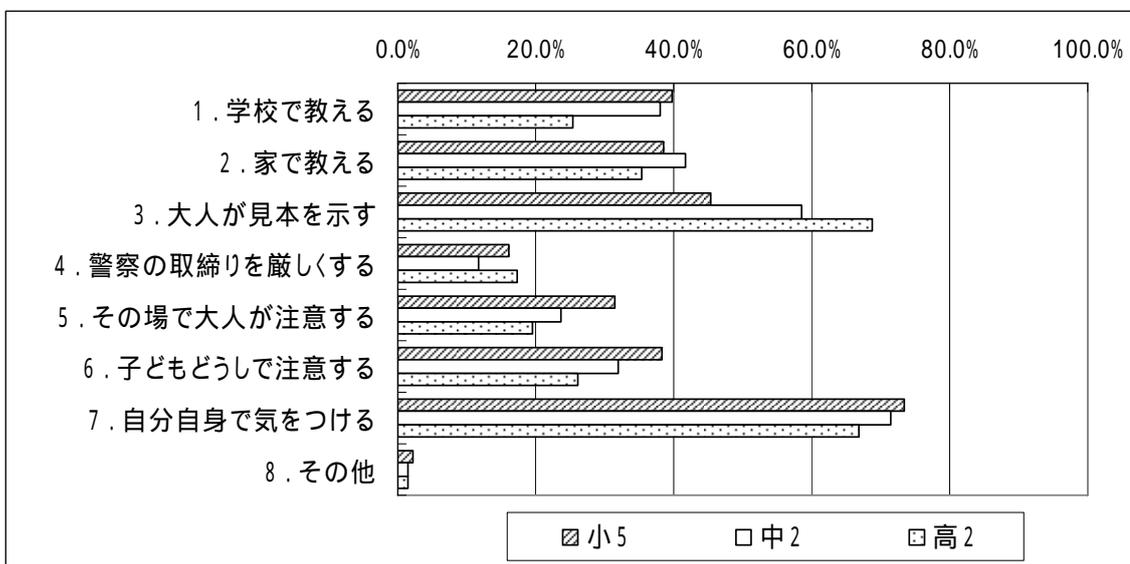
規範意識を高めるためにはどうしたらよいと思うかについて、児童生徒、保護者にそれぞれ次のような質問をした。

児童生徒 質問(5)	ルールやマナーを守ろうとする意識を上げていくためには、どうしたらよいと思いますか。三つまで選んでください。また、この他に意見がある人は、「8.その他」に意見を書いてください。
保護者 質問(3)	子どものルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためには、どうしたらよいと思いますか。考えをお聞かせください。

(1)児童生徒の結果

児童生徒には、下に示す選択肢にて回答させた。回答数は表の通りである。

	小5	中2	高2
1.学校で教える	150	137	100
2.家で教える	145	151	139
3.大人が見本を示す	171	211	270
4.警察の取締りを厳しくする	61	42	68
5.その場で大人が注意する	119	85	77
6.子どもどうして注意する	144	115	103
7.自分自身で気をつける	277	258	263
8.その他	8	5	6
回答者数	373	361	390



各学年の回答者数を分母とし、各項目が回答された割合を示している。

〔結果から見られる特徴〕

- ア 「7．自分自身で気をつける」との回答は、どの学年も全生徒の70～75%と高い。また、「4．警察の取締りを厳しくする」の回答は、15～20%と低く、児童生徒は、ルールやマナーは罰があるから守るということではなく、自ら守るものであるという意識をもっている。
- イ 「3．大人が見本を示す」は、高2で最も多く、小5、中2では2番目に多い回答数である。
- ウ 小5と中2で、「1．学校で教える」と「2．家で教える」が、同じくらいの回答数である。
- エ 「5．その場で大人が注意する」、「6．子どもどうして注意する」は、学年が上がるにしたがって回答数が減少している。

「8．その他」に記述された主な意見を紹介する。

- ・(学校に)ルール違反、マナー違反での被害者を呼んで、ルール違反、マナー違反の大切さを教えてもらう。
- ・自分がそのことをやられたらどうなるか教える。
- ・自分に厳しくする。
- ・常に注意や気を付けることの運動を始める。
- ・ポスターなど作り、町中の電柱やいろいろなところにはったりする。
- ・みんなで協力して注意し合う(大人も子どもも)。
- ・大人は注意しながらも、自分でその行動をやっている。大人は良くて、子どもがダメというのは理解できない。
- ・それを警察官のまえでやらせるか実際に体験させる(いじめられるなど)。
- ・法律を改正し厳しく罰する。
- ・影響力のあるメディアを通してもっと注意を呼びかける。
- ・国自体が何かすべき。
- ・自分はよく平気でタバコをポイすてする大人をよく見ます。だから、まずは大人にルールやマナーを守ってほしい。
- ・社会全体で見直し取り組むべきだ。
- ・そのルールやマナーがある理由を納得できるように示す。

(2)保護者の結果

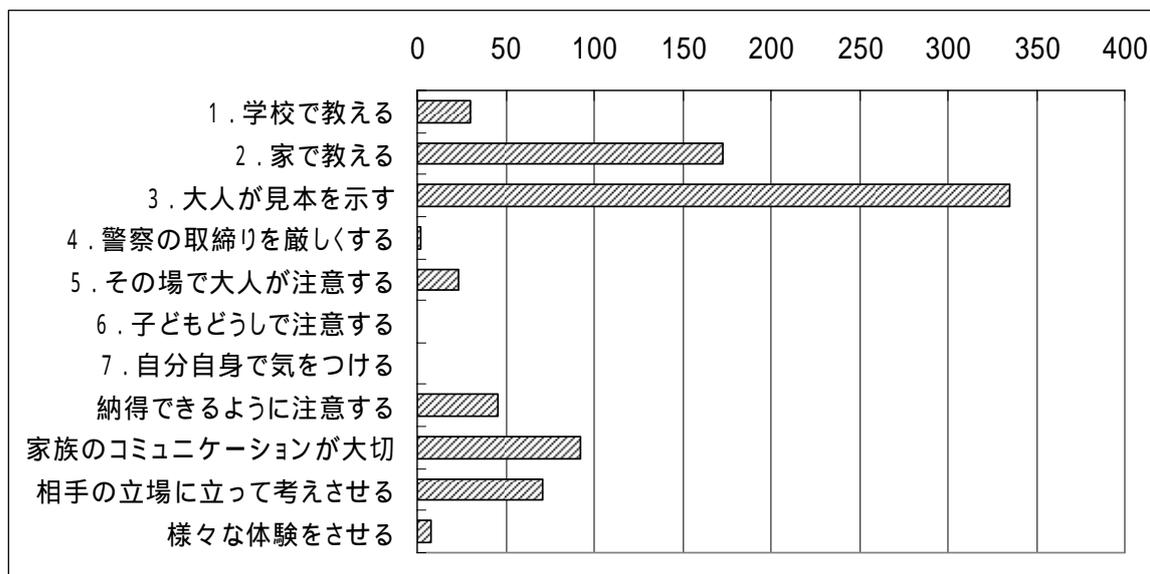
保護者 616 名が、記述により回答した。

記述のすべてを掲載することはできないので、回答の内容を分類し、下の表およびグラフに示す。一人の回答でも複数の内容が含まれているものは、それぞれの項目に別々にカウントしている。また、下記の分類に当てはまらないものは、省略した。

主な内容		回答数
大人が守る 示す 見本となる など	親が	168
	先生が	6
	(一般的に)大人が	161
大人が注意する 教える 言って聞かせる など	親が(家庭で)	173
	先生が(学校で)	30
	大人が(地域などで)	71
	警察	2
意識を変える	親の(親の教育)	37
	大人の	36
	社会(全体)の	13
	メディアの	5
	先生(学校)の	3
その場で注意する		23
注意の意図を説明するなど、納得できるように注意する		46
親子の会話、家族のふれあいなど、日頃から家族のコミュニケーションを図る		92
自分に置き換えて、相手の立場に立って、など、様々な観点から考えさせる		71
多くの人と接したり、様々な体験をさせたりする		8

児童生徒の結果と比較するために、児童生徒の回答選択肢に当てはめて整理すると、下の表およびグラフのようになる。

	保護者
1. 学校で教える	30
2. 家で教える	173
3. 大人が見本を示す	335
4. 警察の取締りを厳しくする	2
5. その場で大人が注意する	23
6. 子どもどうして注意する	0
7. 自分自身で気をつける	0
納得できるように注意する	46
家族のコミュニケーションが大切	92
相手の立場に立って考えさせる	71
様々な体験をさせる	8



〔結果から見られる特徴〕

- ア 「3. 大人が見本を示す」に当てはまる回答が最も多く、次に「2. 家で教える」に当てはまる回答が多い。
- イ ここでは1～7の選択肢に当てはめなかったが、「納得できるように注意する」、「家族のコミュニケーションが大切」、「相手の立場に立って考えさせる」も、広い意味では「2. 家で教える」に当てはまるとも考えられる。

規範意識を高めるための方法として保護者から寄せられた回答のうち、いくつかを内容ごとに分類して紹介する。

家庭でしつける

各家庭での親の話し合いも必要だと思う。根本的には各家庭の親のしつけだと思う。
やはり家庭における教育が基本であると思います。ちょっと昔は祖父、祖母が大きな役割を担っていたかと思いますが家庭の構成が変化してきた今は、それが困難であるかと思っています。時代が変化して共働きが主流を示してきた今、親と子のふれあう時間が大変少なくなってきました。今の生活を考えればやむを得ないことなのかも知れませんが、学校においても出来る限りこのような時間(道徳のようなもの)を設けていただければと思います。黒板の勉強も大切ですが、心の勉強はもっと大切だと思います。
過激な暴力シーンなどを見せない。テレビ、雑誌、テレビゲームなど情報が氾濫しすぎ。殺人ドラマや人をだまして楽しんでいるバラエティも子どもがテレビをみる時間に放送されている。大人も自分を甘えさせないように気を付けるべき。子どもの持つゲームの量が多すぎる。小学生の漫画にエッチなシーンがあまりに多くて困る。これではルールもマナーも守れといえない。言っても聞かない。うちでは殺人ドラマは見せない。マンガは買わない。ゲームは持たない。小学生には刺激が強すぎる。
何のためにルールやマナーがあるのかを話すこと。ルールやマナーがなければ他人に迷惑をかけるばかりでなく、自分も嫌な思いをすることがあることなどを話す。「今日こんなことがあって、お母さんはこんなふうに思ったよ」という様な感じで日常の出来事をよく話すようにする。そういう会話が普通にできるような雰囲気づくりを心がけています。毎日の会話の積み重ねだと思います。
親が子に関心を持ち、会話を多くする。
普段、テレビのニュースやバラエティを見ながら、子どもと一緒に話し合ったりしています。ニュースでは犯罪、バラエティでは言葉づかいや、極端(カゲキ)な高校生の服装、化粧。自然に自分の感想を話しながら何がいけないか言っています。
親子の会話を多くし、子どもの意識も最後まで聞き、小さなことも認めて、ほめて、喜んで期待をかける。毎日のあたりまえの生活の中であいさつや人に迷惑をかけないという基本的な行動(親の)が大切かと思っています。
子どもたちでなく大人も自分勝手な人が多いこの世の中でむずかしい問題ですが、やはり家庭で指導し、ゴミ拾いのボランティアや老人施設への訪問など人間として自分も何かの役に立つという体験をさせたらいいのではないのでしょうか。
シートベルト着用や、ゴミを捨てないなど多少めんどくさいけど一緒にいるときは、ひとつひとつ口で説明しながらマナーを守って来ました。行動を共にしていればいろいろな場面で教えられることが自然にできると思います。

家庭・学校・地域が連携して教育する

第一に「家庭」でのしつけとして、もう一度親が再確認する。学校生活の中では教師に頼まざるを得ないが「家庭」「学校」「地域」の連携が大切であると思います。

家庭での教育が一番良いと思うが、認識の度合いによって変わってしまうので、学校と連携で行ったらどうかと思います。比較的低学年からの方が良いと思います。道徳の時間などを活用して…。

道徳的な授業を増やして、意識を高める。小さい頃(幼少期)の家庭でのしつけをしっかり行う。

学級の時間に、地域の人たちと多く接することや、色々な大人の人に出会えることを学校に希望します。

大人が見本を示す

まずは、子どもにとって人生の先輩である大人が家庭内、学校内、近所づきあいの中で手本を見せる努力をする必要があると思います。ルールやマナーを守れなかったときその相手が例えば子どもであれ、謝罪の言葉、反省する態度を常に忘れず接することが大切だと思います。

大人がルールやマナーを守るべきだと思う。自己中心的な大人が増えた。子どもの教育も大切だが、親や大人達の考えを変える教育が必要に思う。

家庭で食事中や、リラックスしたときなど常に話題に出しながら、話してきかせたり、意見をいう時間を意図的に作る。身近な大人が見本を見せ、そのような社会になれば子どももそう思うと思う。

大人がまずは、まじめに一生懸命生きている姿を見せること。自分を大切にすることを常々意識させること。自分が愛され支えられている子は、まわりの人に対しても尊重する心や態度がもてると考える。家庭での子どもを温かく包む雰囲気重要だと思う。

新聞を見ても、テレビを観ても大企業が大罪を犯し、社会的地位のある人が悪いことをし、どの様な人間が偉いとか、尊敬できるとか教えにくい時代です。ルールやマナーを全てその様な大人の人々が破っているのです。親は静かに教えるしかありません。

学校においては先生や大人、社会としては、親や地域の人、何でも教える立場になったら、教える人もしっかりお手本になる様でなければいけない。子どもたちはすぐ矛盾に気がつきます。

大人が手本とならなければ説得力がないと思う。

大人の意識を変える

私もそうですが、親の意識改革と思っています。他の人にしかられたら、"ほらさんにしかられるから"ではなく、しかられるまでの過程が何だったのかを知るべき意識の改革と思います。

大人の行動が大いに関係あり。大人の意識改革を。

注意することがためられる

一番近くにいる親・友達が気付いたら注意する。町で見知らぬ高校生に注意すると、正直、何をされるかわからないくらいにこわい。本当にひどくなる前に注意できたら良いと思う。

3章 クロス集計結果・分析

1 クロス集計の手順

児童生徒・保護者について、それぞれの質問間の関連を見るために、クロス集計を行った。ただし、すべての項目での組み合わせでは膨大な数になることから、一人一人の回答を得点化し、その得点の状況により回答者を4つのグループに分けて行った。

手順を具体的に説明する。

(1) 「 家庭でのしつけに関すること」、「 ルールやマナーについての善悪の判断に関すること」について、それぞれの回答選択肢の番号を得点とし、 では19項目、 では16項目のすべてを合計し、一人一人の得点とする。

(2) 質問内容のまとめりごとに、児童生徒・保護者とも、得点が低い方から（その傾向が高い方から）4つのグループに分ける。（得点による4分位法）

児童生徒の を例に、その方法を説明する。

番号		項目				よくできている			
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない
1	家族そろって食事をする	1	2	3	4	1	2	3	4
2	毎日、朝食を食べる	1	2	3	4	1	2	3	4
3	自分で起床する	1	2	3	4	1	2	3	4
18	お金を大切にする	1	2	3	4	1	2	3	4
19	物を大切にする	1	2	3	4	1	2	3	4

選択肢の番号を得点とみなし、質問内容のまとめりごとにすべての項目の得点を合計する。

すべて「1」であれば、合計得点は「19」

19 ~ 32 (14点幅)	グループ 1
33 ~ 46 (14点幅)	グループ 2
47 ~ 61 (14点幅)	グループ 3
62 ~ 76 (15点幅)	グループ 4

↓

すべて「4」であれば、合計得点は「76」

では最小 19・最大 76、
では児童生徒が最小 16・最大 64、保護者が最小 16・最大 48 となり、例えば、児童生徒の - では、値が小さいグループ 1 ほど「言われる」という傾向が高く、逆に値が大きいグループ 4 ほどその傾向が低いことを表している。

(3) 同様に、他の質問内容のまとまりについても 4 つのグループに分ける。

グループ	児童生徒・保護者	児童生徒	保護者
1	19 ~ 32 (14)	16 ~ 27 (12)	16 ~ 23 (8)
2	33 ~ 46 (14)	28 ~ 39 (12)	24 ~ 31 (8)
3	47 ~ 61 (15)	40 ~ 51 (12)	32 ~ 39 (8)
4	62 ~ 76 (15)	52 ~ 64 (13)	40 ~ 48 (9)

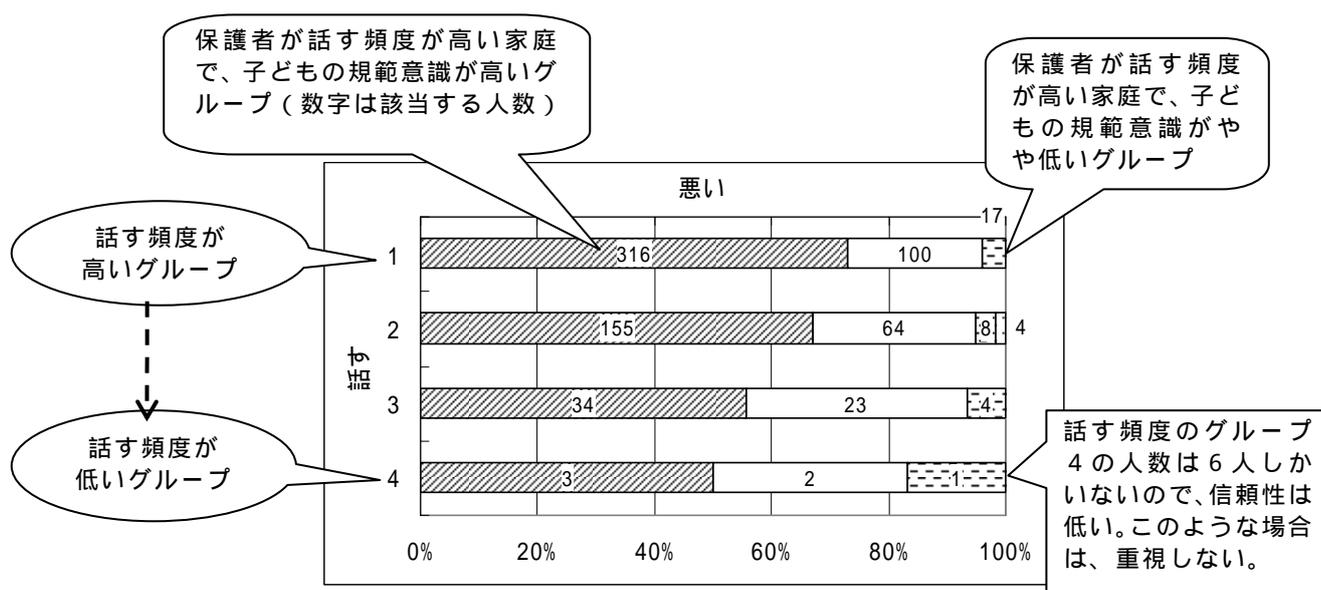
() 内は得点の幅を示している

(4) 児童生徒の (1)、(2) については、4 つあるいは 2 つの選択肢の番号をそのまま得点とする。

(5) これらについて、1 つのまとまりあるいは項目とその他すべてのまとまりや項目とクロス集計を行う。児童生徒と保護者の間でのクロス集計は、同一家庭の児童生徒と保護者で行っている。

クロス集計結果の見方

「保護者 - しつけに関することを話す頻度」×「児童生徒 - 悪いと思う程度」の例



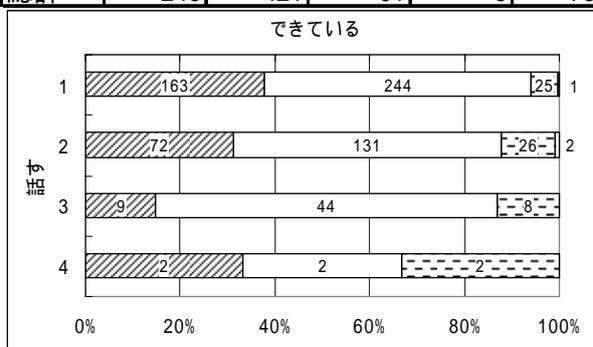
2 クロス集計の結果

家庭でのしつけについて必要性や大切さを言って聞かせている家庭では、子どもにしつけが身に付いており、規範意識が高い傾向がある。

(1) 「保護者 - しつけに関することを話す頻度」×「児童生徒 - しつけに関することができている程度」

家庭でのしつけに関することを、保護者が、その必要性や大切さを子どもに話したり、言って聞かせたりしているグループの家庭では、児童生徒がしつけに関する「できている」と回答している割合が高く、しつけが身に付いている傾向がある。

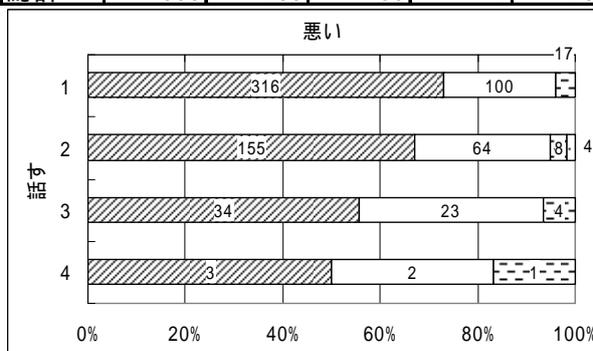
	児 -				
保 -	1	2	3	4	総計
1	163	244	25	1	433
2	72	131	26	2	231
3	9	44	8		61
4	2	2	2		6
総計	246	421	61	3	731



(2) 「保護者 - しつけに関することを話す頻度」×「児童生徒 - 悪いと思う程度」

家庭でのしつけに関することを、保護者が、その必要性や大切さを子どもに話したり、言って聞かせたりしているグループの家庭では、児童生徒が、 の項目のような行為について「悪い」と回答している割合が高く、規範意識が高い傾向がある。

	児 -				
保 -	1	2	3	4	総計
1	316	100	17		433
2	155	64	8	4	231
3	34	23	4		61
4	3	2	1		6
総計	508	189	30	4	731

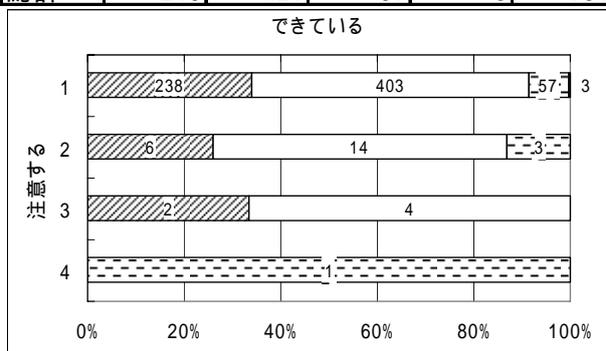


保護者から注意される子は、子どもにしつけが身に付いており、規範意識が高い傾向がある。

(3)「保護者 - 自分の子どもに注意すること」×「児童生徒 - しつけに関することができる程度」

の項目のような行為を自分の子どもがしたときに注意をすると回答した割合が高いグループの家庭では、児童生徒がしつけに関することが「できている」と回答している割合が高く、しつけが身に付いている傾向がある。

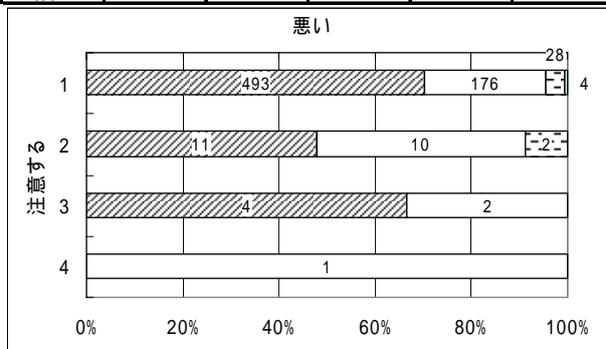
	児 -				
保 -	1	2	3	4	総計
1	238	403	57	3	701
2	6	14	3		23
3	2	4			6
4			1		1
総計	246	421	61	3	731



(4)「保護者 - 自分の子どもに注意すること」×「児童生徒 - 悪いと思う程度」

の項目のような行為を自分の子どもがしたときに注意をすると回答した割合が高いグループの家庭では、児童生徒がそれらの行為について「悪い」と回答している割合が高く、規範意識が高い傾向がある。

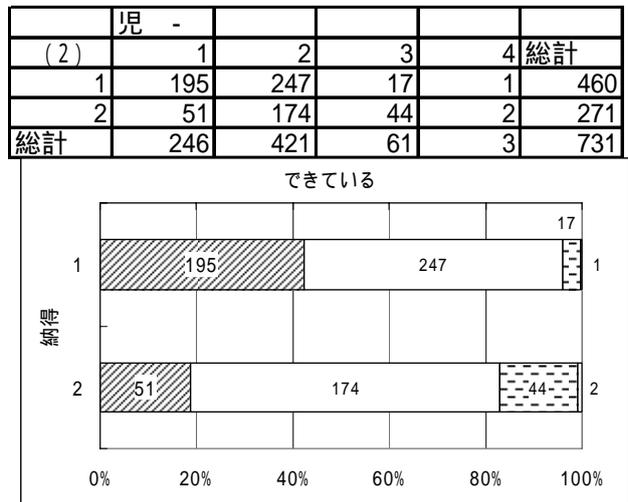
	児 -				
保 -	1	2	3	4	総計
1	493	176	28	4	701
2	11	10	2		23
3	4	2			6
4		1			1
総計	508	189	30	4	731



家族からの注意や意見に納得できる子は、しつけが身に付き、規範意識も高い傾向がある。

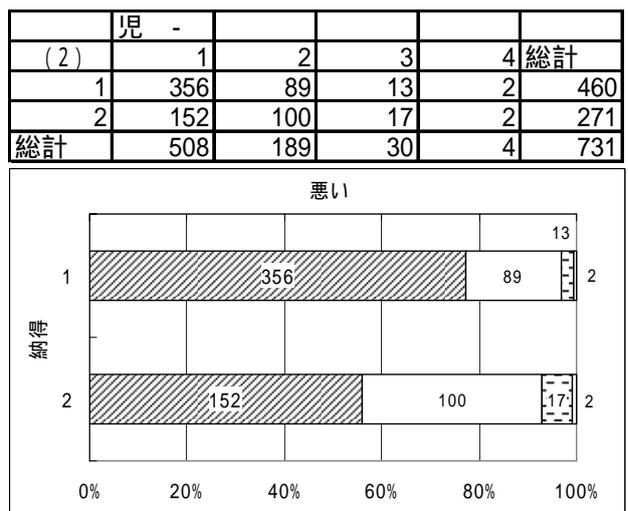
(5) 「児童生徒 (2)家族の注意に納得できること」 × 「児童生徒 - しつけに関することができている程度」

家族からの注意や意見に納得できることが多いグループは、しつけに関することが「できている」と回答している割合が高く、しつけが身に付いている傾向がある。



(6) 「児童生徒 (2)家族の注意に納得できること」 × 「児童生徒 - 悪いと思う程度」

家族からの注意や意見に納得できることが多いグループは、児童生徒が、 の項目のような行為について「悪い」と回答している割合が高く、規範意識が高い傾向がある。

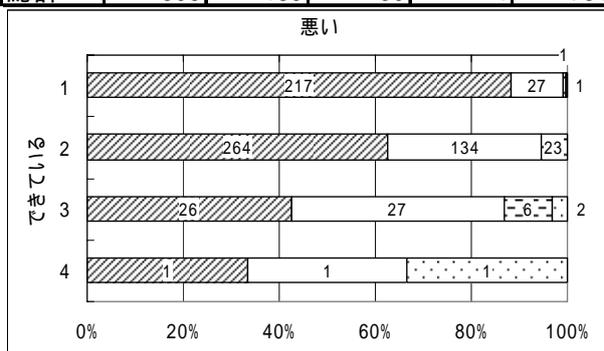


しつけが身に付いている子は、規範意識が高い傾向がある。

(7)「児童生徒 - しつけに関することができている程度」×「児童生徒 - 悪いと思う程度」

しつけに関することができているグループは、の項目のような行為について「悪い」と回答している割合が高く、規範意識が高い傾向がある。

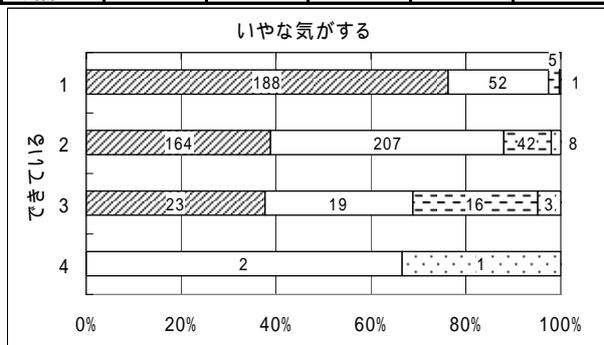
	児 -				
児 -	1	2	3	4	総計
1	217	27	1	1	246
2	264	134	23		421
3	26	27	6	2	61
4	1	1		1	3
総計	508	189	30	4	731



(8)「児童生徒 - しつけに関することができている程度」×「児童生徒 - 他人の行動に対していやな気がする程度」

しつけに関することができているグループは、の項目のような行為をする人がまわりにいたらどう思うかという問いに、「いやな気がする」と回答している割合が高く、規範意識が高い傾向がある。

	児 -				
児 -	1	2	3	4	総計
1	188	52	5	1	246
2	164	207	42	8	421
3	23	19	16	3	61
4		2		1	3
総計	375	280	63	13	731



4章 まとめ

家庭できちんと「しつけ」しましょう

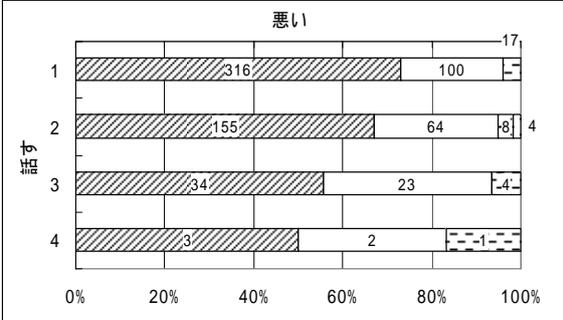
発達段階に応じた指導を続けましょう

子どもたちに声をかけましょう

大人が「見本」を示しましょう

家庭できちんと「しつけ」しましょう

家庭でのしつけについて必要性や大切さを言って聞かせたり、子どもの好ましくない行動には注意をしたりする家庭、また、生活について注意や意見ををする際に子どもが納得できるように気を配っている家庭では、子どもにしつけが身に付いており、規範意識が高い傾向が見られました。

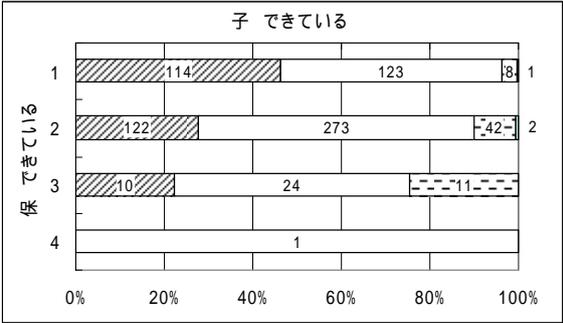


55 ページ参照

このような家庭では、保護者が子どもの健全な成長を願って、社会のルールやマナー、人に迷惑をかけることなどについても具体的なことを意図的に話して聞かせていることでしょう。そのことが、規範意識の高い子が育つことにつながるものと思われます。

一方で、児童生徒がしつけについて言われているという割合が、保護者がしつけについて話しているという割合より低いことから、大人が言葉をかけている割に子どもの意識には残っていないことも分かりました。大切なことを伝えたいがために子どもに話すのですから、もっと子どもたちの意識に残るような話し方を工夫するとよいでしょう。

また、家庭でのしつけに関することを、保護者ができていると回答しているグループの家庭では、児童生徒もできていると回答している傾向があり、保護者と児童生徒の意識には違いがないことも分かりました。保護者が子どもの行動を評価したときには、子ども自身も自分の行動について同じような評価をしていることが多いようです。



「できていない」と評価したときには、自信をもって指導してよいのだらうと思われます。逆に、「できている」と評価したときには、「できて当たり前」ではなく「よくできたね」「ありがとう」などと声をかけるなどして褒めたり認めたりすることで、子どもたちの自己肯定感につながるのではないのでしょうか。

発達段階に応じた指導を続けましょう

「ルール」や「マナー」について質問したところ、多くの児童生徒が、善悪の判断では「悪い」、他人の行動には「いやな気がする」と回答しています。

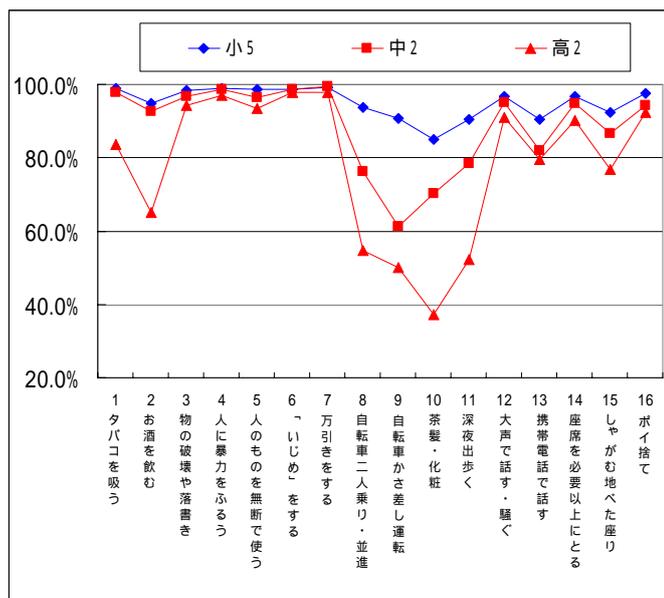
特に、暴力や「いじめ」などは、どの学年でも非常に多くの児童生徒が「悪い」「いやな」許せない行動と考えています。また、電車などの車内で携帯電話で話す・座席を必要以上にとる・通路などにしゃがみこむなどの「マナー」についても同様に考えています。

子どもたちの規範意識は、学年が上がるにしたがって低くなっています。子どもたちは、「ルール」や「マナー」についての善悪の判断基準を、物理的・肉体的・精神的な面での危害や被害が人に直接及ぶか否かというところに置いて

いるようです。しかし、「自分がよければかまわない」ということではなく、「人に迷惑をかけることは悪いこと、いけないことであり、児童生徒がそのような行動を慎むことができるように指導していくことが大切であると考えられます。また、他者に心理的な不快感を与えることも、それ自体迷惑なことであると認識させる必要もあるのではないかと思います。

子どもたちの望ましい規範意識をはぐくむには、幼少期からの家庭でのしつけが土台になります。しかし、子どもたちは、発達段階に応じて、行動も意識も家庭から範囲が広がっていきます。その中でかかわる多くの大人が、それぞれの立場でルールやマナーについて、指導し続けていくことも必要になります。また、人や立場が違って、多くの大人が、同じ基準で指導することが、子どもの規範意識を高めることになるのではないのでしょうか。

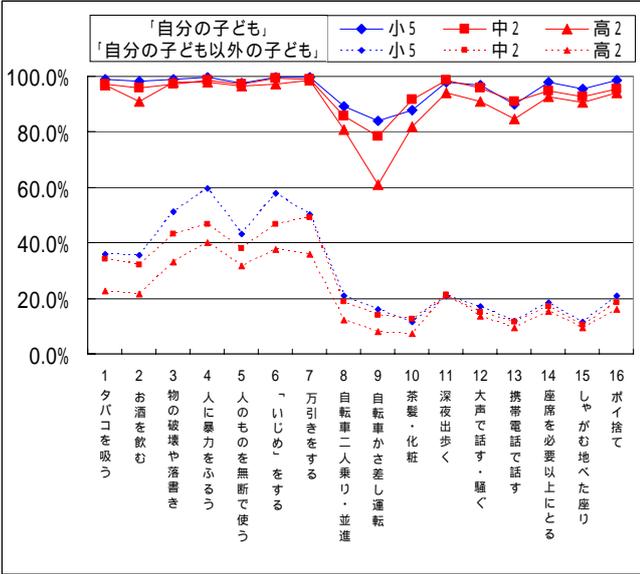
特に、子どもたちが集団生活を送る学校には、人とのかかわりの中で善悪の判断を身に付けていく多くの機会があります。学校が中心になりながら、地域や社会の協力を得て、成長過程にある子どもたちに、発達段階に応じた指導を続けていきましょう。



20 ページ参照

子どもたちに声をかけましょう

保護者は、自分の子にはしつけやものの善悪について、よく話をし、悪いことをすれば注意すると答えています。ところが、自分の子ども以外の子どもが悪いことをしていたら「注意するか」について質問したところ、右のグラフのように、他人の子どもだと注意しない傾向が顕著です。



32 ページ参照

記述による回答の中には、町で見かけた児童生徒の迷惑行為については、「注意するのが怖い」「注意すると何をされるかわからない」という意見がいくつか見られました。健全な社会をつかっていくためには、注意すべきときに大人として適切な注意をすることが大切であるとは分かっていますが、なかなか声をかけにくい状況もあるようです。

問題と思われる行動に出会って注意しようとするときに、「絶対に注意して改めさせよう」という気持ちが強すぎると高圧的な態度になってしまったり、怖いという気持ちが強いと妙に遠慮して注意が中途半端になってしまったりするかもしれません。また、緊張した気持ちが相手に伝わるため、相手も身構えてしまい、開き直ったり、反発してしまったりすることが予想されます。

特別に「注意をする」と身構えてしまうと難しいので、「どうしたの?」「ちょっとごめんね、さっきから見てたんだけど気になってね・・・」「何かあったの?」など、何気ない声かけができないものではないでしょうか。すぐに行動を止められないとしても、「まわりは見ているよ」「無視できないでいるよ」というメッセージとして子どもたちに伝えることになり、次の機会の抑止力となることもあると考えられます。

また、地域社会にあっては、普段からあいさつなどの声をかけたりすることで、いつも大人が子どもたちのことを見ていることを、子どもに伝えたり示したりしていきたいものです。自然に声をかけることができる大人の力が、子どもたちの意識の高まりにつながっていくでしょう。

大人が「見本」を示しましょう

子どものルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためにどうしたらよいと思うかを、児童生徒と保護者に質問しました。

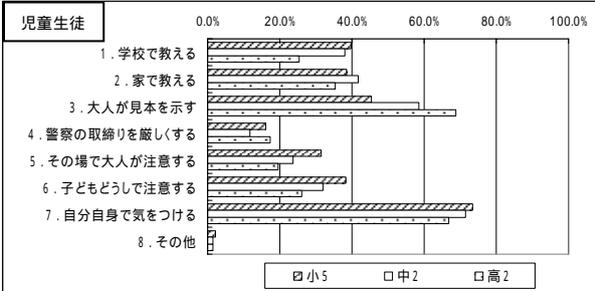
保護者の回答で最も多かったものは、「大人が見本を示す」という内容でした。これは、児童生徒でも、「自分自身で気をつける」に次いで多く回答されたものであり、保護者も児童生徒も、大人が社会のルールやマナーを守る見本となっていないと感じていることが分かりました。

また、規範意識に関する項目では、児童生徒の学年が上がるにしたがって、飲酒、喫煙、自転車の二人乗り・並進、自転車の傘差し運転などを容認する傾向が見られました。この項目については、保護者にも似たような傾向が見られました。

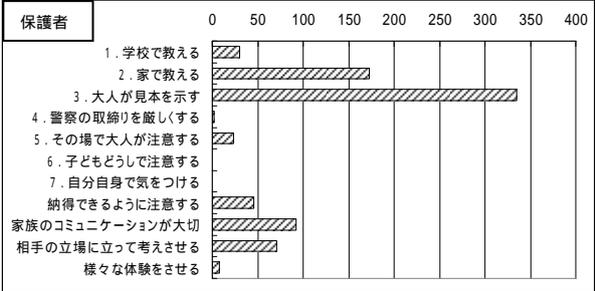
特に、自転車の乗り方についての意識が非常に低いことは、本県の交通事故による死亡者発生割合が全国ワースト1であることと無関係ではないかもしれません。「これくらいはいいだろう」「みんなやってるから」といった考えではなく、法律で定められていることの理解を促すことが必要です。また、社会および学校においてルールとして定められているものについても、「守ろう」という意識を大人も子どもも高めていくべきでしょう。

見本を示すこととは、取り立てて何か特別なことすることではありません。例えば、日常の様々な場面や、ルールやマナーを逸脱した事件の報道などの機会をとらえて、それが「悪い」ことであることを意図的に話題にしたり、どう行動すべきかについて話し合ったりすることが大切です。

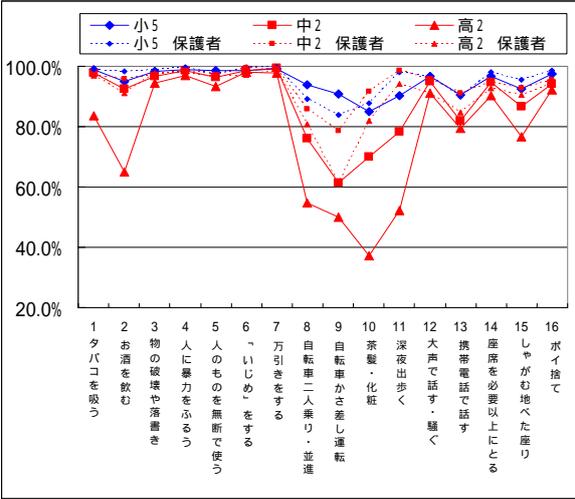
そのような毎日の小さな積み重ねが、子どもの心に浸透し、ゆるぎない規範意識を作り上げるための糧になるのではないのでしょうか。



45 ページ参照



48 ページ参照



33 ページ参照

5章 資料

- ・ 子どもの生活に関するアンケート（児童生徒用）
- ・ 子どもの生活に関するアンケート（保護者用）
- ・ （19項目）、（16項目）の項目ごとの集計結果を示した表およびグラフ

学校等において、調査用紙を複製して使用していただいで結構です。
なお、その際には、栃木県総合教育センター研究調査部にご連絡いただければ、集計用ソフトの提供など調査に関する相談に応じることもできます。

子どもの生活に関するアンケート(児童生使用)

栃木県総合教育センター

このアンケートは、栃木県の小学生・中学生・高校生、高校生のふだんの生活のようすや考えについて調べて調べるものであり、テストではありません。あなたに迷惑をかけることはありませんから、思ったことをそのまま答えてください。

- ・ 名前を書く必要はありません。
- ・ 質問の内容などがわからないときは、先生に聞いてください。
- ・ 選んで答える質問は、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ 書いて答える質問は、のわくの中に書いてください。

出席番号

提出の確認のために、出席番号を書いてください。
この番号をもとに、だれが書いたものかを調べるようなことはありません。

あなたの性別を答えてください。

1. 男 2. 女

I 下の1から19のことについて、あてはまる番号に○をつけてください。

- ① 1から19のことが家庭で話題になったり、家の人から言われたりすることがどれくらいありますか。
- ② あなたは、そのことがどれくらいできていますか。

番号	項目	①			②				
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない
1	家族そろって食事をする	1	2	3	4	1	2	3	4
2	毎日、朝食を食べる	1	2	3	4	1	2	3	4
3	自分で起床する	1	2	3	4	1	2	3	4
4	睡眠を十分にとる	1	2	3	4	1	2	3	4
5	身のまわりの整理整頓をする	1	2	3	4	1	2	3	4
6	自分のことは自分でする	1	2	3	4	1	2	3	4
7	言ったことやしたことに責任をもつ	1	2	3	4	1	2	3	4
8	家の手伝いをする	1	2	3	4	1	2	3	4
9	命を大切にする	1	2	3	4	1	2	3	4
10	うそをついたり、人をだましたりしない	1	2	3	4	1	2	3	4
11	約束を守る	1	2	3	4	1	2	3	4
12	人に親切にする	1	2	3	4	1	2	3	4
13	友達や先生、近所の人などに「おはよう」「おはよう」「おはようございます」などのあいさつをする	1	2	3	4	1	2	3	4
14	人に何かをしてもらったときに「ありがとう」「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言う	1	2	3	4	1	2	3	4
15	人に迷惑をかけたときや自分が間違ったときに「ごめん」「すみません」などをおやめる	1	2	3	4	1	2	3	4
16	言葉づかいに気をつける	1	2	3	4	1	2	3	4
17	テレビゲームや携帯電話などを使うときは、使いたくないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
18	お金を大切に使う	1	2	3	4	1	2	3	4
19	物を大切に使う	1	2	3	4	1	2	3	4

II 下の1から16のことについて、あてはまる番号に○をつけてください。

- ①小学生、中学生、高校生がそれらのことをすることをどう思いますか。
 ②そのようなことをする人がまわりにいたらどう思いますか。

番号	項目	①		②	
		悪い ちらか かとい えは	悪い ちらか かとい えは	悪い ちらか かとい えは	悪い ちらか かとい えは
1	タバコを吸う	1	2	3	4
2	お酒を飲む	1	2	3	4
3	物をこわしたり、落書きしたりする	1	2	3	4
4	人に暴力をふるう	1	2	3	4
5	人のものを無断で使う	1	2	3	4
6	「いじめ」をする	1	2	3	4
7	万引きをする	1	2	3	4
8	自転車の二人乗りや並進をする	1	2	3	4
9	自転車のかさ差し運転をする	1	2	3	4
10	茶髪にしたり化粧したりする	1	2	3	4
11	深夜散歩	1	2	3	4
12	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、大声で話したり騒いだりする	1	2	3	4
13	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、携帯電話で話す	1	2	3	4
14	バスや電車の中で、座席を必要以上にとる	1	2	3	4
15	電車の中や店さきなどで、しやがみ込んだりじかに座ったりする	1	2	3	4
16	ごみをポイ捨てしたり置きっぱなしにしたりする	1	2	3	4

III 次の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。また、考えや体験などの質問については、□のわくの中に書いてください。

- (1) あなたは、家族から注意や意見をされることが多いですか。一つ選んでください。

1. とても多い	2. どちらかといえば多い
3. どちらかといえば少ない	4. 少ない

- (2) 家族から注意や意見をされたとき、納得できることが多いですか、納得できないことが多いですか。一つ選んでください。

1. 納得できることが多い	2. 納得できないことが多い
---------------	----------------

- (3) 今までに、家族からしかられたことで反省できたことはどのようなことですか。

--

- (4) 今までに、家族や先生以外の大人から何か注意されたことがありますか。一つ選んでください。

1. ある	2. ない
-------	-------

- 「1. ある」に答えた人は、どのようなことで注意をされたか、書いてください。

--

- (5) ルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためには、どうしたらよいと思いますか。三つまで選んでください。また、この他に意見がある人は、「8. その他」に意見を書いてください。

1. 学校で教える	2. 家で教える
3. 大人が見本を示す	4. 警察の取締りを厳しくする
5. その場で大人が注意する	6. 子どもどうしで注意する
7. 自分自身で気をつける	
8. その他	

子どもの生活に関するアンケート(保護者用)

栃木県総合教育センター

栃木県総合教育センターでは、「未来を担う子どもの心を育てる調査研究」と題して、子どもたちに基本的な生活習慣を確立させたり規範意識を向上させたりしていくうえで、子どもに対する大人の関わり方について研究を進めています。
趣旨等をご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

・以下のアンケート項目にしたがって、保護者の方がご家庭でどのようなにお子様と関わっているか、お聞かせください。

・この研究では、子どもたちの普段の生活の様子や考えを把握するため、児童生徒にも同様のアンケート調査を実施しています。アンケートの中では、子どもたちがわかるような言葉を用いていますのでご了承ください。

年代をお答えください。
あてはまる番号に○をつけてください。

1. 20代 2. 30代
3. 40代 4. 50代以上

1. このアンケート用紙を持ち帰ったお子様とあなたのことについて、あてはまる番号に○をつけてください。

①下の1から19のことについて、その必要性や大切さをお子様と話したり、お子様に言って聞かせたりすることが、どれくらいありますか。

番号	項目	①			②				
		よく話す	ときどき話す	あまり話さない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない		
1	家族そろって食事をする	1	2	3	4	1	2	3	4
2	毎日、朝食を食べる	1	2	3	4	1	2	3	4
3	自分で起床する	1	2	3	4	1	2	3	4
4	睡眠を十分にとる	1	2	3	4	1	2	3	4
5	身のまわりの整理整頓をする	1	2	3	4	1	2	3	4
6	自分のことは自分でする	1	2	3	4	1	2	3	4
7	言ったことやしたことに責任をもつ	1	2	3	4	1	2	3	4
8	家の手伝いをする	1	2	3	4	1	2	3	4
9	命を大切にす	1	2	3	4	1	2	3	4
10	うそをついたり、ひとをだましたりしない	1	2	3	4	1	2	3	4
11	約束を守る	1	2	3	4	1	2	3	4
12	人に親切にする	1	2	3	4	1	2	3	4
13	友達や先生、近所の人などに「おはよう」「おはようございます」などのあいさつをする	1	2	3	4	1	2	3	4
14	人に何かをしてもらったときに「ありがとう」「ありがとうございます」などの感謝のことは言う	1	2	3	4	1	2	3	4
15	人に迷惑をかけたときや自分が間違ったときに「ごめんね」「すみません」などとあやまる	1	2	3	4	1	2	3	4
16	言葉づかいに気をつける	1	2	3	4	1	2	3	4
17	テレビゲームや携帯電話などを使うときは、使いすぎないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
18	お金を大切にす	1	2	3	4	1	2	3	4
19	物を大切にす	1	2	3	4	1	2	3	4

II 下の1から16のことについて、あてはまる番号に○をつけてください。

- ①あなたのお子様がそのような行動をとったとしたら、注意をしますか。
- ②あなたのお子様以外の子どもがそのような行動をとったとしたら、注意をしますか。

番号	項目	①			②		
		注意する	注意できない	特に注意しない	注意する	注意できない	特に注意しない
1	タバコを吸う	1	2	3	1	2	3
2	お酒を飲む	1	2	3	1	2	3
3	物をこわしたり、落書きしたりする	1	2	3	1	2	3
4	人に暴力をふるう	1	2	3	1	2	3
5	人のものを無断で使う	1	2	3	1	2	3
6	「いじめ」をする	1	2	3	1	2	3
7	万引きをする	1	2	3	1	2	3
8	自転車の二人乗りや並進をする	1	2	3	1	2	3
9	自転車のかさ差し運転をする	1	2	3	1	2	3
10	茶髪にしたり化粧したりする	1	2	3	1	2	3
11	深夜出歩く	1	2	3	1	2	3
12	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、大声で話したり騒いだりする	1	2	3	1	2	3
13	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、携帯電話で話す	1	2	3	1	2	3
14	バスや電車の中で、座席を必要以上にとる	1	2	3	1	2	3
15	電車の通路や店さきなどで、しゃがみ込んだりじかに座つたりする	1	2	3	1	2	3
16	ごみをポイ捨てしたり置きっぱなしにしたりする	1	2	3	1	2	3

III 次の質問にお答えください。

- (1) 今までに、あなたのお子様をしかつたことと、お子様自身が反省できたことはどのようなことですか。お聞かせください。

どのようなことをしましたか	
どのようなしかり方や言葉が効果的だったと思いますか	

- (2) 今までに、自分のお子様以外の子どもを注意したことがありますか。一つ選んでください。

1. ある	2. ない
-------	-------

↓ 「1. ある」と回答した方は、そのことをお聞かせください。

どのようなことを注意しましたか	
どのように注意しましたか	

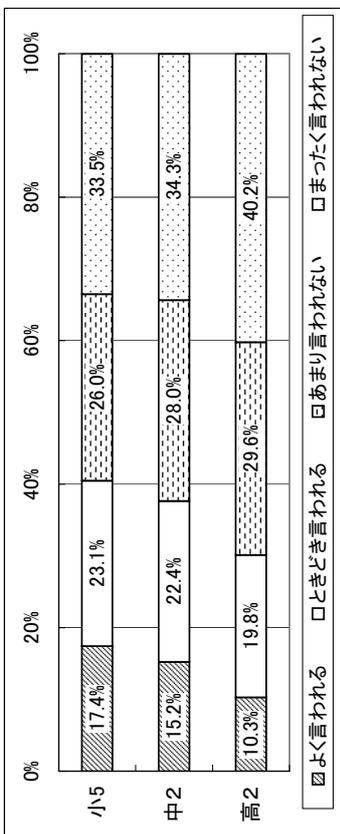
- (3) 子どものルールやマナーを守ろうとする意識を高めるためには、どうしたらよいと思いますか。考えをお聞かせください。

--	--

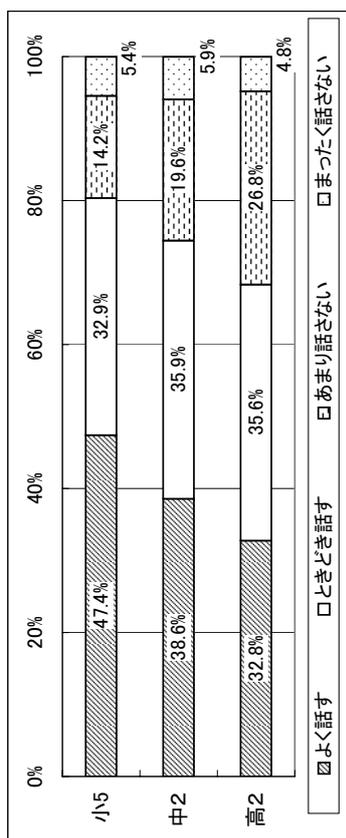
ご協力ありがとうございます。封筒に入れて封をし、学校を通じてご提出ください。また、提出の確認のために、お子様の学級での出席番号を、封筒表面の番号の欄にお書きください。

I-1 家族そろって食事をすする

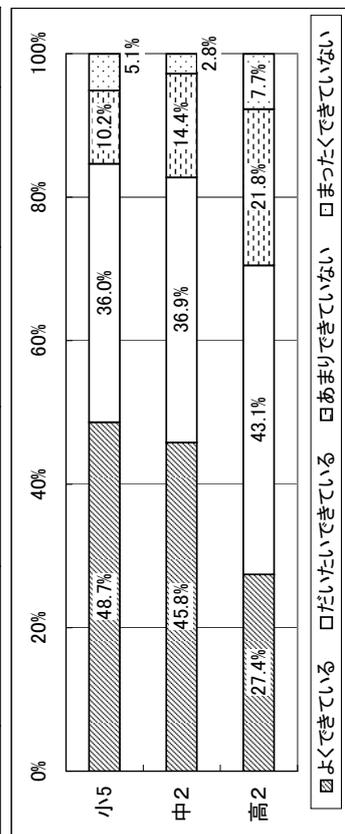
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	32	45	44	74	195
女	33	41	53	51	178
計	65	86	97	125	373
小5	21	40	50	64	175
中2	34	41	51	60	186
高2	55	81	101	124	361
男	18	32	66	93	209
女	22	49	45	63	179
計	40	77	115	156	388



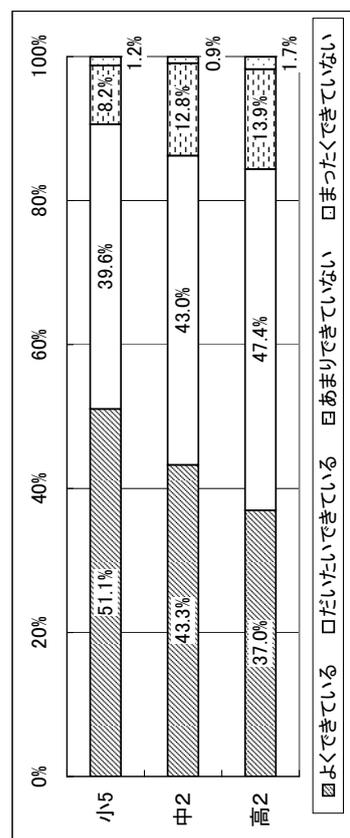
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	157	109	47	18	331
中2	130	121	66	20	337
高2	116	126	95	17	354



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	99	68	17	10	194
女	82	66	21	9	178
計	181	134	38	19	372
小5	79	68	22	5	174
中2	86	65	30	5	186
高2	165	133	52	10	360
男	54	92	50	15	211
女	53	76	35	15	179
計	107	168	85	30	390

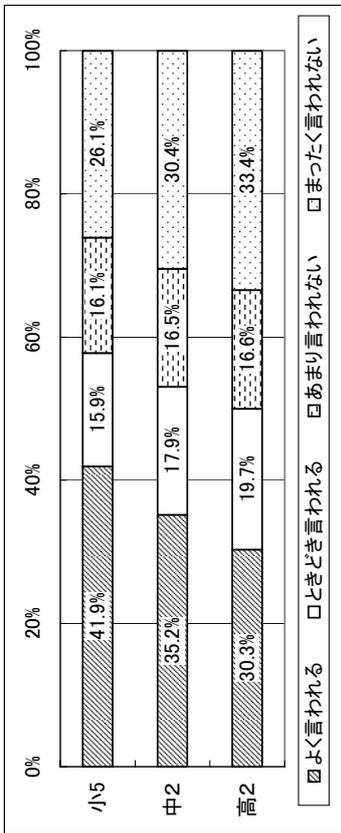


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	169	131	27	4	331
中2	145	144	43	3	335
高2	128	164	48	6	346

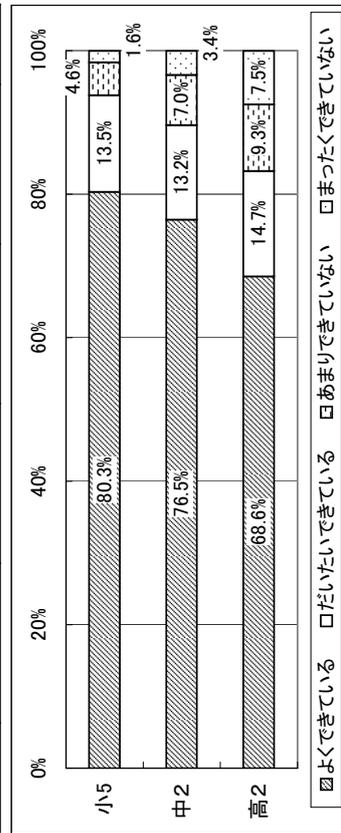


I-2 毎日、朝食を食べる

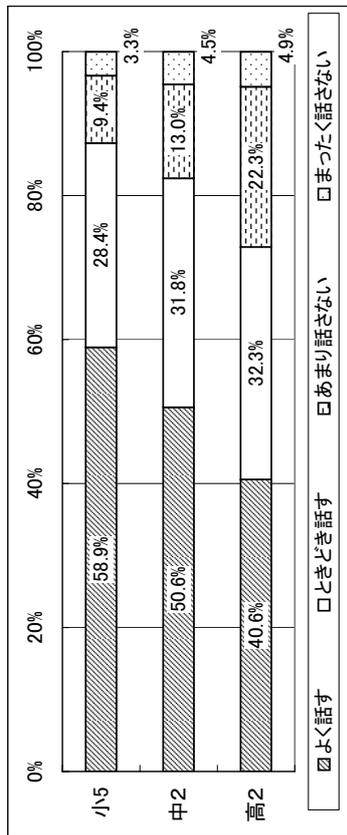
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われぬ	まったく言われぬ	回答数
男	78	31	25	60	194
女	78	28	35	37	178
計	156	59	60	97	372
小5	60	26	23	65	174
中2	66	38	36	41	181
高2	126	64	59	109	358
男	53	40	35	80	208
女	66	36	23	41	170
計	117	76	64	129	386



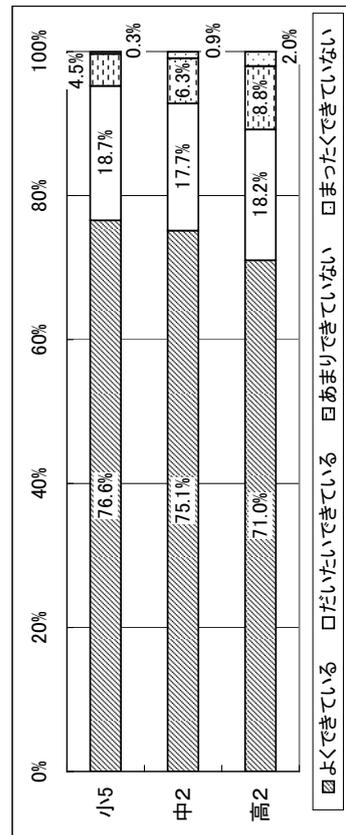
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	154	24	10	5	193
女	144	26	7	1	178
計	298	50	17	6	371
小5	133	25	9	5	172
中2	140	22	16	7	185
高2	273	47	25	12	357
男	136	33	16	7	209
女	130	24	20	11	179
計	266	57	36	29	388



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	195	94	31	11	331
中2	167	105	43	15	330
高2	142	113	78	17	350

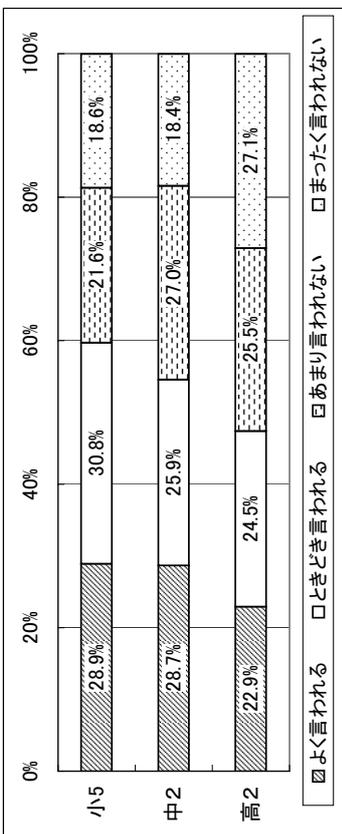


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	258	63	15	1	337
中2	251	59	21	3	334
高2	250	64	31	7	352

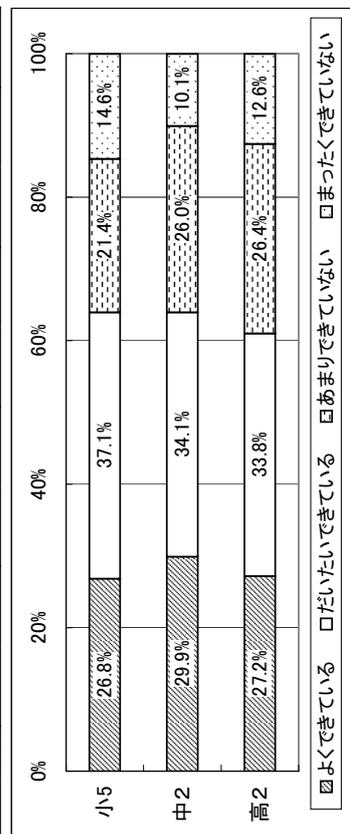


I-3 自分で起床する

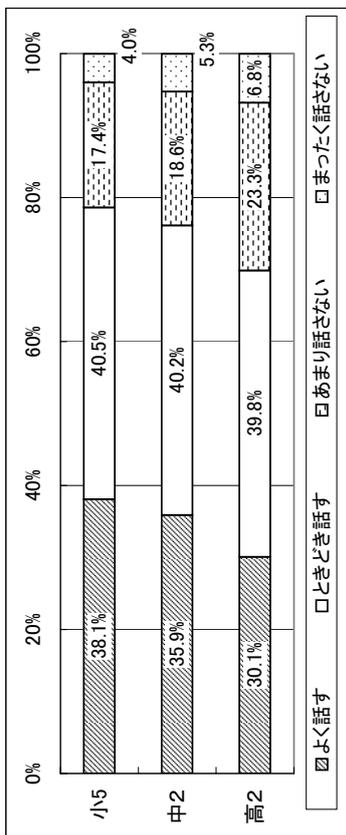
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	55	54	43	43	195
女	52	60	37	26	175
計	107	114	80	69	370
小5	45	43	51	35	174
中2	58	50	46	31	185
高2	103	93	97	66	359
男	47	49	53	60	209
女	42	46	46	45	179
計	89	95	99	105	388



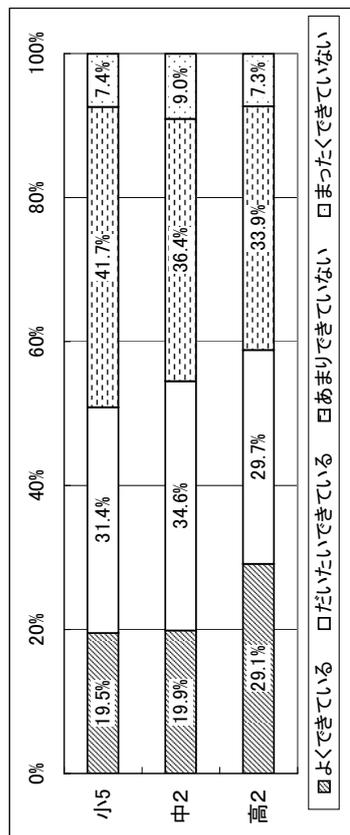
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	56	66	43	29	194
女	43	71	36	25	175
計	99	137	79	54	369
小5	58	55	44	16	173
中2	49	67	49	20	185
高2	107	122	93	36	358
男	51	80	51	29	211
女	55	52	52	29	179
計	106	132	103	49	390



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	125	133	57	13	328
中2	116	130	60	17	323
高2	102	135	79	23	339

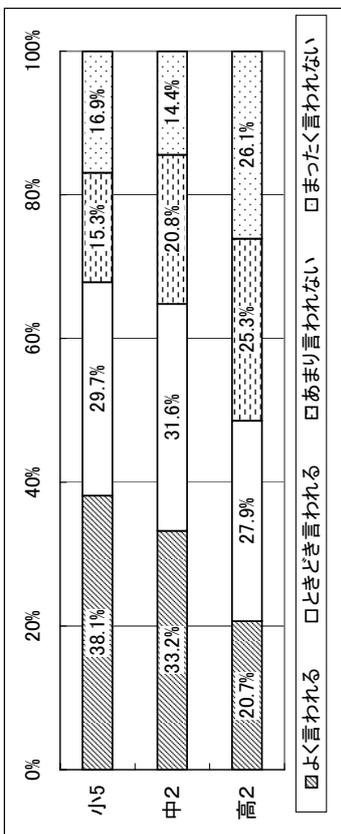


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	66	106	141	25	338
中2	66	115	121	30	332
高2	104	106	121	26	357

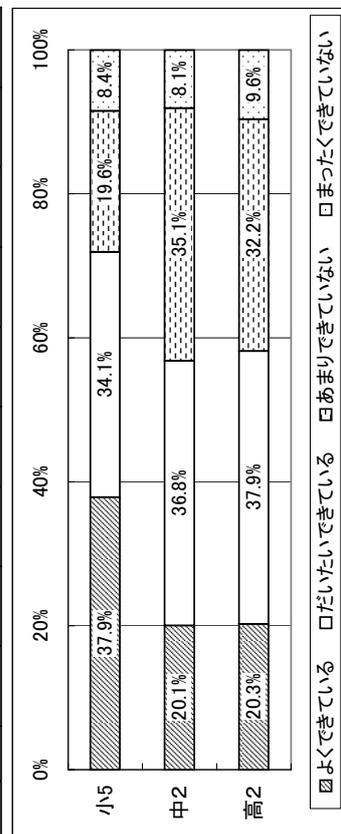


I-4 睡眠を十分にとる

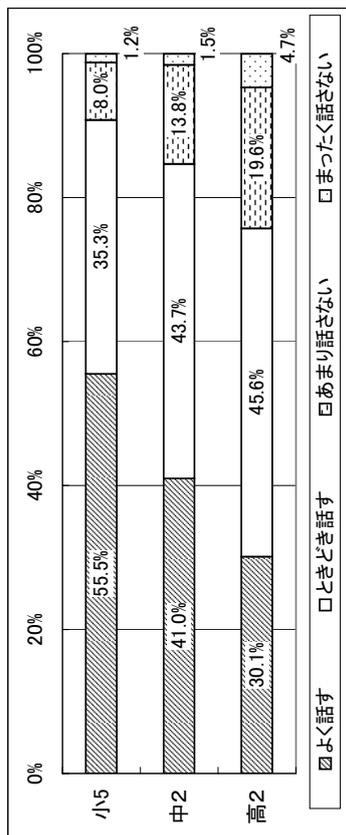
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	70	57	26	38	191
女	70	52	30	24	176
計	140	109	56	62	367
小5	56	50	38	31	175
中2	64	64	37	21	186
高2	120	114	75	52	361
男	38	59	46	65	208
女	42	49	52	36	179
計	80	108	98	101	387



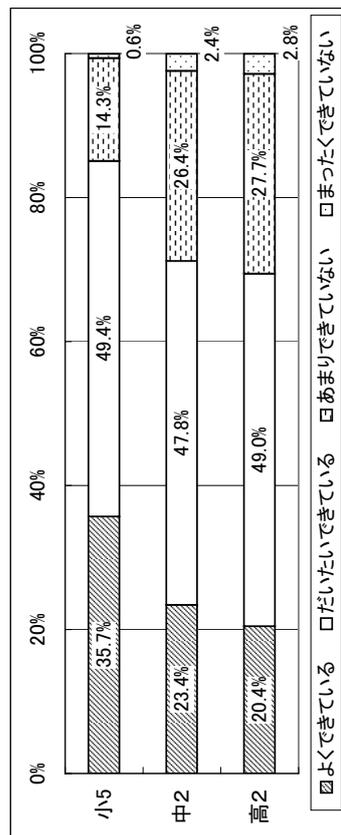
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	76	58	40	16	190
女	63	67	32	15	177
計	139	125	72	31	367
小5	44	63	49	17	173
中2	28	69	77	12	186
高2	72	132	126	29	359
男	44	76	69	19	208
女	34	70	55	18	177
計	78	146	124	37	385



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	181	115	26	4	326
中2	134	143	45	5	327
高2	103	156	67	16	342

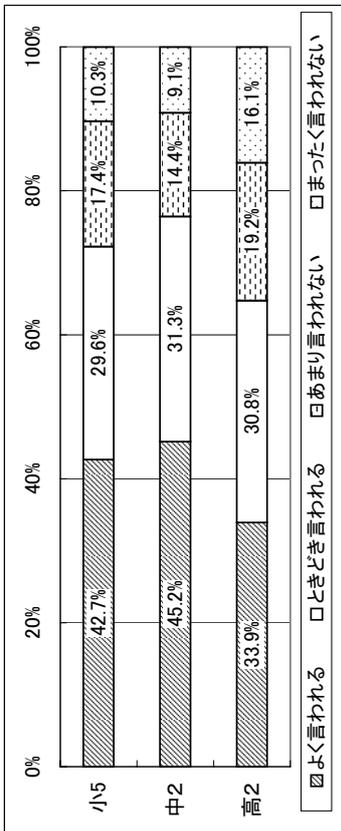


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	120	166	48	2	336
中2	79	161	89	6	337
高2	73	175	99	10	357

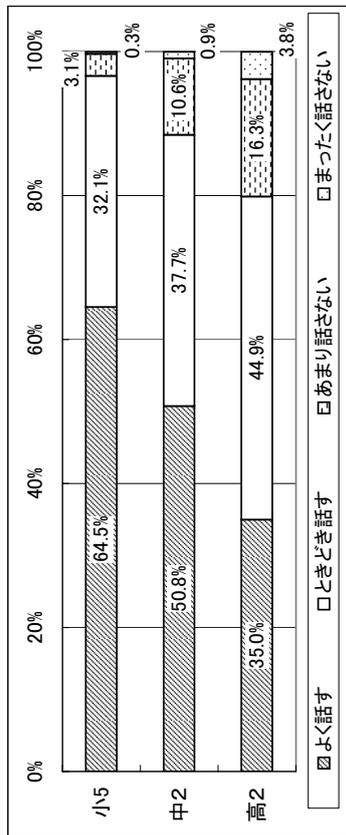


I-5 身のまわりの整理整頓をする

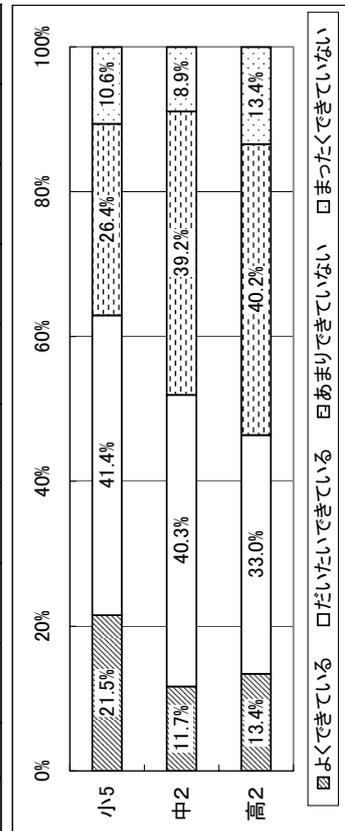
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
小5 男	76	58	37	20	191
小5 女	81	51	27	13	177
小5 計	157	109	64	33	368
中2 男	68	54	26	27	175
中2 女	95	59	26	20	186
中2 計	163	113	52	33	361
高2 男	58	61	47	44	210
高2 女	73	58	27	15	176
高2 計	131	119	74	62	386



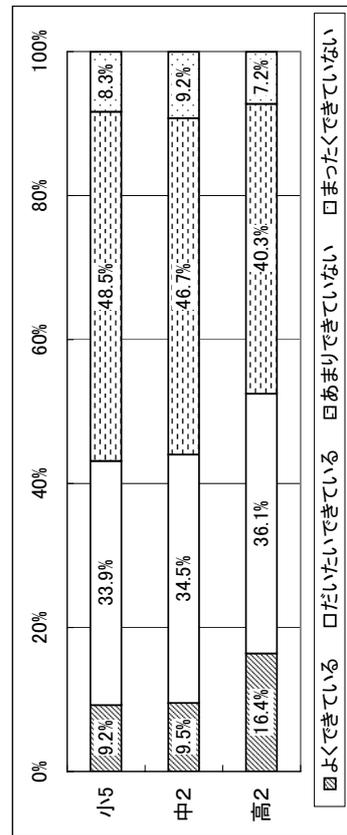
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	211	105	10	1	327
中2	167	124	35	3	329
高2	120	154	56	13	343



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5 男	26	70	65	30	191
小5 女	53	82	32	9	176
小5 計	79	152	97	39	367
中2 男	25	55	79	15	174
中2 女	17	90	62	17	186
中2 計	42	145	141	32	360
高2 男	39	79	64	29	211
高2 女	13	49	92	23	177
高2 計	52	128	156	52	388

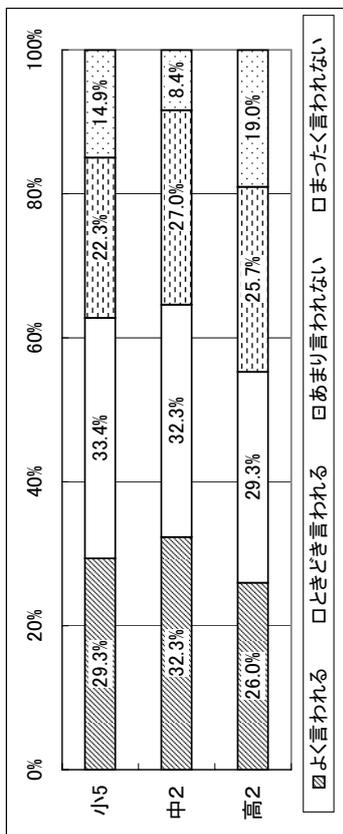


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	31	114	163	28	336
中2	32	116	157	31	336
高2	59	130	145	26	360

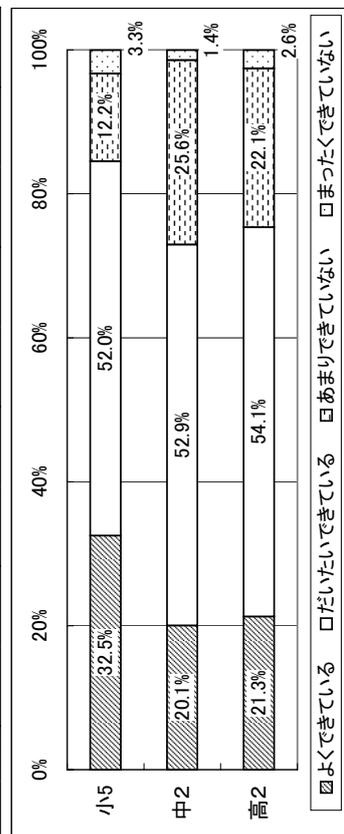


I-6 自分のことは自分です

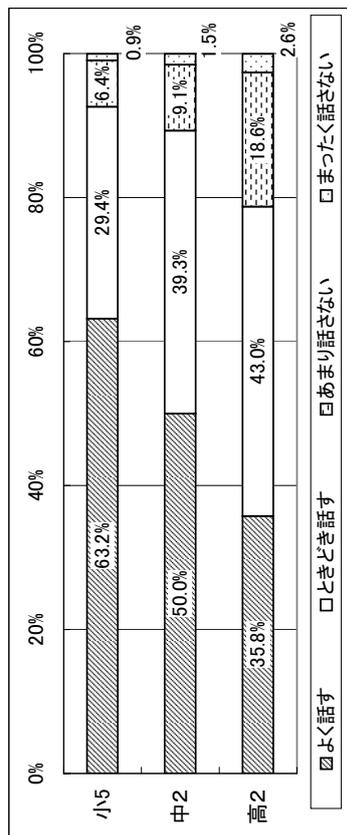
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	55	28.5%	47	24.4%	193
女	53	30.3%	35	20.0%	175
計	108	29.3%	82	22.3%	368
男	49	28.2%	48	27.6%	174
女	67	36.2%	49	26.5%	185
計	116	32.3%	97	27.0%	359
男	45	21.4%	53	25.2%	210
女	56	31.3%	41	24.6%	179
計	101	26.0%	100	25.7%	389



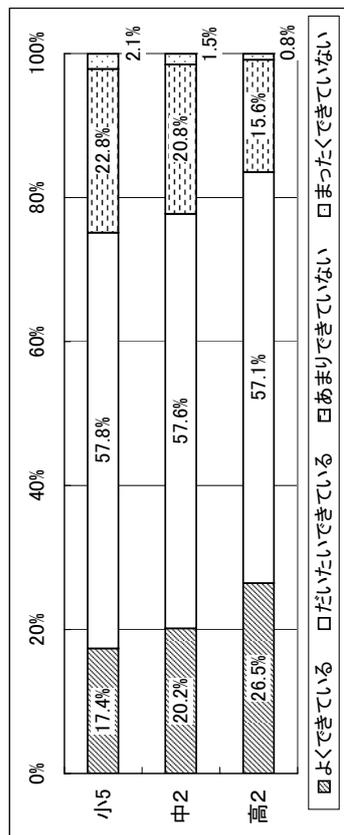
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	58	30.1%	24	12.4%	193
女	62	35.2%	21	11.9%	176
計	120	32.5%	45	12.2%	369
男	39	22.4%	43	24.7%	174
女	33	17.8%	49	26.5%	185
計	72	20.1%	92	25.6%	359
男	55	26.1%	36	17.1%	211
女	28	15.6%	50	27.9%	179
計	83	21.3%	86	22.1%	390



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	206	63.2%	21	6.4%	326
中2	164	50.0%	30	9.1%	328
高2	123	35.8%	64	18.6%	344

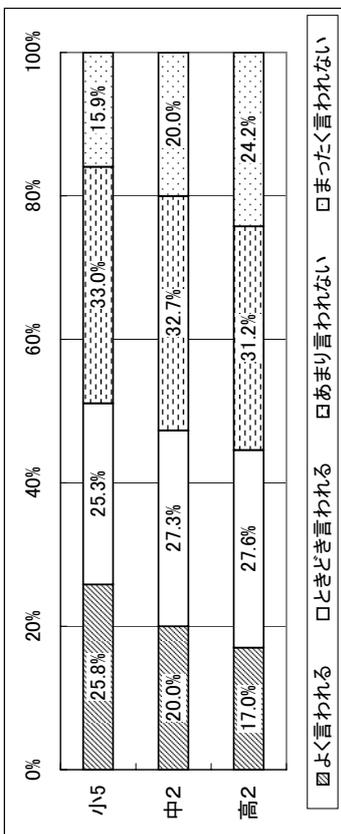


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	58	17.4%	76	22.8%	334
中2	68	20.2%	70	20.8%	337
高2	95	26.5%	56	15.6%	359

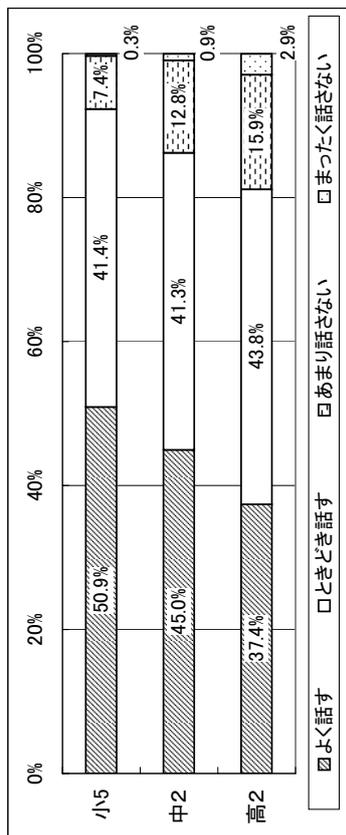


I-7 言ったことやしたことに責任をもつ

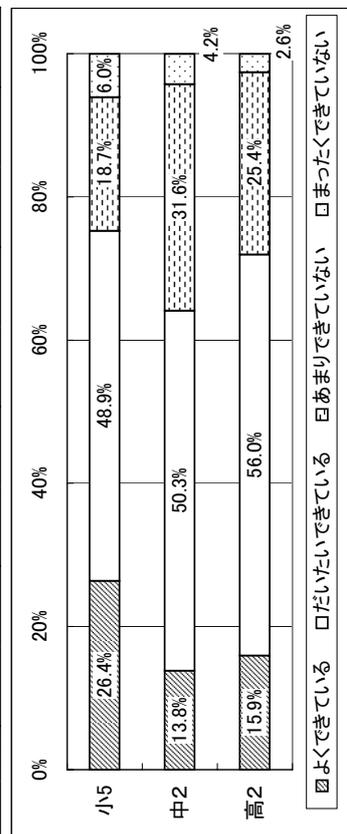
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	54	50	50	36	190
女	40	42	70	22	174
計	94	92	120	58	364
小5	36	37	61	37	171
中2	35	60	55	31	184
高2	71	97	116	71	355
男	36	52	64	58	210
女	38	58	52	19	176
計	66	107	121	94	388



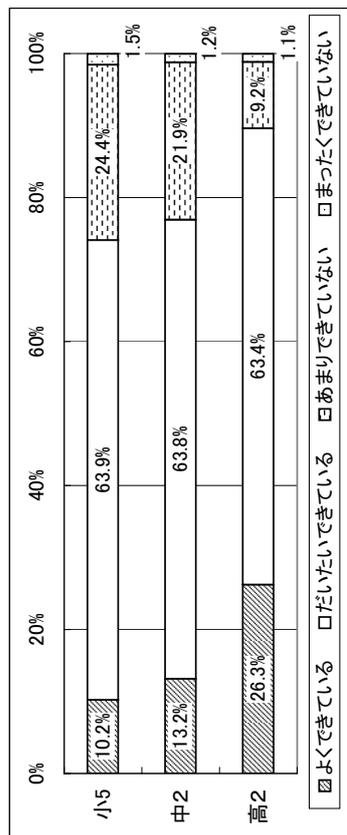
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	166	135	41.4%	24	326
中2	147	135	41.3%	42	327
高2	129	151	43.8%	55	345



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	48	85	45.2%	38	188
女	48	93	52.8%	30	176
計	96	178	48.9%	68	364
小5	25	83	48.5%	51	171
中2	24	95	51.9%	61	183
高2	49	178	50.3%	112	354
男	36	119	56.7%	47	210
女	28	99	49.1%	52	179
計	62	218	56.0%	99	389

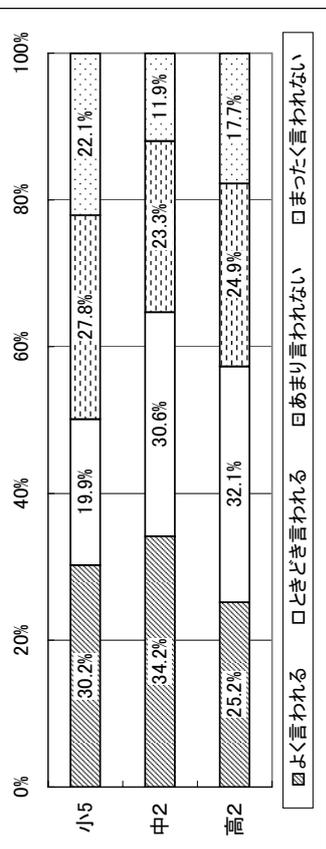


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	34	212	63.9%	81	332
中2	44	213	63.8%	73	334
高2	94	227	63.4%	33	358

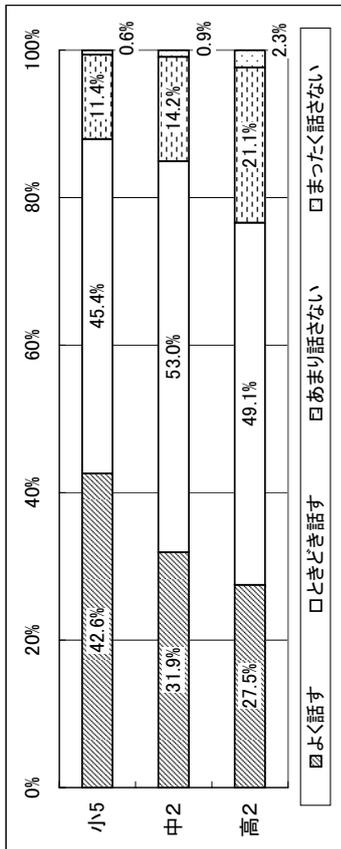


I-8 家の手伝いをする

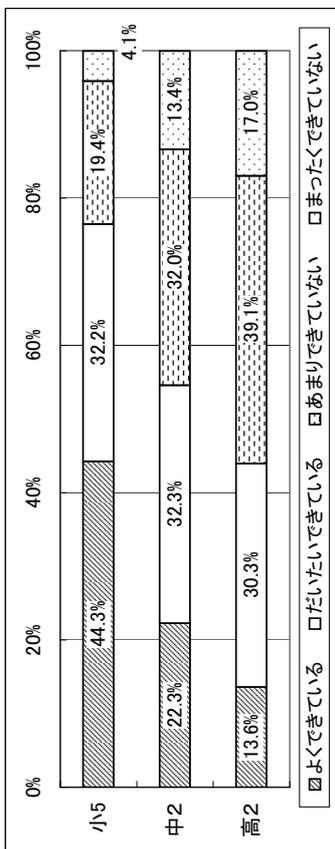
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
小5	53 27.7%	39 20.4%	53 27.7%	46 24.1%	191
中2	58 33.0%	34 19.3%	49 27.8%	35 19.9%	176
高2	111 30.2%	73 19.9%	102 27.8%	81 22.1%	367
小5	40 22.9%	63 36.0%	44 25.1%	28 16.0%	175
中2	83 44.9%	47 25.4%	40 21.6%	15 8.1%	185
高2	123 34.2%	110 30.6%	84 23.3%	43 11.9%	360
計	40 19.0%	61 29.0%	57 27.1%	52 24.8%	210
小5	58 32.4%	64 35.8%	40 22.3%	17 9.5%	179
中2	98 23.2%	123 32.1%	97 24.9%	69 17.7%	389



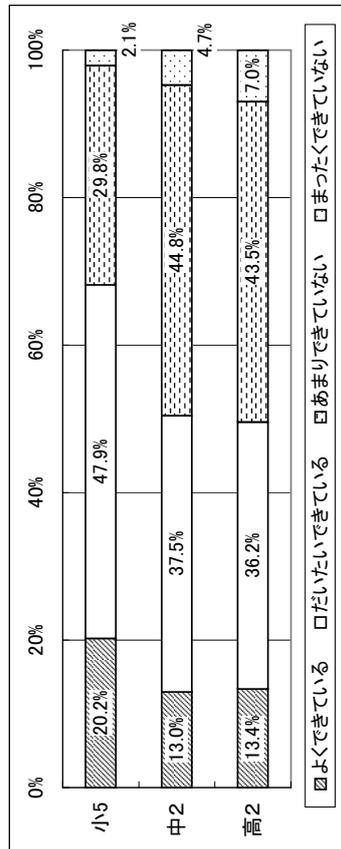
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	138 42.6%	147 45.4%	37 11.4%	2 0.6%	324
中2	106 31.9%	176 53.0%	47 14.2%	3 0.9%	332
高2	94 27.5%	168 49.1%	72 21.1%	8 2.3%	342



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	75 39.5%	58 30.5%	46 24.2%	11 5.8%	190
中2	87 49.4%	60 34.1%	25 14.2%	4 2.3%	176
高2	162 44.3%	118 32.2%	71 19.4%	15 4.1%	366
小5	34 19.5%	54 31.0%	53 30.5%	33 19.0%	174
中2	48 24.9%	62 33.5%	62 33.5%	15 8.1%	185
高2	80 22.3%	116 32.3%	115 32.0%	48 13.4%	359
計	22 10.5%	57 27.1%	84 40.0%	47 22.4%	210
小5	31 7.3%	61 34.1%	68 38.0%	19 10.6%	179
中2	53 13.6%	118 30.3%	152 39.1%	66 17.0%	389

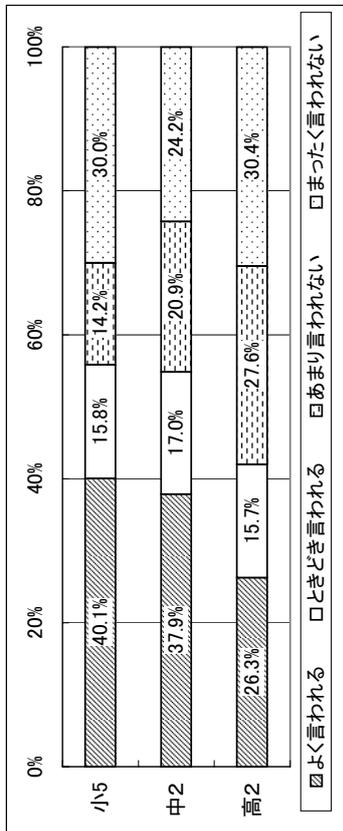


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	68 20.2%	161 47.9%	100 29.8%	7 2.1%	336
中2	44 13.0%	127 37.5%	152 44.8%	16 4.7%	339
高2	48 13.4%	130 36.2%	156 43.5%	25 7.0%	359

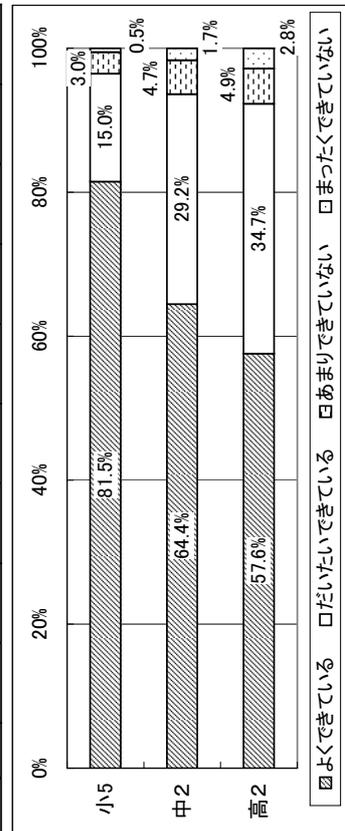


I-9 命を大切に

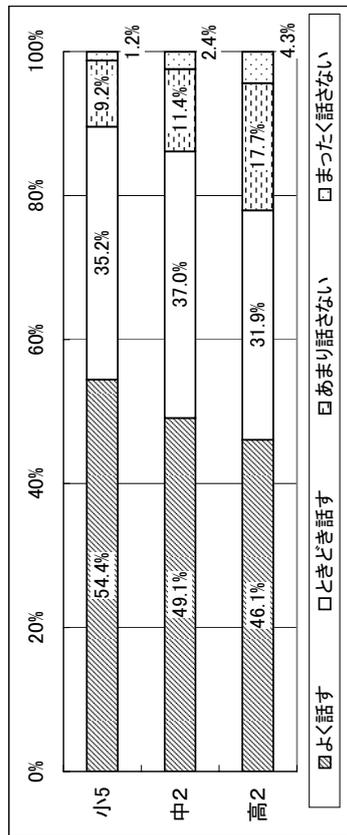
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数				
男	74	39.2%	28	14.8%	65	34.4%	189		
女	73	41.0%	30	16.9%	45	25.3%	178		
計	147	40.1%	58	15.8%	110	30.0%	367		
小5	65	37.4%	29	16.7%	34	19.5%	46	26.4%	174
中2	71	38.4%	32	17.3%	41	22.2%	41	22.2%	185
高2	136	37.9%	61	17.0%	75	20.9%	87	24.2%	359
男	53	25.2%	34	16.2%	54	25.7%	69	32.9%	210
女	45	27.5%	27	15.2%	53	23.8%	48	27.5%	176
計	102	26.3%	61	15.7%	107	27.6%	118	30.4%	388



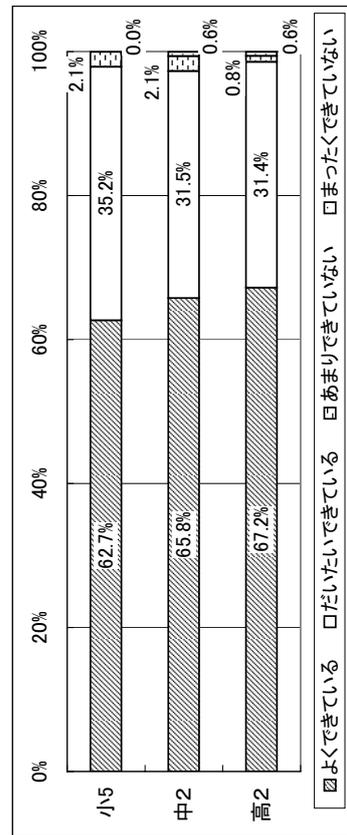
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
男	155	82.0%	29	15.3%	3	1.6%	2	1.1%	189
女	144	80.9%	26	14.6%	8	4.5%	0	0.0%	178
計	299	81.5%	55	15.0%	11	3.0%	2	0.5%	367
小5	110	63.2%	50	28.7%	11	6.3%	3	1.7%	174
中2	122	65.6%	55	29.6%	6	3.2%	3	1.6%	186
高2	232	64.4%	105	29.2%	17	4.7%	6	1.7%	360
男	113	53.6%	76	36.0%	14	6.6%	8	3.8%	211
女	111	62.4%	59	33.1%	5	2.8%	3	1.7%	176
計	224	57.6%	135	34.7%	19	4.9%	11	2.8%	389



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数				
小5	178	54.4%	115	35.2%	30	9.2%	4	1.2%	327
中2	163	49.1%	123	37.0%	38	11.4%	8	2.4%	332
高2	159	46.1%	110	31.9%	61	17.7%	15	4.3%	345

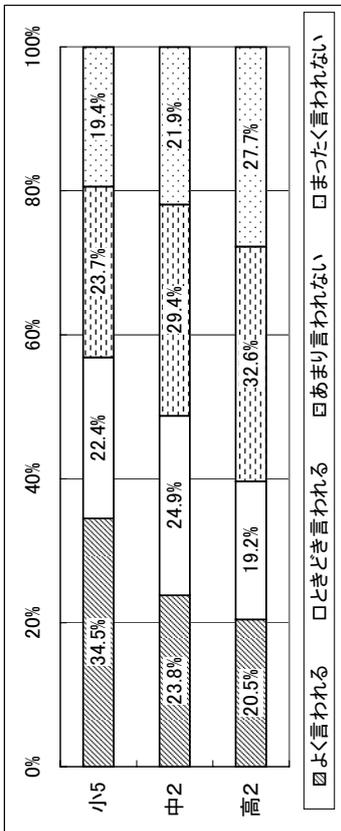


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	210	62.7%	118	35.2%	7	2.1%	0	0.0%	335
中2	221	65.8%	106	31.5%	7	2.1%	2	0.6%	336
高2	240	67.2%	112	31.4%	3	0.8%	2	0.6%	357

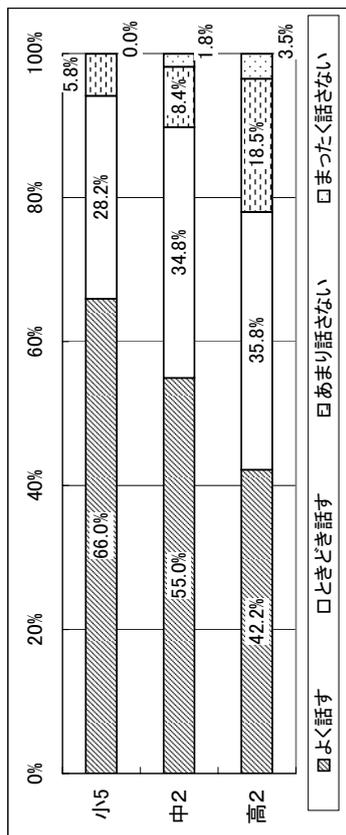


I-10 うそをついたり、人をだましたりしない

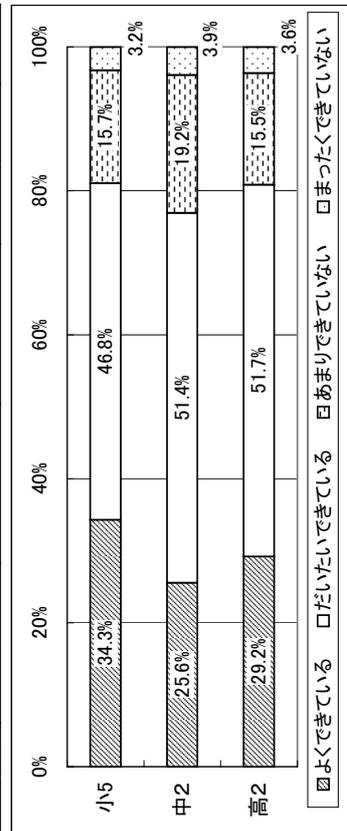
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	62	41	46	44	193
女	66	42	42	28	178
計	128	83	88	72	371
小5	38	44	52	41	175
中2	48	46	54	38	186
高2	86	90	106	79	361
男	38	39	70	61	208
女	41	35	56	46	176
計	79	74	126	107	386



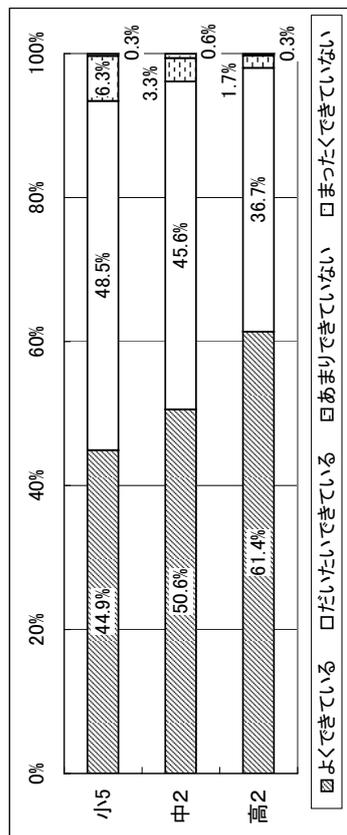
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	215	92	19	0	326
中2	183	116	28	6	333
高2	146	124	64	12	346



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	65	81	39	7	192
女	62	92	19	5	178
計	127	173	58	12	370
小5	48	75	44	7	174
中2	44	110	25	3	186
高2	92	185	69	14	360
男	48	108	42	12	210
女	65	92	36	8	177
計	113	200	60	14	387

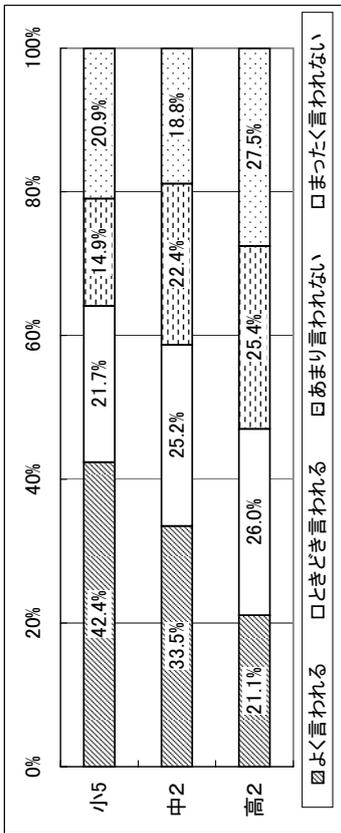


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	151	163	21	1	336
中2	171	154	11	2	338
高2	221	132	6	1	360

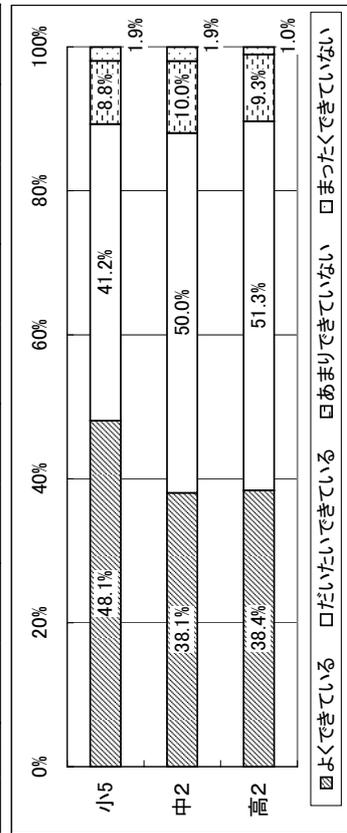


I-11 約束を守る

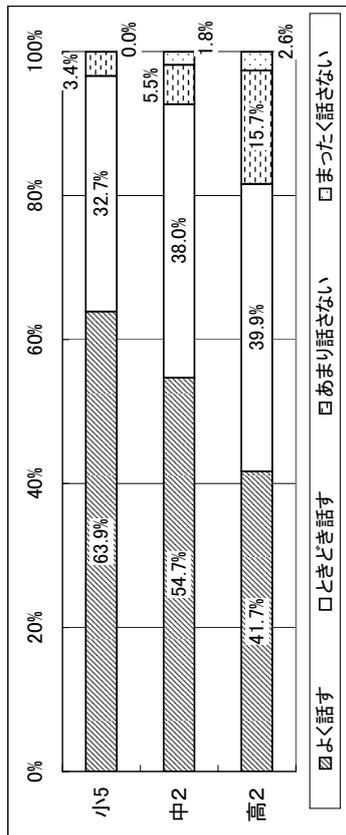
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数				
小5 男	74	38.7%	46	24.1%	28	14.7%	43	22.5%	191
小5 女	82	46.3%	34	19.2%	27	15.3%	34	19.2%	177
小5 計	156	42.4%	80	21.7%	55	14.9%	77	20.9%	368
中2 男	53	30.3%	49	28.0%	34	19.4%	39	22.3%	175
中2 女	68	46.6%	42	22.6%	47	25.3%	29	15.6%	186
中2 計	121	33.5%	91	25.2%	81	22.4%	68	18.8%	361
高2 男	41	19.5%	61	29.0%	47	22.4%	61	29.0%	210
高2 女	41	22.0%	40	22.3%	52	29.1%	46	25.7%	179
高2 計	82	21.1%	101	26.0%	99	25.4%	107	27.5%	389



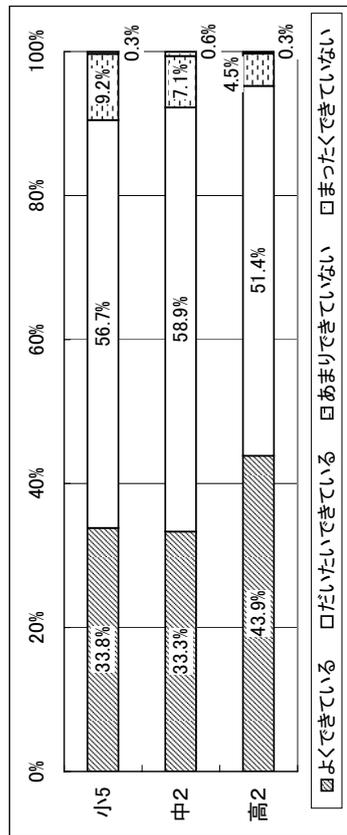
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5 男	83	43.9%	81	42.9%	19	10.1%	6	3.2%	189
小5 女	92	52.6%	69	39.4%	13	7.4%	7	0.6%	175
小5 計	175	48.1%	150	41.2%	32	8.8%	13	1.9%	364
中2 男	68	39.1%	85	48.9%	15	8.6%	6	3.4%	174
中2 女	69	37.1%	95	51.1%	21	11.3%	7	0.5%	186
中2 計	137	38.1%	180	50.0%	36	10.0%	13	1.9%	360
高2 男	79	37.6%	105	50.0%	22	10.5%	4	1.9%	210
高2 女	70	39.3%	94	52.8%	14	7.9%	3	0.0%	179
高2 計	149	38.4%	199	51.3%	36	9.3%	7	1.0%	388



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数				
小5	209	63.9%	107	32.7%	11	3.4%	0	0.0%	327
中2	180	54.7%	125	38.0%	18	5.5%	6	1.8%	329
高2	143	41.7%	137	39.9%	54	15.7%	9	2.6%	343

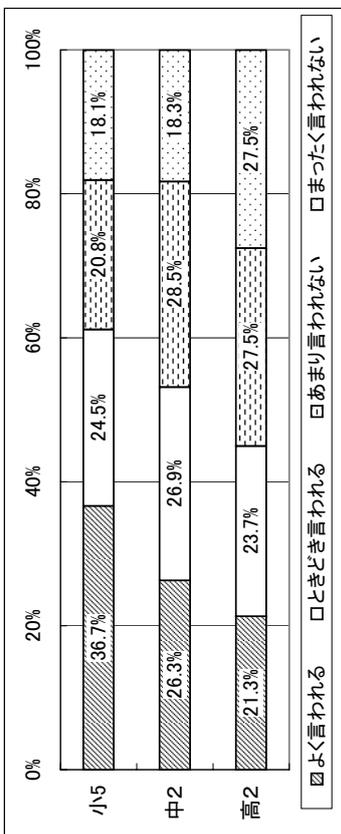


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	114	33.8%	191	56.7%	31	9.2%	1	0.3%	337
中2	112	33.3%	198	58.9%	24	7.1%	2	0.6%	336
高2	157	43.9%	184	51.4%	16	4.5%	1	0.3%	358

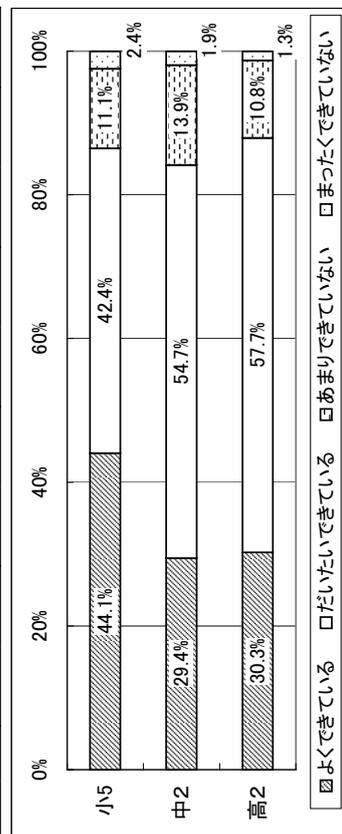


I-12 人に親切にする

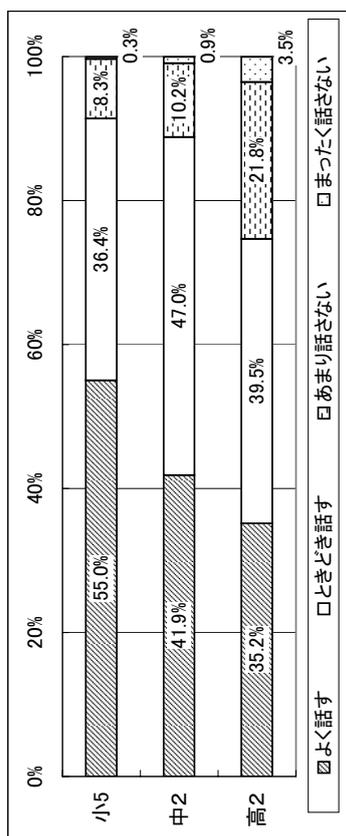
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数				
男	57	29.4%	53	27.3%	44	22.7%	40	20.6%	194
女	79	44.6%	38	21.5%	33	18.6%	27	15.3%	177
計	136	36.7%	91	24.5%	77	20.8%	67	18.1%	371
小5	39	22.3%	52	29.7%	48	27.4%	36	20.6%	175
中2	56	30.1%	45	24.2%	55	29.6%	30	16.1%	186
計	95	26.3%	97	26.9%	103	28.5%	66	18.3%	361
男	43	20.5%	46	21.9%	55	26.2%	66	31.4%	210
女	40	22.3%	46	25.7%	52	29.1%	41	22.9%	179
計	83	21.3%	92	23.7%	107	27.5%	107	27.5%	389



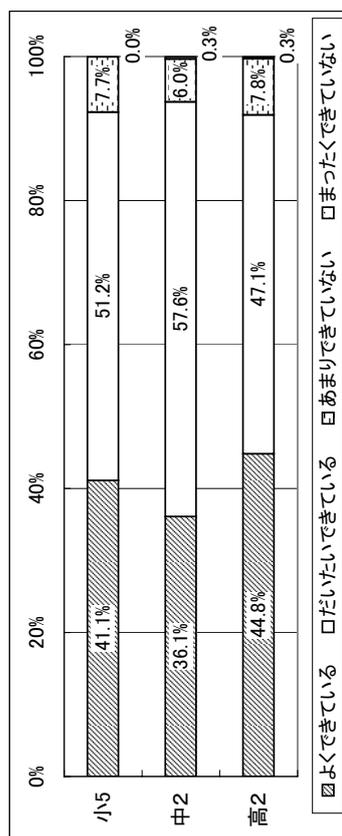
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
男	81	42.0%	80	41.5%	25	13.0%	7	3.6%	193
女	82	46.3%	77	43.5%	16	9.0%	2	1.1%	177
計	163	44.1%	157	42.4%	41	11.1%	9	2.4%	370
小5	44	25.3%	93	53.4%	30	17.2%	7	4.0%	174
中2	62	33.3%	104	55.9%	20	10.8%	0	0.0%	186
計	106	29.4%	197	54.7%	50	13.9%	7	1.9%	360
男	65	30.8%	116	55.0%	25	11.8%	5	2.4%	211
女	53	29.6%	109	60.9%	25	13.5%	2	0.9%	179
計	118	30.3%	225	57.7%	42	10.8%	5	1.3%	390



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数				
小5	180	55.0%	119	36.4%	27	8.3%	1	0.3%	327
中2	139	41.9%	156	47.0%	34	10.2%	3	0.9%	332
高2	121	35.2%	136	39.5%	75	21.8%	12	3.5%	344

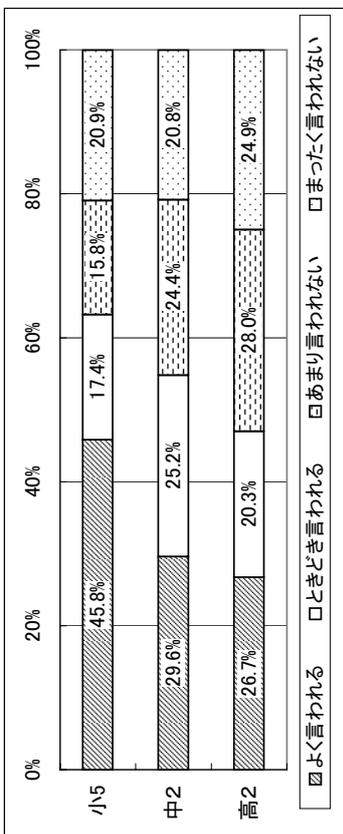


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	139	41.1%	173	51.2%	26	7.7%	0	0.0%	338
中2	121	36.1%	193	57.6%	20	6.0%	1	0.3%	335
高2	161	44.8%	169	47.1%	28	7.8%	1	0.3%	359

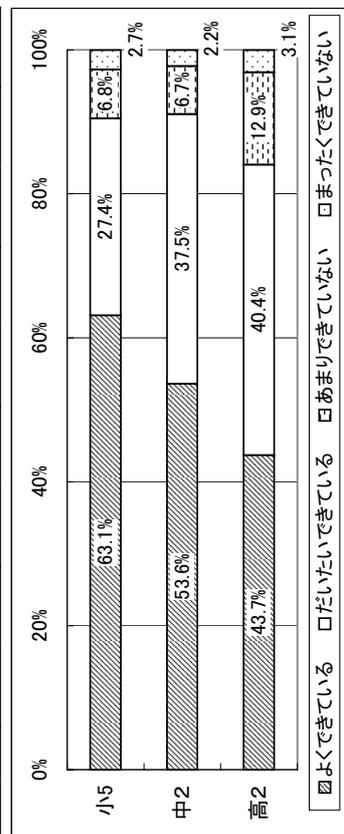


I-13 友達や先生、近所の人などに「おはよう」「おはようございます」などのあいさつをする

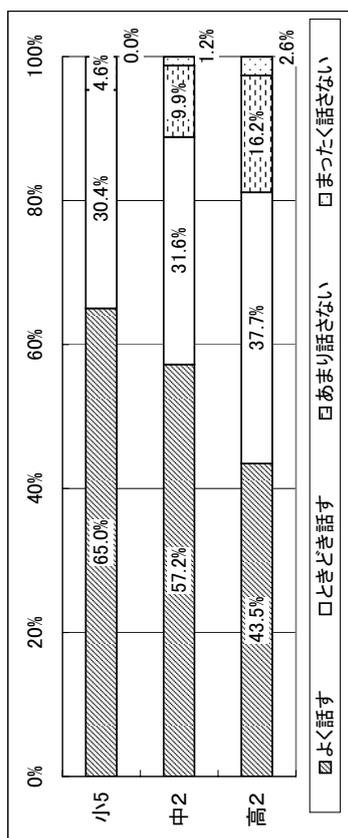
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	82	35	32	46	195
女	89	30	27	32	178
計	171	65	59	78	373
小5	45	25.7%	41	23.4%	175
中2	62	33.3%	47	25.3%	186
高2	107	29.6%	88	24.1%	361
男	48	22.9%	41	19.5%	210
女	56	31.3%	38	21.2%	179
計	104	26.7%	79	20.3%	389



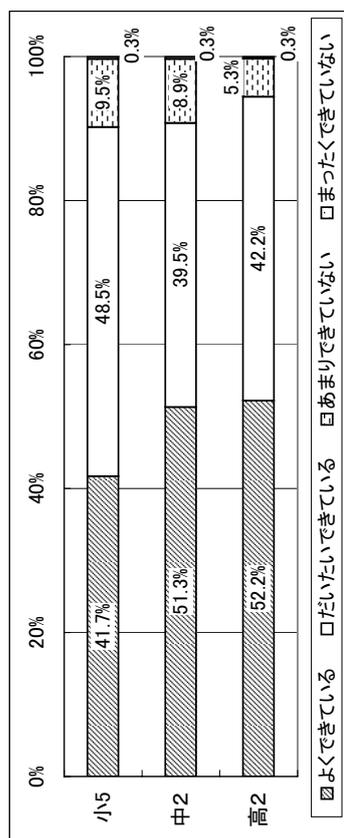
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできている	まったくできていない	回答数
男	124	64.6%	50	26.0%	192
女	109	61.6%	51	28.8%	177
計	233	63.1%	101	27.4%	369
小5	90	51.7%	61	35.1%	174
中2	103	55.4%	74	39.8%	186
高2	193	53.6%	135	37.5%	360
男	86	40.8%	79	37.4%	211
女	94	47.2%	78	43.8%	179
計	170	43.7%	157	40.4%	389



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	212	65.0%	99	30.4%	326
中2	190	57.2%	105	31.6%	332
高2	150	43.5%	130	37.7%	345

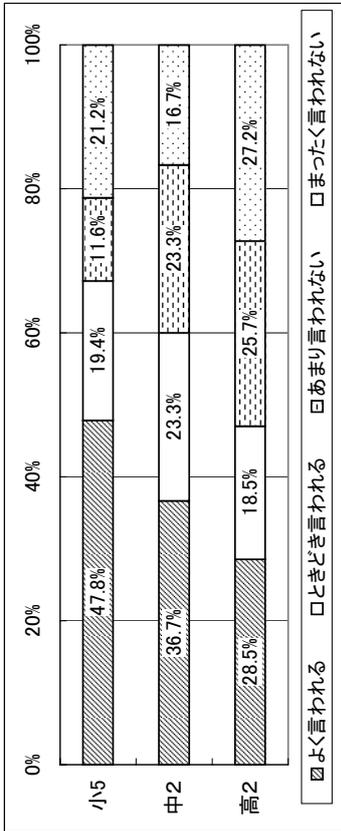


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできている	まったくできていない	回答数
小5	141	41.7%	164	48.5%	338
中2	173	51.3%	133	39.5%	337
高2	188	52.2%	152	42.2%	360

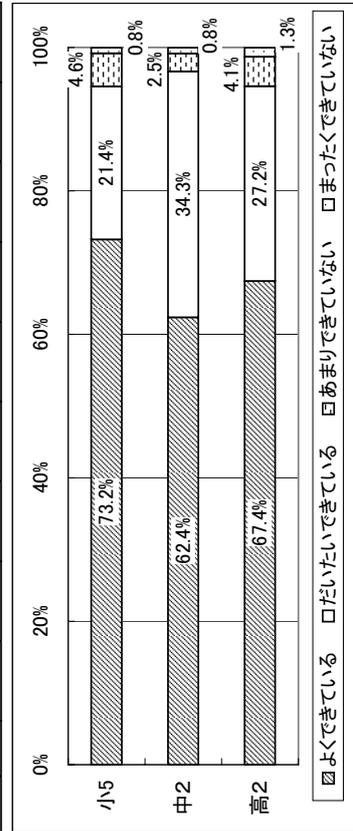


I-14 人に何かをしてもらったときに「ありがとうございます」「ありがとうございます」「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言う

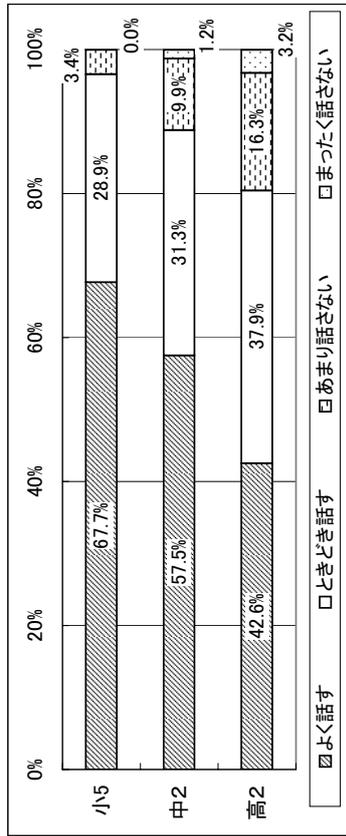
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数				
男	79	40.7%	24	12.4%	49	25.3%	194		
女	99	55.6%	30	16.9%	30	16.9%	178		
計	178	47.8%	72	19.4%	79	21.2%	372		
小5	59	33.7%	41	23.4%	40	22.9%	35	20.0%	175
中2	73	39.5%	43	23.2%	41	23.8%	21	13.5%	185
高2	132	36.7%	84	23.3%	84	23.3%	60	16.7%	360
男	54	25.7%	35	16.7%	53	25.2%	68	32.4%	210
女	57	31.8%	37	20.7%	47	26.3%	33	21.2%	179
計	111	28.5%	72	18.5%	100	25.7%	106	27.2%	389



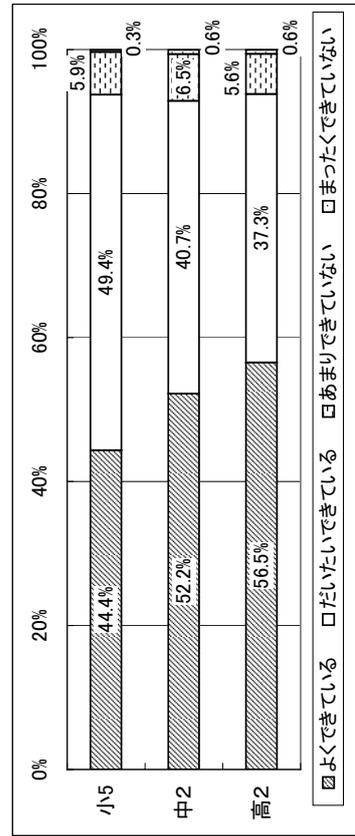
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
男	141	73.1%	9	4.7%	3	1.6%	193		
女	130	73.4%	39	22.0%	8	4.5%	177		
計	271	73.2%	79	21.4%	17	4.6%	370		
小5	96	55.2%	68	39.1%	7	4.0%	3	1.7%	174
中2	128	69.2%	55	29.7%	2	1.1%	0	0.0%	185
高2	224	62.4%	123	34.3%	9	2.5%	3	0.8%	359
男	134	63.5%	61	28.9%	11	5.2%	5	2.4%	211
女	129	72.1%	45	25.1%	5	2.8%	0	0.0%	179
計	263	67.4%	106	27.2%	16	4.1%	5	1.3%	390



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数				
小5	220	67.7%	94	28.9%	11	3.4%	0	0.0%	325
中2	191	57.5%	104	31.3%	33	9.9%	4	1.2%	332
高2	146	42.6%	130	37.9%	56	16.3%	11	3.2%	343

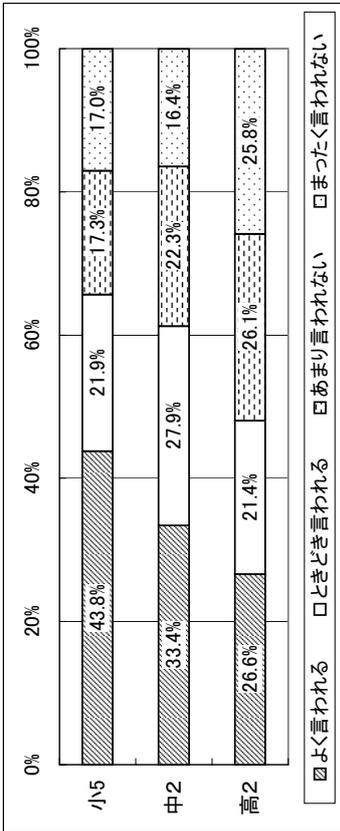


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	150	44.4%	167	49.4%	20	5.9%	1	0.3%	338
中2	177	52.2%	138	40.7%	22	6.5%	2	0.6%	339
高2	203	56.5%	134	37.3%	20	5.6%	2	0.6%	359

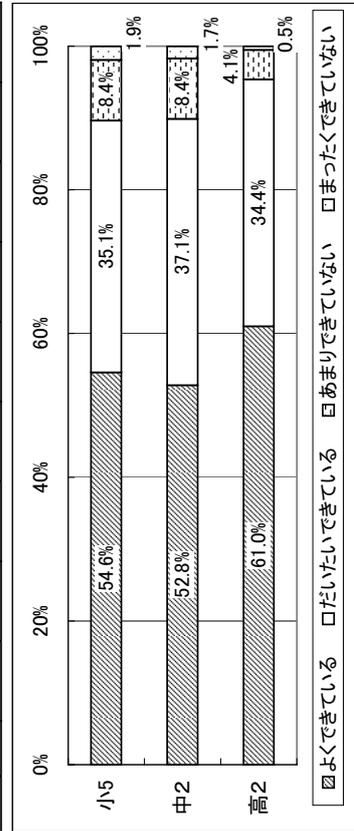


I-15 人に迷惑をかけたときや自分が間違ったときに「ごめんなさい」「すみません」などとあやまる

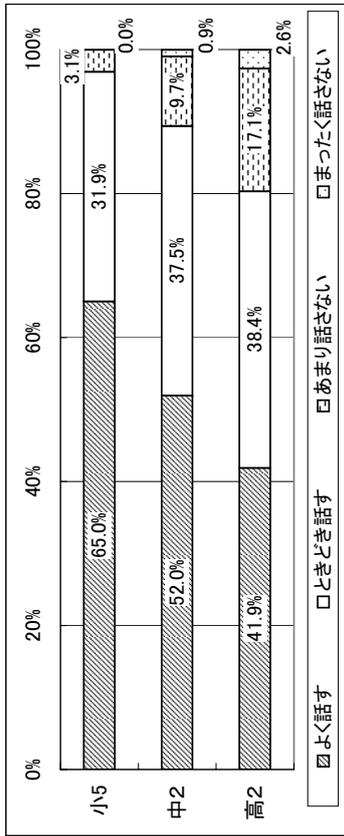
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	70	50	30	42	192
女	92	31	34	21	178
計	162	81	64	63	370
男	57	52	34	30	173
女	63	48	46	29	186
計	120	100	80	59	359
男	48	46	22	63	209
女	55	37	43	37	176
計	103	83	66	100	387



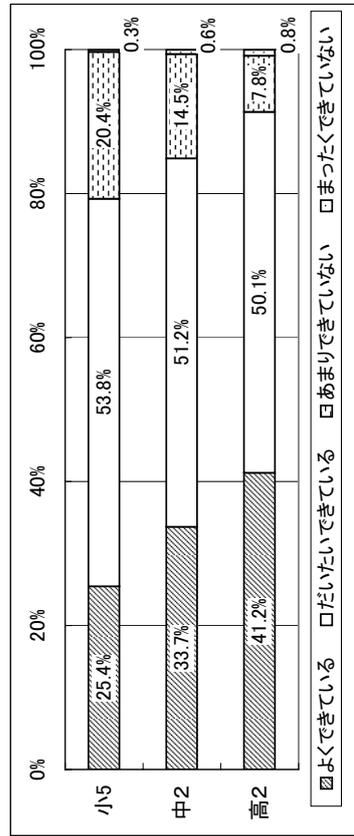
児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	107	61	18	5	191
女	94	68	13	2	177
計	201	129	31	7	368
男	84	62	19	6	171
女	104	70	11	0	185
計	188	132	30	6	356
男	123	75	11	2	211
女	115	59	19	4	197
計	238	134	30	6	399



保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	212	104	10	0	326
中2	172	124	32	3	331
高2	145	133	59	9	346

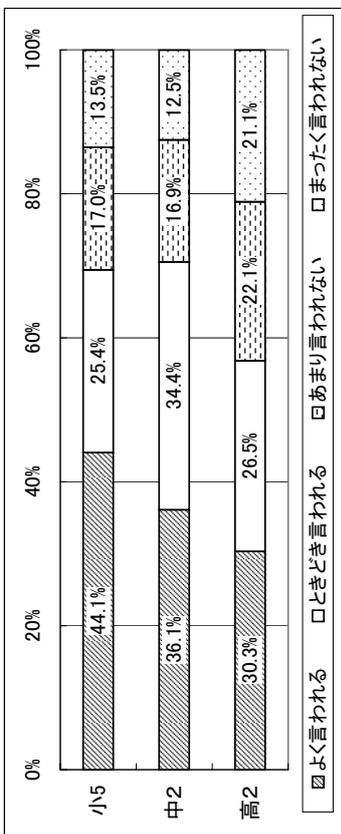


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	86	182	69	1	338
中2	114	173	49	2	338
高2	148	180	28	3	359

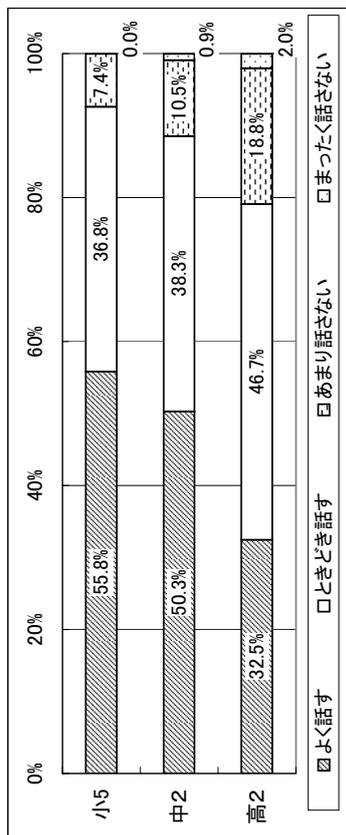


I-16 言葉づかいに気をつける

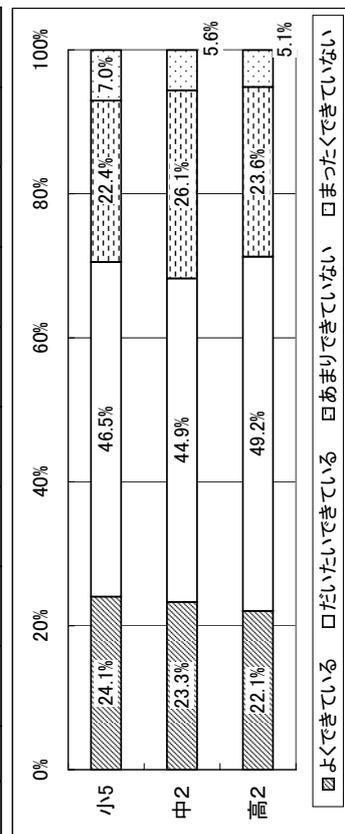
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	74	45	42	32	193
女	89	49	21	13	177
計	163	94	63	50	370
男	55	60	29	30	174
女	75	64	32	11	186
計	130	124	61	45	360
男	49	52	53	56	210
女	69	51	33	26	179
計	118	103	86	82	389



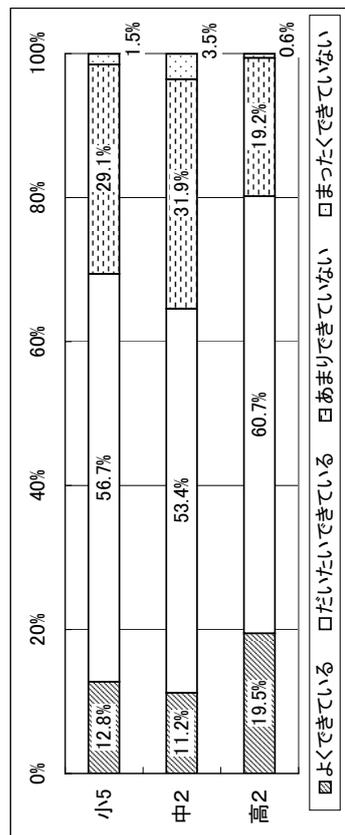
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	182	120	24	0	326
中2	167	127	35	3	332
高2	112	161	65	7	345



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	50	83	41	18	192
女	39	89	42	8	178
計	89	172	83	26	370
男	49	74	40	9	172
女	34	86	53	11	184
計	83	160	93	20	356
男	58	108	31	14	211
女	23	84	60	34	179
計	86	192	92	20	390

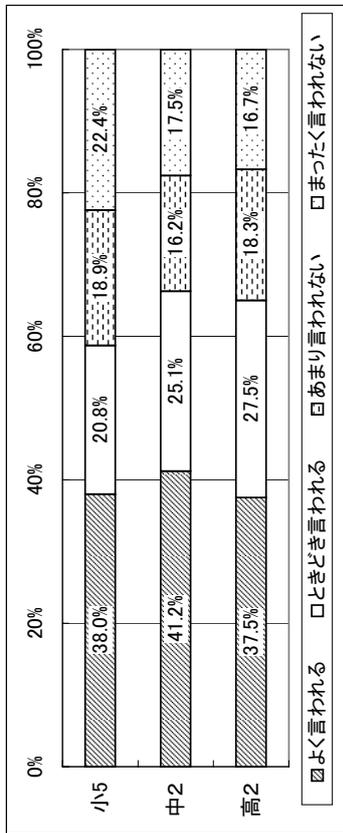


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	43	191	98	5	337
中2	38	181	108	12	339
高2	70	218	69	2	359

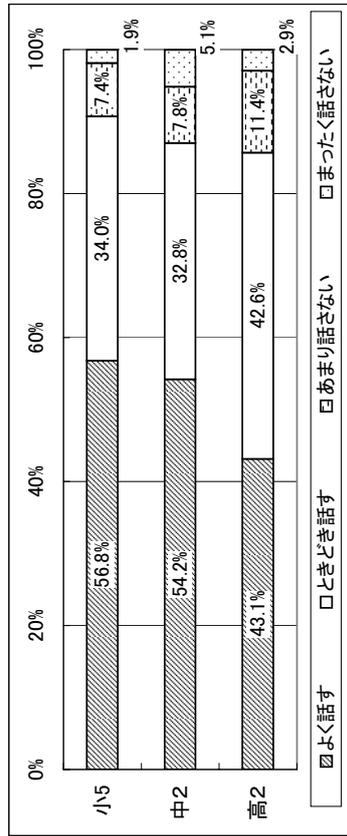


I-17 テレビゲームや携帯電話などを使うときは、使いすぎないようにする

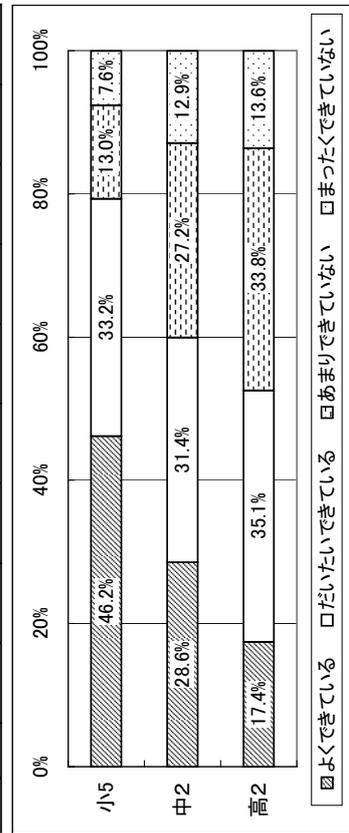
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	66	38	43	47	194
女	75	39	27	36	177
計	141	77	70	83	371
小5	70	40.2%	47	28	174
中2	78	42.2%	43	30	185
高2	148	41.2%	90	58	359
男	78	37.1%	48	40	210
女	68	39.0%	59	31	179
計	146	37.5%	107	71	389



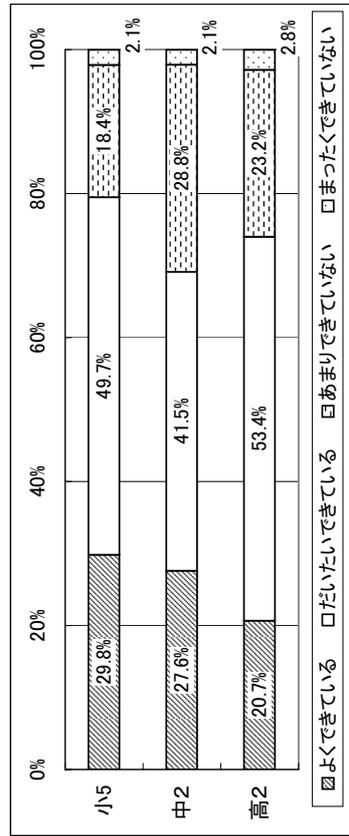
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数				
小5	184	56.8%	110	34.0%	24	7.4%	6	1.9%	324
中2	180	54.2%	109	32.8%	26	7.8%	17	5.1%	332
高2	148	43.1%	146	42.6%	39	11.4%	10	2.9%	343



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
男	80	41.7%	62	32.3%	29	15.1%	21	10.9%	192
女	90	51.1%	60	34.1%	19	10.8%	7	4.0%	176
計	170	46.2%	122	33.2%	48	13.0%	28	7.6%	368
小5	43	25.0%	57	33.1%	44	25.6%	28	16.3%	172
中2	59	31.9%	55	29.7%	53	28.6%	18	9.7%	185
高2	102	28.6%	112	31.4%	97	27.2%	46	12.9%	357
男	40	19.0%	71	33.6%	66	31.3%	34	16.1%	211
女	23	5.6%	66	36.9%	66	36.9%	12	6.3%	179
計	68	17.4%	137	35.1%	132	33.8%	53	13.6%	390

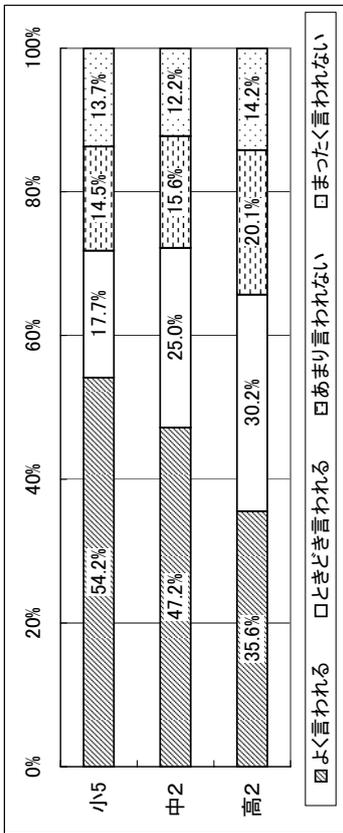


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	99	29.8%	165	49.7%	61	18.4%	7	2.1%	332
中2	93	27.6%	140	41.5%	97	28.8%	7	2.1%	337
高2	74	20.7%	191	53.4%	83	23.2%	10	2.8%	358

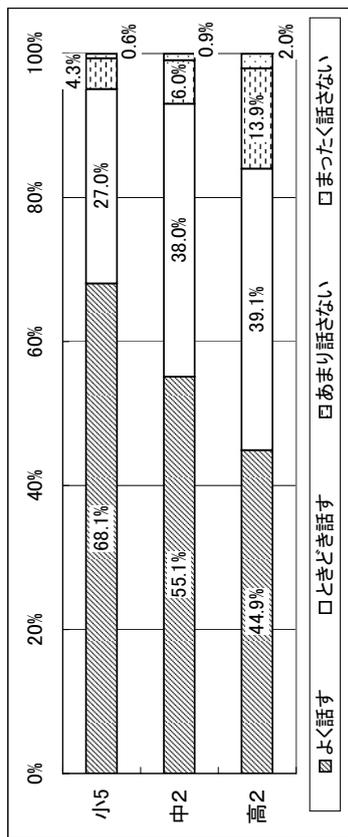


I-18 お金を大切ににする

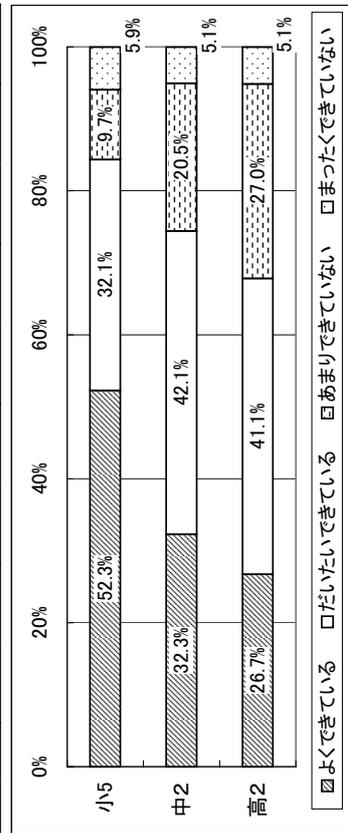
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われぬ	まったく言われぬ	回答数
男	106	35	22	11.3%	195
女	96	31	32	17.4%	178
計	202	66	54	14.5%	373
男	80	42	29	16.7%	174
女	90	48	27	14.5%	186
計	170	90	56	15.6%	360
男	70	33.5%	33	15.8%	209
女	68	38.0%	48	26.8%	179
計	138	35.6%	78	20.1%	388



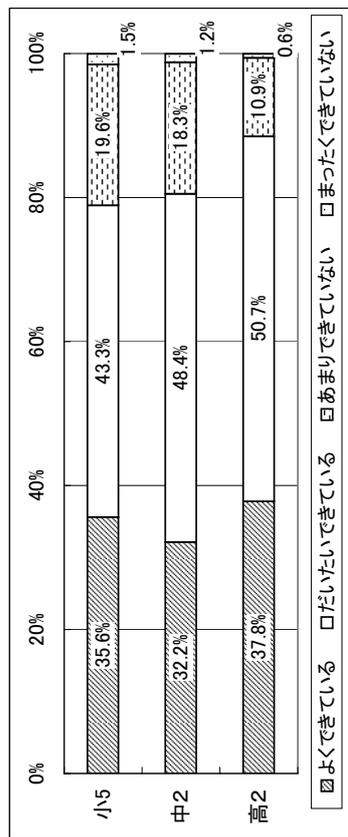
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	222	88	14	4.3%	326
中2	183	126	20	6.0%	332
高2	155	135	48	13.9%	345



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
男	96	49.7%	60	31.1%	20	10.4%	17	8.8%	193
女	98	55.1%	59	33.1%	16	9.0%	5	2.8%	178
計	194	52.3%	119	32.1%	36	9.7%	22	5.9%	371
男	65	38.2%	65	38.2%	29	17.1%	11	6.5%	170
女	50	26.9%	85	45.7%	44	23.7%	18	3.8%	186
計	115	32.3%	150	42.1%	73	20.5%	29	5.1%	356
男	65	31.0%	83	39.5%	47	22.4%	15	7.1%	210
女	39	21.8%	77	43.0%	58	32.4%	16	2.8%	179
計	104	26.7%	160	41.1%	105	27.0%	20	5.1%	389

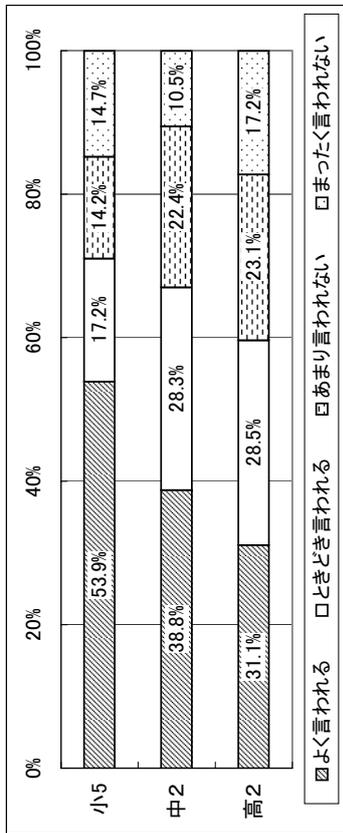


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数				
小5	120	35.6%	146	43.3%	66	19.6%	5	1.5%	337
中2	109	32.2%	164	48.4%	62	18.3%	4	1.2%	339
高2	135	37.8%	181	50.7%	39	10.9%	2	0.6%	357

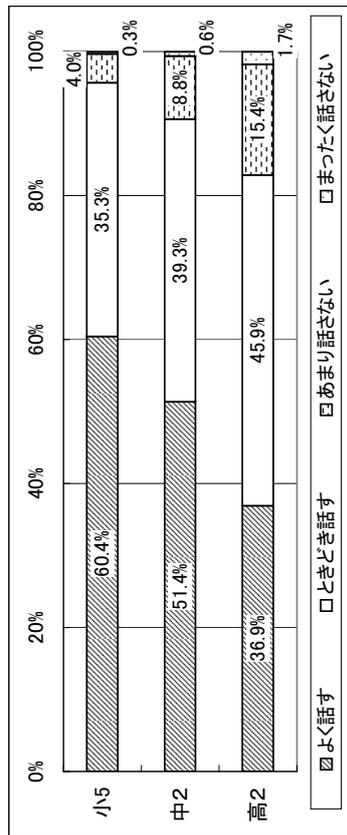


I-19 物を大切ににする

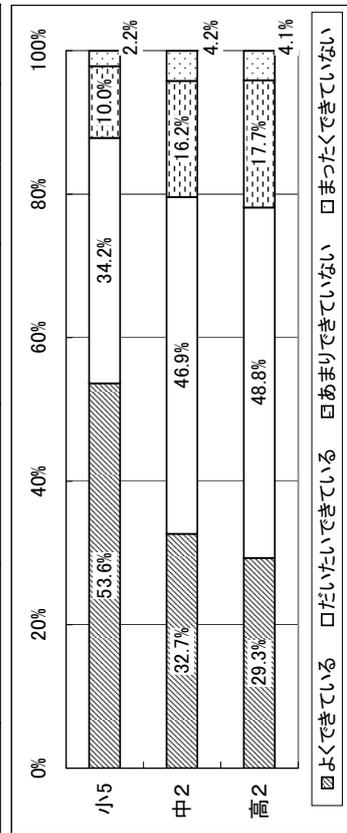
児童生徒①	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	回答数
男	105	28	30	32	195
女	96	36	23	23	178
計	201	64	53	55	373
小5	69	49	39	18	175
中2	71	53	42	20	186
高2	140	102	81	38	361
男	64	54	47	45	210
女	57	57	43	22	179
計	121	111	90	67	389



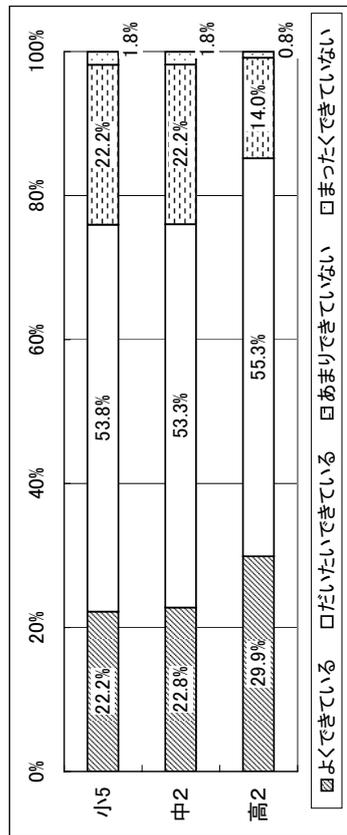
保護者①	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	回答数
小5	197	115	13	1	326
中2	170	130	29	2	331
高2	127	158	53	6	344



児童生徒②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
男	108	64	15	6	193
女	91	63	22	2	178
計	199	127	37	8	371
小5	62	72	29	9	172
中2	55	96	29	3	186
高2	117	168	58	15	358
男	68	100	30	13	211
女	46	90	28	2	179
計	114	190	69	16	389

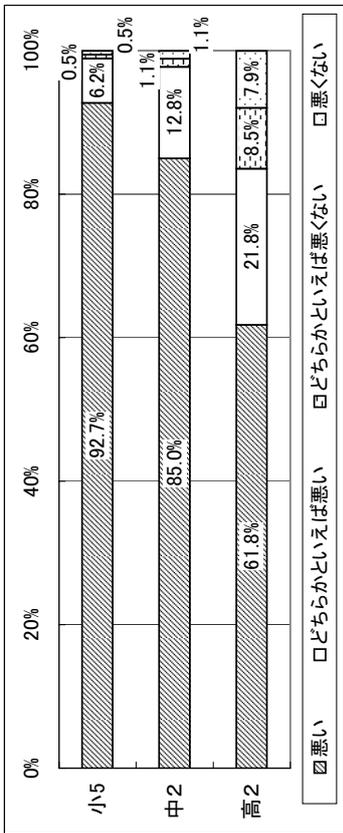


保護者②	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	まったくできていない	回答数
小5	74	222	74	6	333
中2	77	228	75	6	338
高2	107	299	50	3	358

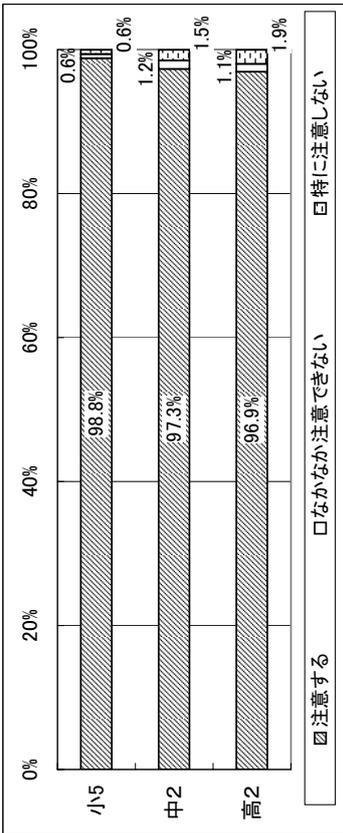


II-1 タバコを吸う

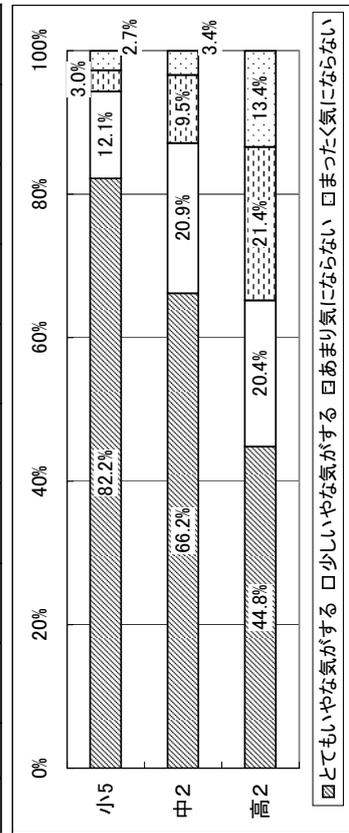
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数
男	185	95.4%	8	4.1%	194
女	160	89.9%	15	8.4%	178
計	345	92.7%	23	6.2%	372
小5	152	87.4%	20	11.5%	174
中2	154	82.8%	26	14.0%	186
高2	306	85.0%	46	12.8%	360
男	115	54.5%	48	22.7%	211
女	126	70.4%	37	20.7%	179
計	241	61.8%	85	21.8%	390



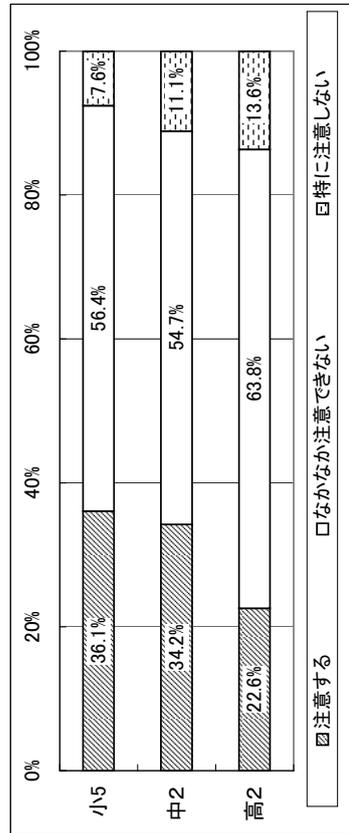
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	333	98.8%	2	0.6%	337
中2	329	97.3%	4	1.2%	338
高2	349	96.9%	4	1.1%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少しいやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数
男	160	82.9%	23	11.9%	193
女	145	81.5%	22	12.4%	178
計	305	82.2%	45	12.1%	371
小5	110	64.0%	35	20.3%	172
中2	127	68.3%	40	21.5%	186
高2	237	66.2%	75	20.9%	358
男	77	36.8%	43	20.6%	209
女	97	54.2%	36	20.1%	179
計	174	44.8%	79	21.4%	388

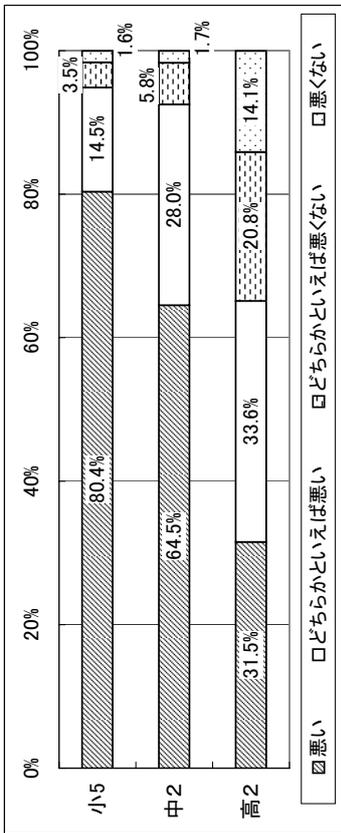


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	119	36.1%	186	56.4%	330
中2	114	34.2%	182	54.7%	333
高2	81	22.6%	229	63.8%	359

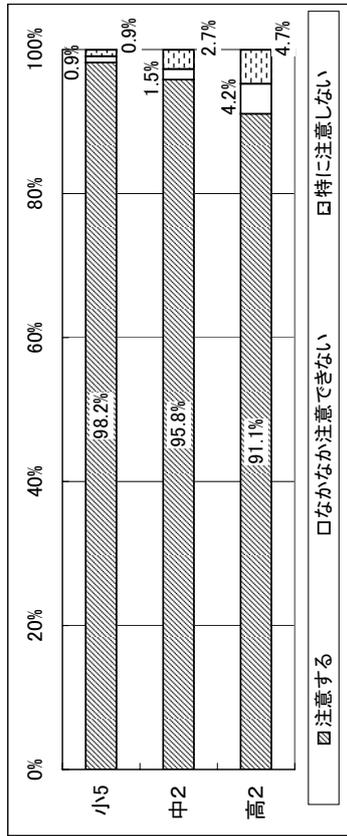


II-2 お酒を飲む

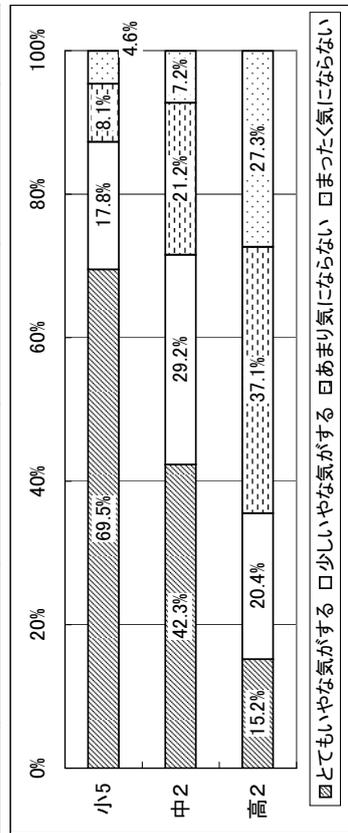
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数	
小5 男	161	23	11.9%	8	4.1%	194
小5 女	138	31	17.4%	5	2.8%	178
小5 計	299	54	14.5%	13	3.5%	372
中2 男	120	46	26.3%	8	4.6%	175
中2 女	113	55	29.6%	13	7.0%	186
中2 計	233	101	28.0%	21	5.8%	361
高2 男	60	61	28.9%	48	22.7%	211
高2 女	63	70	39.1%	33	18.4%	179
高2 計	123	131	33.6%	81	20.8%	390



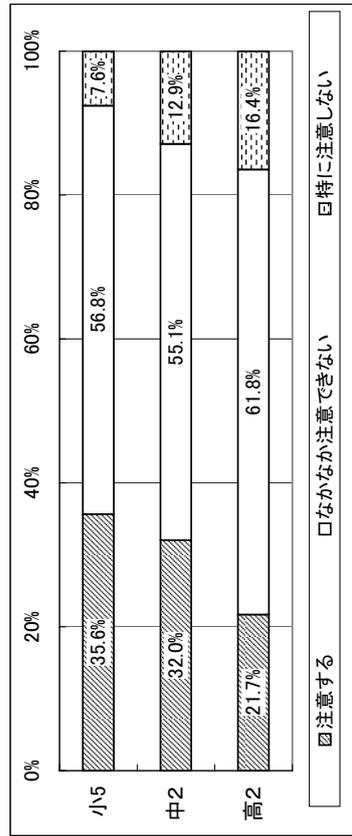
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	330	98.2%	3	0.9%	336
中2	323	95.8%	5	1.5%	337
高2	328	91.1%	15	4.2%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数	
小5 男	132	37	19.1%	15	7.7%	194
小5 女	126	29	16.4%	15	8.5%	177
小5 計	258	66	17.8%	30	8.1%	371
中2 男	74	48	27.7%	37	21.4%	144
中2 女	78	57	30.6%	39	21.0%	186
中2 計	152	105	29.2%	76	21.2%	359
高2 男	28	33	15.8%	75	35.9%	209
高2 女	31	46	25.7%	69	38.5%	179
高2 計	59	79	20.4%	144	37.1%	388

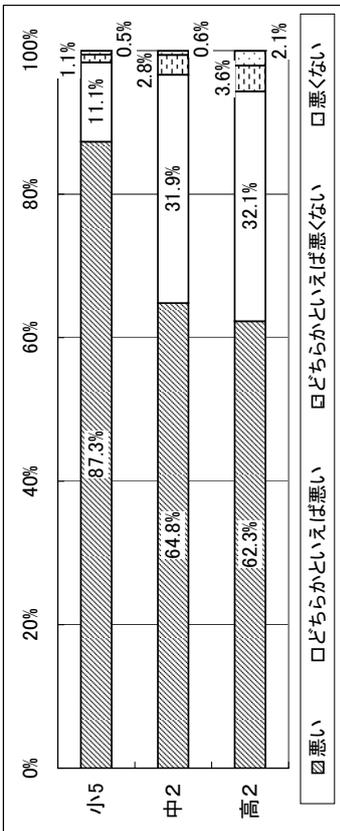


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	118	35.6%	25	7.6%	331
中2	107	32.0%	43	12.9%	334
高2	78	21.7%	222	61.8%	359

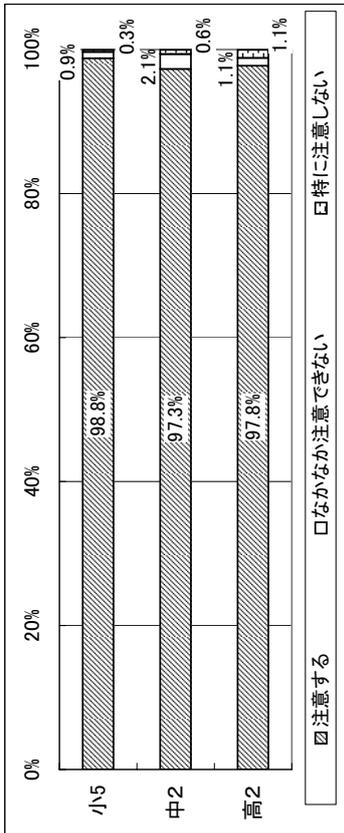


II-3 物をこわしたり、落書きしたりする

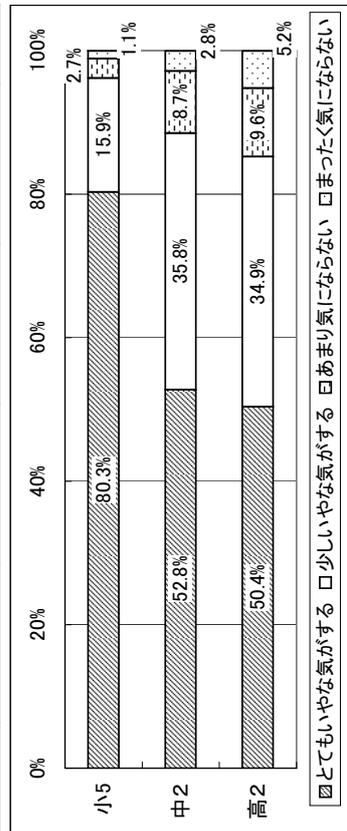
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数
小5 男	170	19	3	1	193
小5 女	154	22	4	2	178
小5 計	324	41	7	3	371
中2 男	113	57	4	1	175
中2 女	121	58	6	2	186
中2 計	234	115	10	3	361
高2 男	129	68	8	6	211
高2 女	114	57	6	3	179
高2 計	243	125	14	9	390



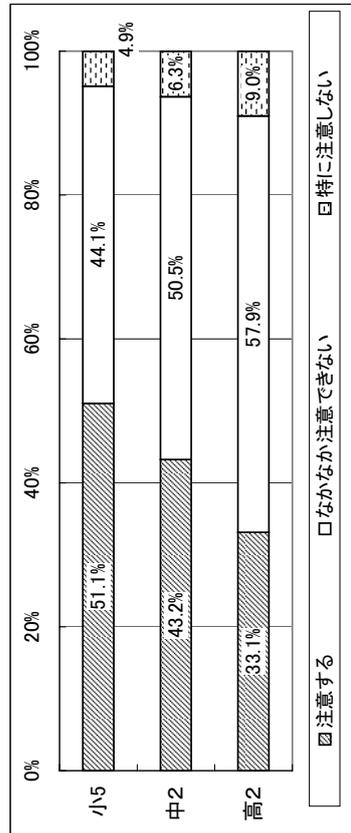
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	334	3	1	338
中2	329	7	2	338
高2	350	4	4	358



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数
小5 男	158	29	4	3	194
小5 女	140	30	6	1	177
小5 計	298	59	10	4	371
中2 男	97	52	17	7	173
中2 女	92	49	14	3	185
中2 計	189	101	31	10	333
高2 男	100	72	22	14	208
高2 女	95	63	15	8	179
高2 計	195	135	37	20	387

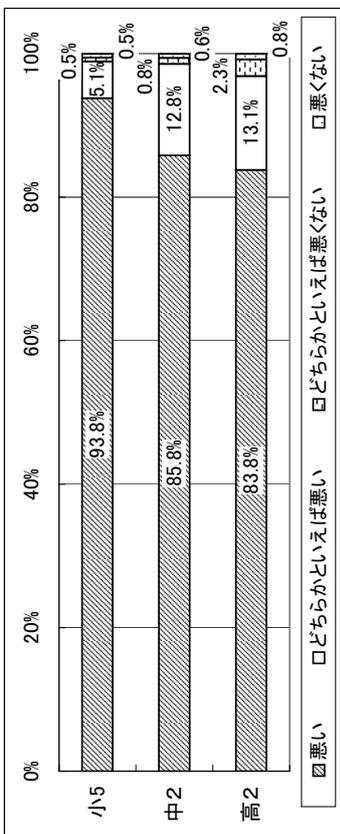


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	168	145	16	329
中2	144	168	21	333
高2	118	206	32	356

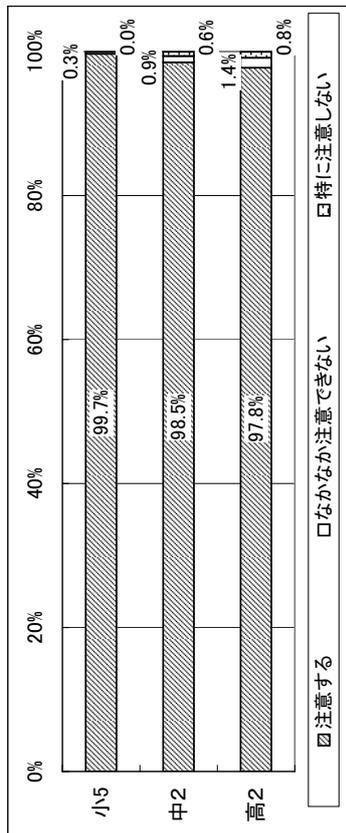


II-4 人に暴力をふるう

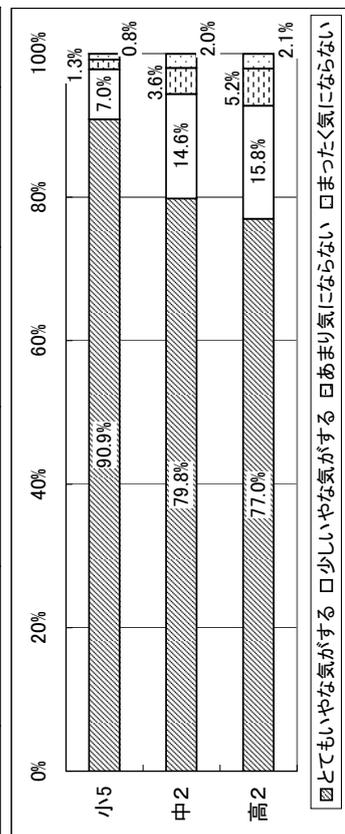
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5 男	180	92.8%	11	5.7%	2	1.0%	1	0.5%	194
小5 女	169	94.9%	8	4.5%	0	0.0%	0	0.6%	178
小5 計	349	93.8%	19	5.1%	2	0.5%	2	0.5%	372
中2 男	134	77.0%	36	20.7%	2	1.1%	2	1.1%	174
中2 女	175	94.1%	10	5.4%	0	0.5%	0	0.0%	186
中2 計	309	85.8%	46	12.8%	3	0.8%	2	0.6%	361
高2 男	159	75.4%	40	19.0%	9	4.3%	3	1.4%	211
高2 女	167	93.8%	11	6.2%	0	0.0%	0	0.0%	178
高2 計	326	83.8%	51	13.1%	9	2.3%	3	0.8%	389



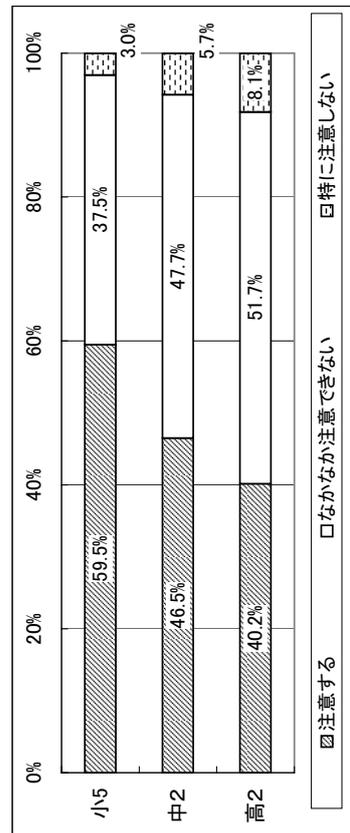
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	336	99.7%	1	0.3%	0	0.0%	337
中2	330	98.5%	3	0.9%	2	0.6%	335
高2	352	97.8%	5	1.4%	3	0.8%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少しいやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数				
小5 男	172	88.7%	16	8.2%	4	2.1%	2	1.0%	194
小5 女	166	93.3%	10	5.6%	1	0.6%	1	0.6%	178
小5 計	338	90.9%	26	7.0%	5	1.3%	3	0.8%	372
中2 男	124	72.1%	31	18.0%	10	5.8%	7	4.1%	172
中2 女	161	87.0%	21	11.4%	3	1.6%	0	0.0%	185
中2 計	285	79.8%	52	14.6%	13	3.6%	7	2.0%	357
高2 男	140	67.0%	43	20.6%	18	8.6%	8	3.8%	209
高2 女	158	88.8%	18	10.1%	2	1.1%	0	0.0%	178
高2 計	298	77.0%	61	15.8%	20	5.2%	8	2.1%	387

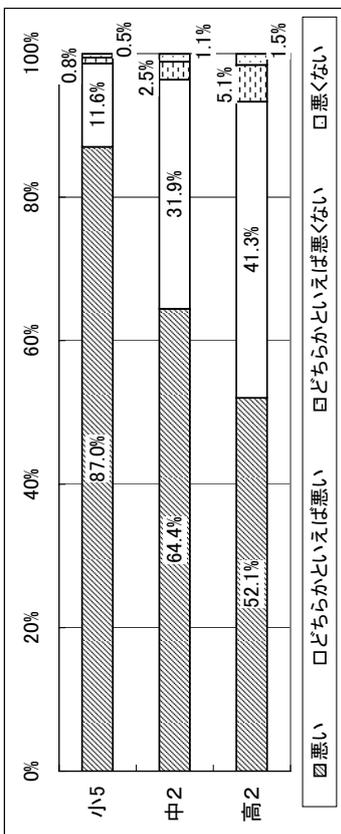


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	197	59.5%	124	37.5%	10	3.0%	331
中2	154	46.5%	158	47.7%	19	5.7%	331
高2	143	40.2%	184	51.7%	29	8.1%	356

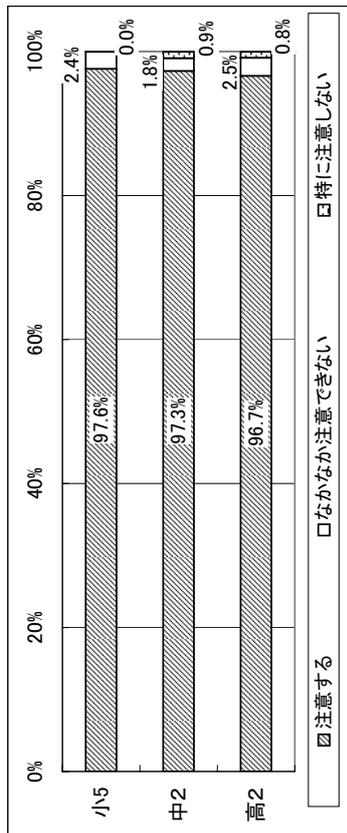


II-5 人のものを無断で使う

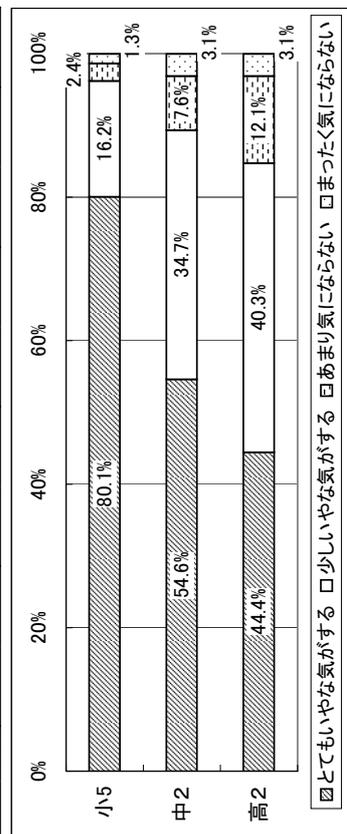
児童生徒①	どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	悪くない	悪くない	
小5	男 172	89.6%	18	9.4%	1	0.5%	192
	女 150	84.3%	25	14.0%	2	0.6%	178
計	322	87.0%	43	11.6%	3	0.5%	370
中2	男 114	65.1%	54	30.9%	4	2.3%	175
	女 118	63.8%	61	33.0%	5	2.7%	185
計	232	64.4%	115	31.9%	9	2.5%	360
高2	男 112	53.1%	78	37.0%	16	7.6%	211
	女 91	50.8%	83	46.4%	22	12.2%	179
計	203	52.1%	161	41.3%	20	5.1%	390



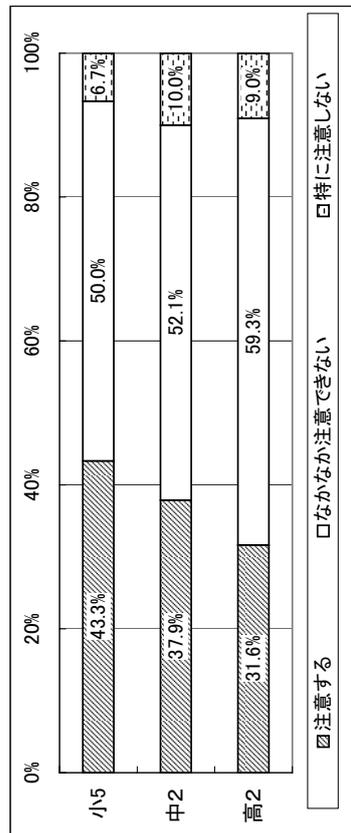
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	330	97.6%	8	2.4%	338
中2	327	97.3%	6	1.8%	336
高2	347	96.7%	9	2.5%	359



児童生徒②	とていやな気がする		少いやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
	とていやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	とていやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	
小5	男 154	79.8%	30	15.5%	6	3.1%	3	1.6%	193
	女 143	80.3%	30	16.9%	3	1.7%	2	1.1%	178
計	297	80.1%	60	16.2%	9	2.4%	5	1.3%	371
中2	男 103	59.5%	43	24.9%	16	9.2%	11	6.4%	173
	女 92	50.0%	81	44.0%	11	6.0%	0	0.0%	184
計	195	54.6%	124	34.7%	27	7.6%	11	3.1%	357
高2	男 96	46.2%	73	35.1%	29	13.9%	10	4.8%	208
	女 76	42.5%	83	46.4%	8	10.1%	2	1.1%	179
計	172	44.4%	156	40.3%	47	12.1%	12	3.1%	387

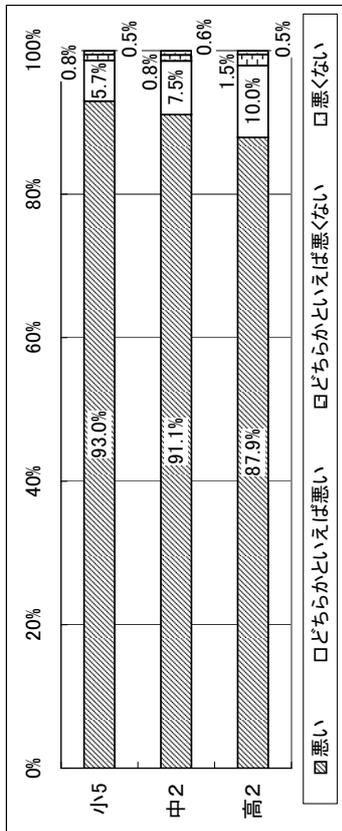


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	143	43.3%	165	50.0%	22	6.7%	330
中2	125	37.9%	172	52.1%	33	10.0%	330
高2	112	31.6%	210	59.3%	32	9.0%	354

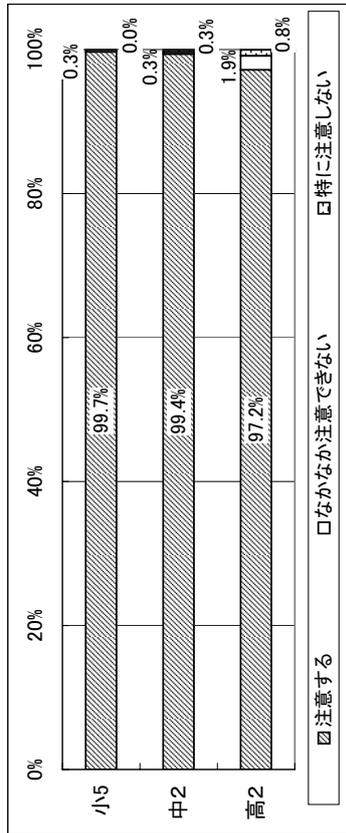


II-6 「いじめ」をする

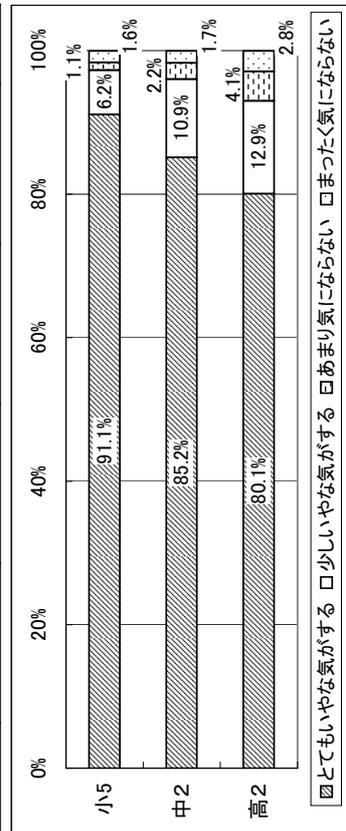
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5 男	177	92.2%	12	6.3%	2	1.0%	1	0.5%	192
小5 女	167	93.8%	9	5.1%	1	0.6%	1	0.6%	178
小5 計	344	93.0%	21	5.7%	3	0.8%	2	0.5%	370
中2 男	157	90.2%	15	8.6%	1	0.6%	1	0.6%	174
中2 女	171	91.9%	12	6.5%	2	1.1%	1	0.5%	186
中2 計	328	91.1%	27	7.5%	3	0.8%	2	0.6%	360
高2 男	169	80.5%	33	15.7%	6	2.9%	2	1.0%	210
高2 女	173	86.6%	6	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	179
高2 計	342	87.9%	39	10.0%	6	1.5%	2	0.5%	389



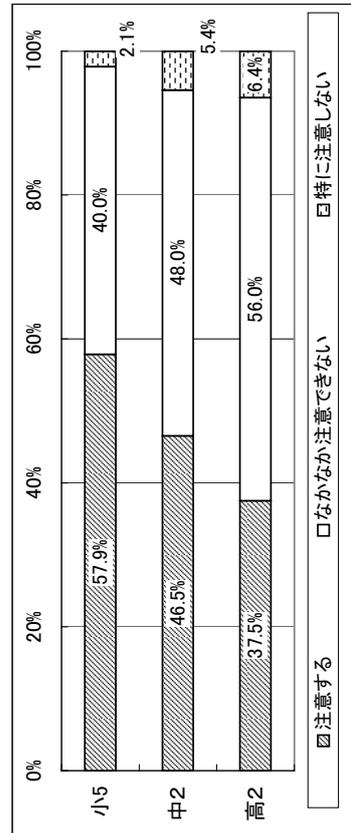
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	336	99.7%	1	0.3%	0	0.0%	337
中2	335	99.4%	1	0.3%	1	0.3%	337
高2	350	97.2%	7	1.9%	3	0.8%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数				
小5 男	174	89.7%	13	6.7%	4	1.5%	4	2.1%	194
小5 女	165	92.7%	10	5.6%	1	0.6%	2	1.1%	178
小5 計	339	91.1%	23	6.2%	4	1.1%	6	1.6%	372
中2 男	140	81.4%	24	14.0%	3	1.7%	5	2.9%	172
中2 女	164	88.6%	15	8.1%	5	2.7%	6	0.5%	185
中2 計	304	85.2%	39	10.9%	8	2.2%	11	1.7%	357
高2 男	146	70.2%	37	17.8%	15	7.2%	10	4.8%	208
高2 女	164	91.6%	13	7.3%	1	0.6%	1	0.6%	179
高2 計	310	80.1%	50	12.9%	16	4.1%	11	2.8%	387

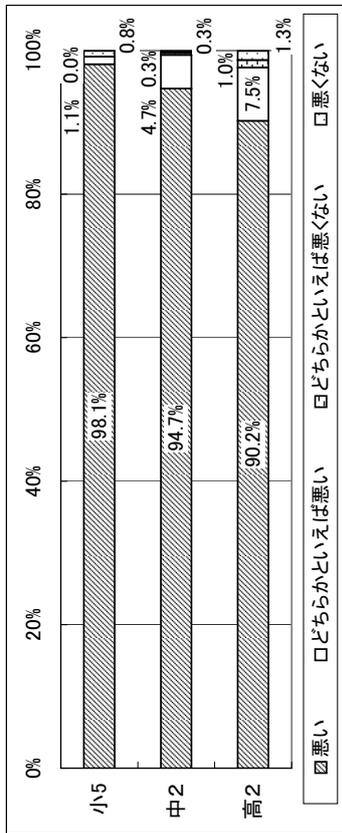


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	191	57.9%	132	40.0%	7	2.1%	330
中2	155	46.5%	160	48.0%	18	5.4%	333
高2	134	37.5%	200	56.0%	23	6.4%	357

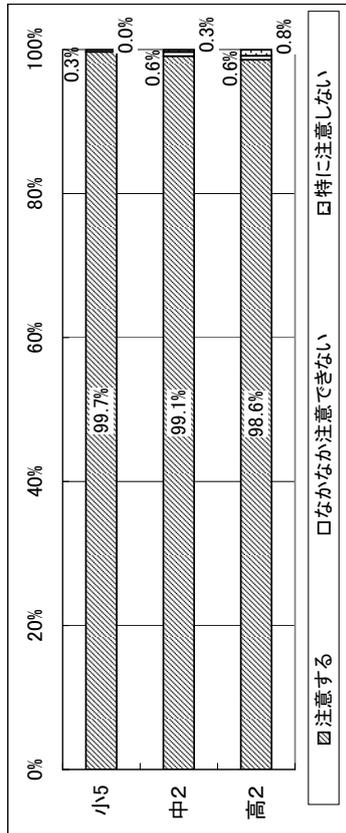


II-7 万引きをする

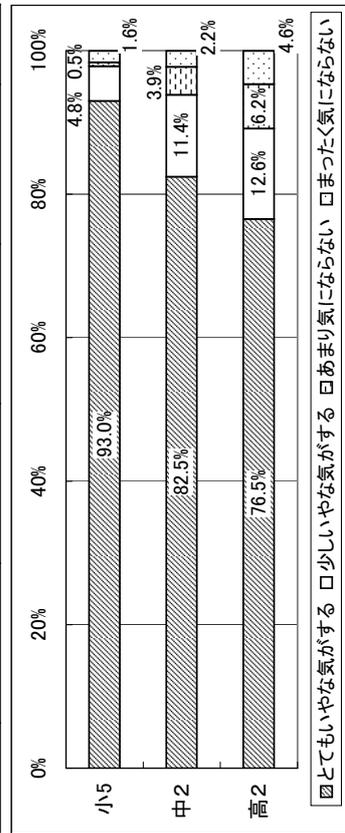
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数
小5 男	189	97.9%	2	1.0%	193
小5 女	175	98.3%	0	0.0%	178
小5 計	364	98.1%	4	1.1%	371
中2 男	165	94.3%	8	4.6%	175
中2 女	177	95.2%	9	4.8%	186
中2 計	342	94.7%	17	4.7%	361
高2 男	184	87.2%	20	9.5%	211
高2 女	167	93.8%	9	5.1%	176
高2 計	351	90.2%	29	7.5%	389



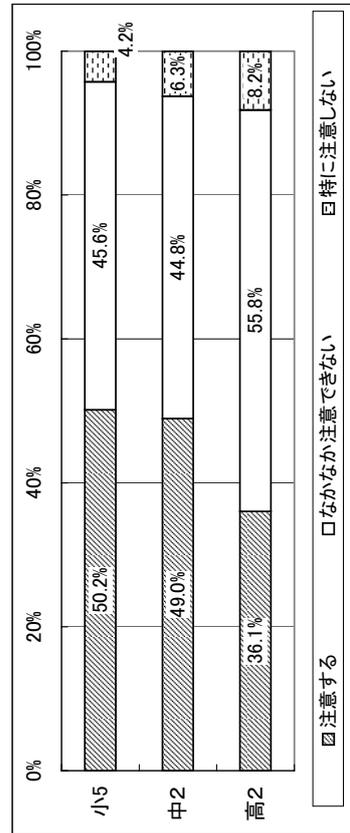
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	337	99.7%	1	0.3%	338
中2	334	99.1%	2	0.6%	337
高2	355	98.6%	2	0.6%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少しいやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数
小5 男	179	92.3%	8	4.1%	194
小5 女	167	93.8%	10	5.6%	178
小5 計	346	93.0%	18	4.8%	372
中2 男	135	78.0%	24	13.9%	173
中2 女	161	86.6%	17	9.1%	186
中2 計	296	82.5%	41	11.4%	359
高2 男	147	70.3%	29	13.9%	209
高2 女	150	83.8%	20	11.2%	170
高2 計	297	76.5%	49	12.6%	388

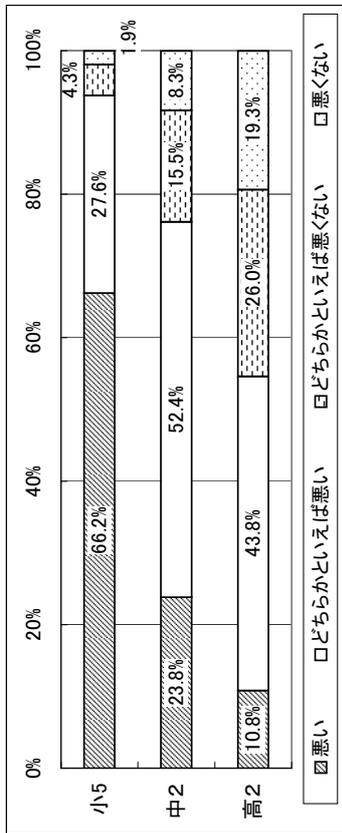


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	166	50.2%	151	45.6%	331
中2	164	49.0%	150	44.8%	335
高2	128	36.1%	198	55.8%	355

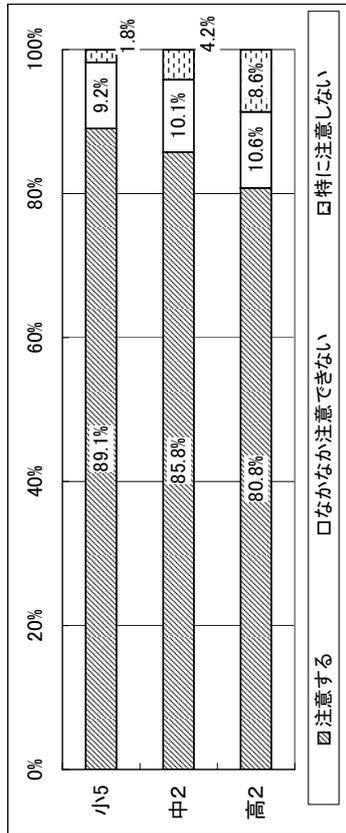


II-8 自転車の二人乗りや並進をする

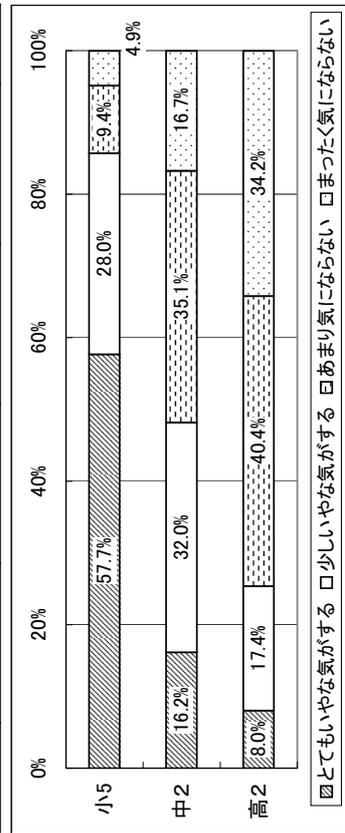
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数	
男	133	49	25.4%	7	3.6%	193
女	112	53	29.9%	9	5.1%	177
計	245	102	27.6%	16	4.3%	370
小5	51	88	50.3%	23	13.1%	175
中2	35	101	54.3%	33	17.7%	186
高2	86	189	52.4%	56	15.5%	361
男	27	82	38.9%	50	23.7%	211
女	15	86	49.7%	5	2.9%	177
計	42	170	43.8%	101	26.0%	388



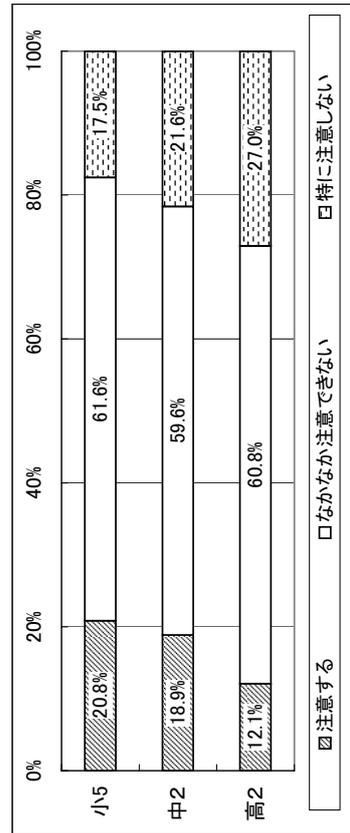
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	301	89.1%	31	9.2%	338
中2	289	85.8%	34	10.1%	337
高2	290	80.8%	38	10.6%	359



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数	
男	114	54	27.8%	17	8.8%	194
女	100	50	28.2%	18	10.2%	177
計	214	104	28.0%	35	9.4%	371
小5	33	60	34.7%	50	28.9%	173
中2	25	55	29.6%	76	40.9%	186
高2	58	115	32.0%	126	35.1%	359
男	19	33	15.8%	75	35.9%	209
女	12	34	19.2%	81	45.8%	177
計	31	67	17.4%	156	40.4%	386

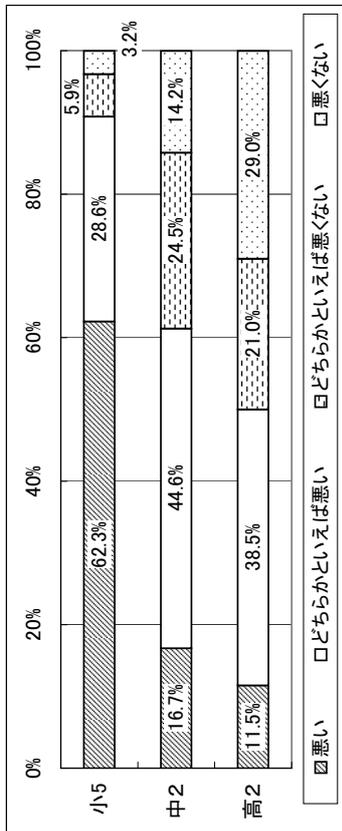


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	69	20.8%	204	61.6%	331
中2	63	18.9%	199	59.6%	334
高2	43	12.1%	216	60.8%	355

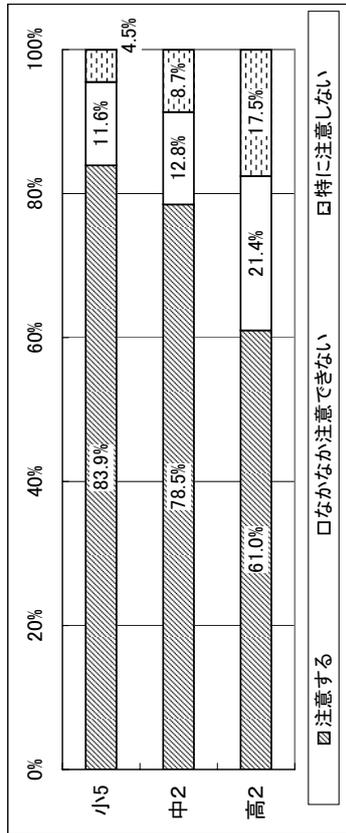


II-9 自転車のかさ差し運転をする

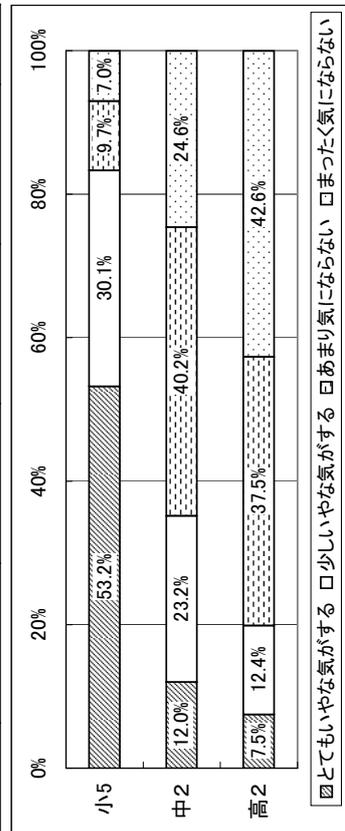
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
男	125	64.8%	50	25.9%	10	5.2%	8	4.1%	193
女	106	59.6%	56	31.5%	12	6.7%	4	2.2%	178
計	231	62.3%	106	28.6%	22	5.9%	12	3.2%	371
小5	30	17.3%	75	43.4%	41	23.7%	27	15.6%	173
中2	30	16.1%	85	45.7%	47	25.3%	21	12.9%	186
高2	60	16.7%	160	44.6%	88	24.5%	51	14.2%	359
計	27	12.8%	66	31.3%	41	19.4%	77	36.5%	211
男	18	10.1%	34	46.9%	4	22.9%	3	20.1%	179
女	9	10.1%	32	46.9%	1	22.9%	3	20.1%	179
計	45	11.5%	150	38.5%	82	21.0%	113	29.0%	390



保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	282	83.9%	39	11.6%	15	4.5%	336
中2	263	78.5%	43	12.8%	29	8.7%	335
高2	219	61.0%	77	21.4%	63	17.5%	359

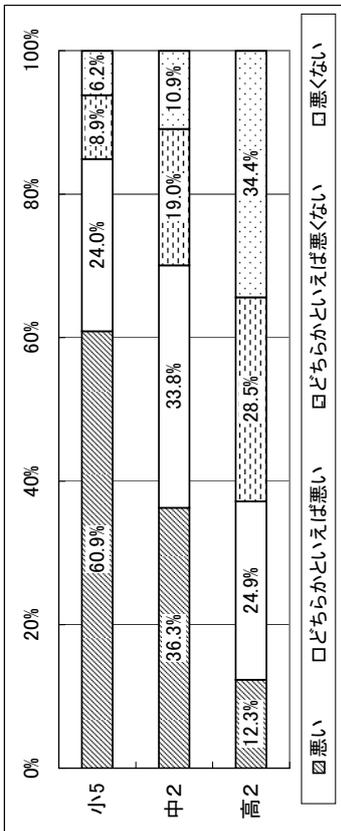


児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数				
男	108	55.7%	52	26.8%	21	10.8%	13	6.7%	194
女	90	50.6%	60	33.7%	15	8.4%	13	7.3%	178
計	198	53.2%	112	30.1%	36	9.7%	26	7.0%	372
小5	23	13.4%	38	22.1%	63	36.6%	48	27.9%	172
中2	20	10.8%	45	24.2%	81	43.5%	40	21.5%	186
高2	43	12.0%	83	23.2%	144	40.2%	88	24.6%	358
男	16	7.7%	21	10.1%	66	31.7%	105	50.5%	208
女	13	7.3%	27	15.1%	79	44.1%	63	33.5%	179
計	29	7.5%	48	12.4%	145	37.5%	166	42.6%	387

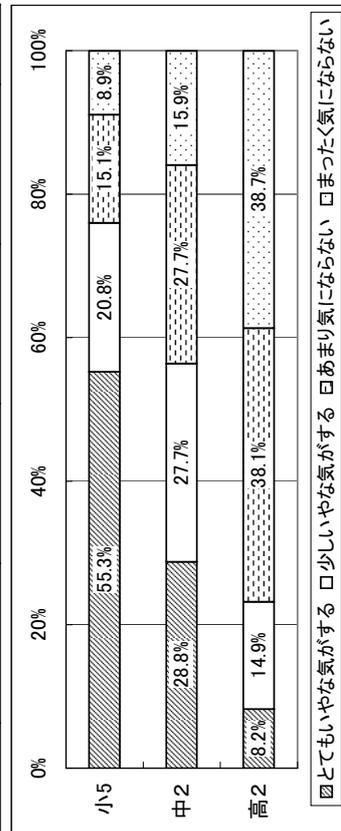


II-10 茶髪にしたり化粧したりする

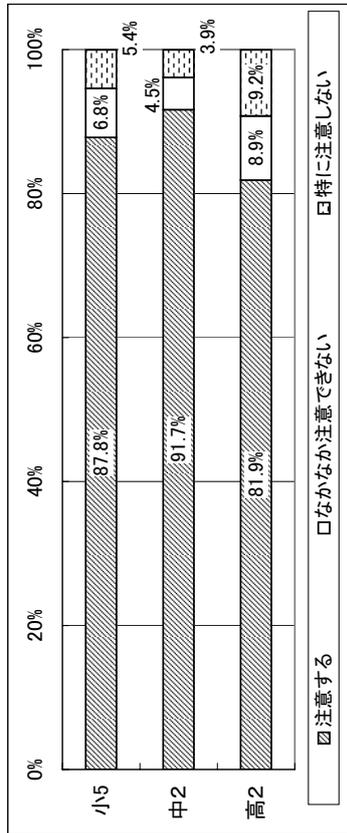
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
男	126	64.9%	42	21.6%	17	8.8%	9	4.6%	194
女	100	56.5%	47	26.6%	16	9.0%	14	7.9%	177
計	226	60.9%	89	24.0%	33	8.9%	23	6.2%	371
小5	78	45.1%	52	30.1%	32	18.5%	11	6.4%	173
中2	52	38.1%	69	37.3%	36	19.5%	28	15.1%	185
高2	130	36.3%	121	33.8%	68	19.0%	39	10.9%	358
男	31	14.7%	53	25.1%	56	26.5%	71	33.6%	211
女	17	9.5%	41	24.6%	55	30.7%	63	35.2%	179
計	48	12.3%	97	24.9%	111	28.5%	134	34.4%	390



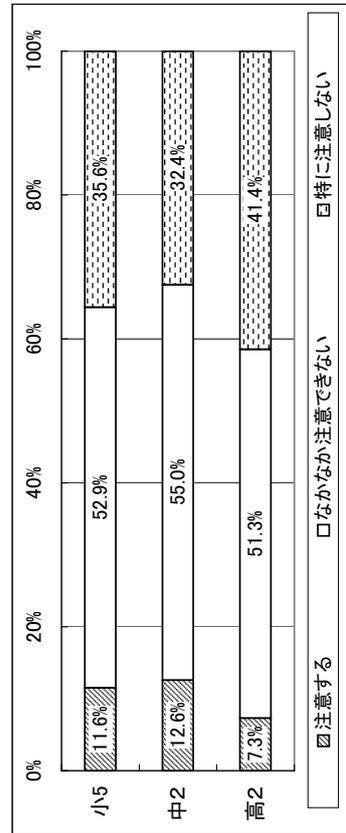
児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数				
男	114	58.8%	39	20.1%	28	14.4%	13	6.7%	194
女	91	51.4%	38	21.5%	28	15.8%	20	11.3%	177
計	205	55.3%	77	20.8%	56	15.1%	33	8.9%	371
小5	61	35.5%	45	26.2%	46	26.7%	20	11.6%	172
中2	42	22.6%	54	29.0%	53	28.5%	37	19.9%	186
高2	103	28.8%	99	27.7%	99	27.7%	57	15.9%	358
男	25	12.0%	32	15.3%	70	33.5%	82	39.2%	209
女	7	3.9%	26	14.5%	78	43.6%	68	38.0%	179
計	32	8.2%	58	14.9%	148	38.1%	150	38.7%	388



保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	295	87.8%	23	6.8%	18	5.4%	336
中2	308	91.7%	15	4.5%	13	3.9%	336
高2	294	81.9%	32	8.9%	33	9.2%	359

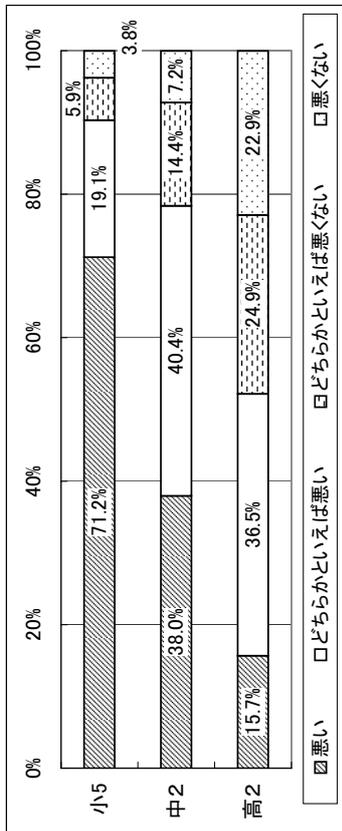


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	38	11.6%	174	52.9%	117	35.6%	329
中2	42	12.6%	183	55.0%	108	32.4%	333
高2	26	7.3%	182	51.3%	147	41.4%	355

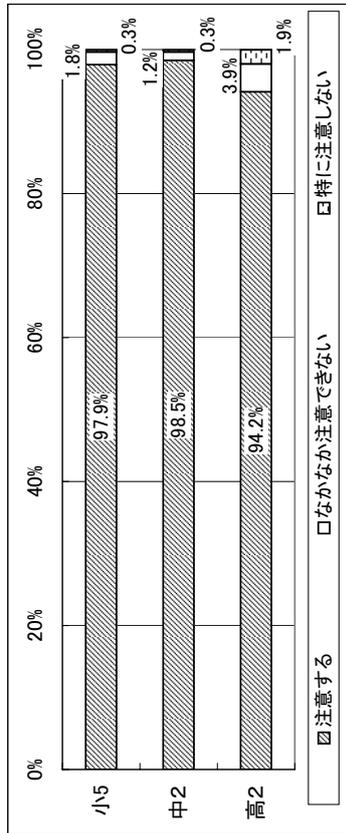


II-11 深夜散歩

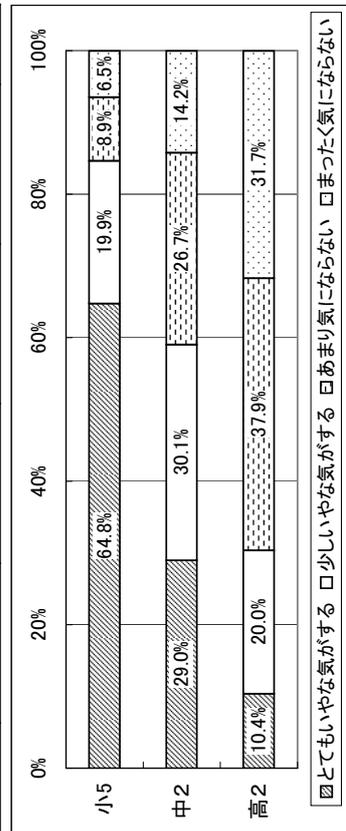
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
男	141	72.7%	33	17.0%	11	5.7%	9	4.6%	194
女	124	69.7%	38	21.3%	11	6.2%	5	2.8%	178
計	265	71.2%	71	19.1%	22	5.9%	14	3.8%	372
小5	67	38.3%	72	41.1%	24	13.7%	12	6.9%	175
中2	70	37.6%	74	39.8%	28	15.1%	11	7.5%	186
高2	137	38.0%	146	40.4%	52	14.4%	26	7.2%	361
計	32	15.2%	60	28.4%	52	24.6%	67	31.8%	211
男	29	16.3%	82	46.1%	45	25.3%	22	12.4%	176
女	61	15.7%	142	36.5%	97	24.9%	89	22.9%	389



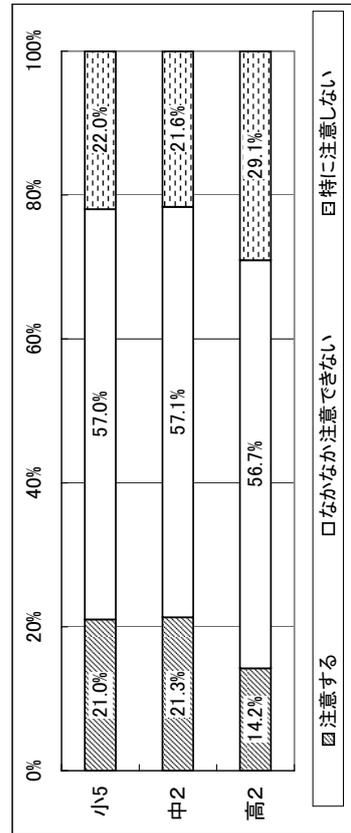
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	331	97.9%	6	1.8%	338
中2	332	98.5%	4	1.2%	337
高2	339	94.2%	14	3.9%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする	少しいやな気がする	あまりいやな気がする	まったく気にならない	回答数				
男	122	62.9%	39	20.1%	22	11.3%	11	5.7%	194
女	119	66.9%	35	19.7%	11	6.2%	13	7.3%	178
計	241	64.8%	74	19.9%	33	8.9%	24	6.5%	372
小5	51	29.5%	48	27.7%	44	25.4%	30	17.3%	173
中2	53	28.5%	60	32.3%	52	28.0%	21	11.3%	186
高2	104	29.0%	108	30.1%	96	26.7%	51	14.2%	359
男	17	8.1%	32	15.3%	73	34.9%	87	41.6%	209
女	23	13.1%	45	25.6%	73	41.5%	35	19.9%	176
計	40	10.4%	77	20.0%	146	37.9%	122	31.7%	385

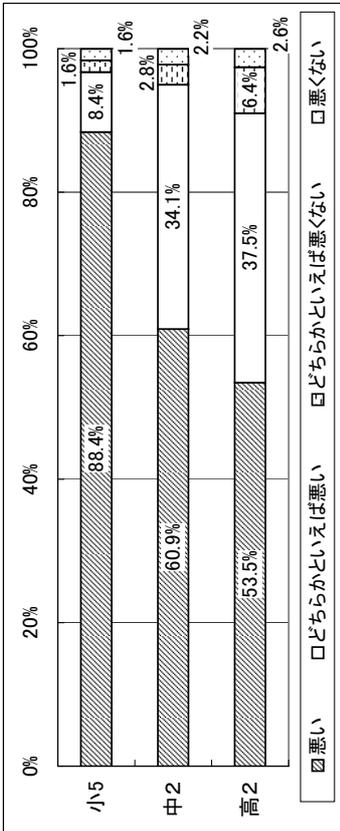


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	69	21.0%	187	57.0%	72	22.0%	328
中2	71	21.3%	190	57.1%	72	21.6%	333
高2	51	14.2%	203	56.7%	104	29.1%	358

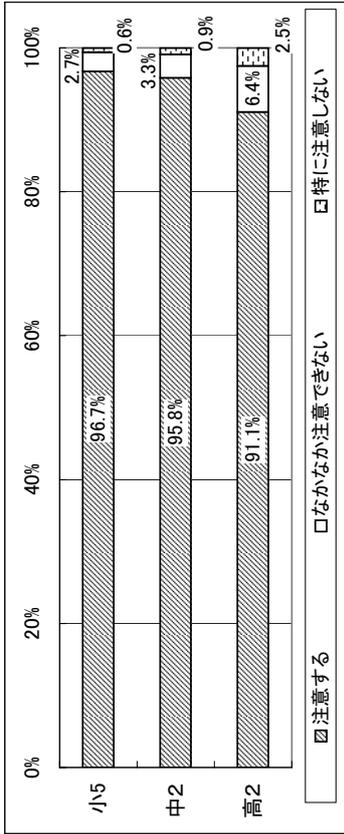


II-12 バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、大声で話したり騒いだりする

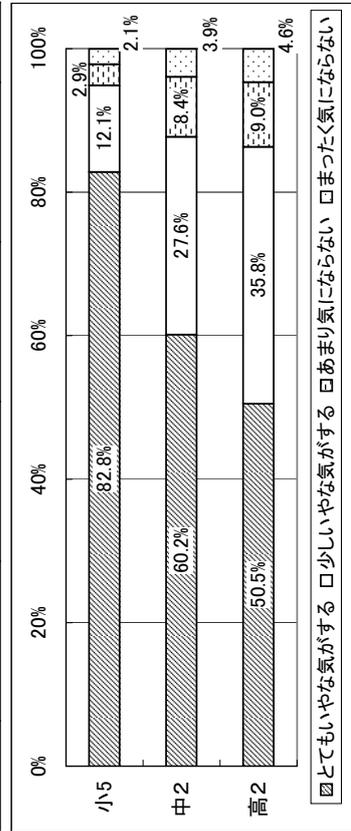
児童生徒①	悪い		どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない					
小5	男 172	89.1%	15	7.8%	2	1.0%	4	2.1%	193
	女 156	87.6%	16	9.0%	4	2.2%	2	1.1%	178
計	328	88.4%	31	8.4%	6	1.6%	6	1.6%	371
中2	男 117	66.9%	51	29.1%	3	1.7%	4	2.3%	175
	女 103	55.4%	72	38.7%	7	3.8%	4	2.2%	186
計	220	60.9%	123	34.1%	10	2.8%	8	2.2%	361
高2	男 123	58.6%	66	31.4%	14	6.7%	7	3.3%	210
	女 85	47.5%	30	44.7%	11	6.1%	3	1.7%	179
計	208	53.5%	146	37.5%	25	6.4%	10	2.6%	389



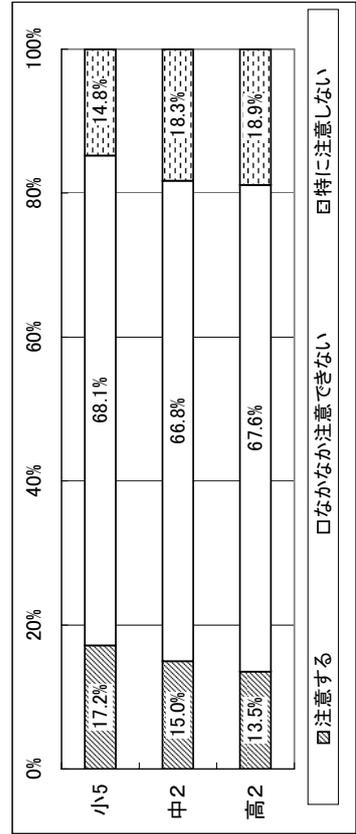
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	327	96.7%	2	0.6%	338
中2	323	95.8%	11	3.3%	337
高2	328	91.1%	23	6.4%	360



児童生徒②	とてもいやな気がする		少いやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない					
小5	男 159	81.5%	26	13.3%	4	2.1%	6	3.1%	195
	女 150	84.3%	19	10.7%	7	3.9%	2	1.1%	178
計	309	82.8%	45	12.1%	11	2.9%	8	2.1%	373
中2	男 112	64.7%	42	24.3%	11	6.4%	8	4.6%	173
	女 104	55.9%	57	30.6%	19	10.2%	6	3.2%	186
計	216	60.2%	99	27.6%	30	8.4%	14	3.9%	359
高2	男 117	56.0%	62	29.7%	17	8.1%	13	6.2%	209
	女 79	44.1%	77	43.0%	18	10.1%	5	2.8%	179
計	196	50.5%	139	35.8%	35	9.0%	18	4.6%	388

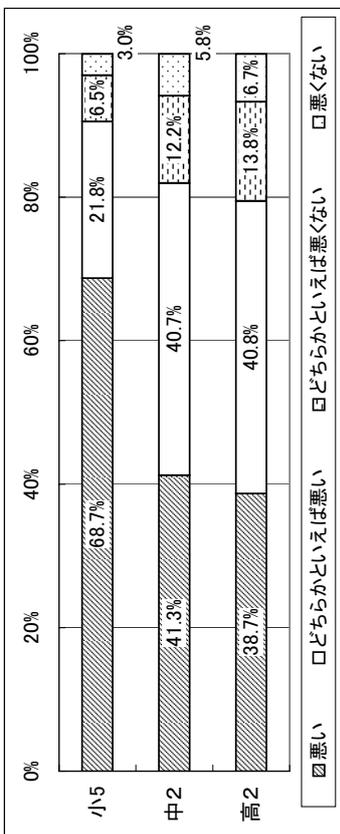


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	57	17.2%	226	68.1%	49	14.8%	332
中2	50	15.0%	223	66.8%	61	18.3%	334
高2	48	13.5%	240	67.6%	67	18.9%	355

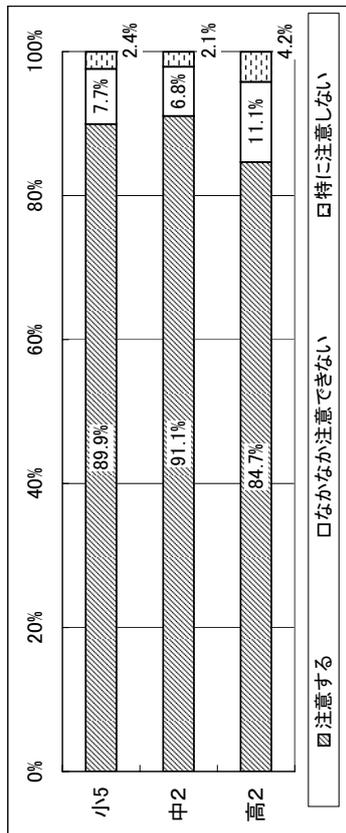


II-13 バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、携帯電話で話す

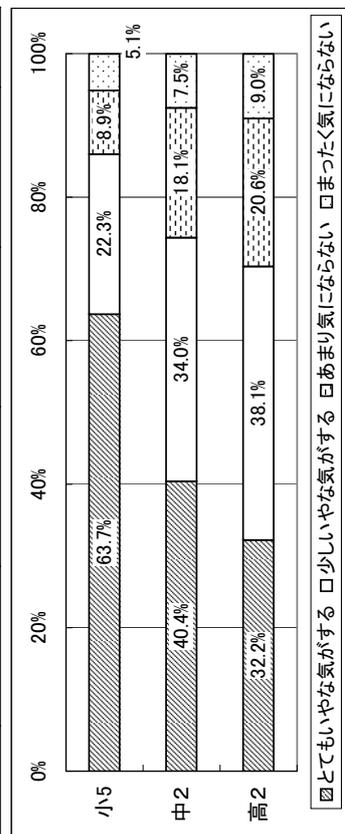
児童生徒①	悪い		どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	
小5	138	71.5%	32	16.6%	17	8.8%	6	3.1%	193
中2	117	65.7%	49	27.5%	7	3.9%	5	2.8%	178
高2	255	68.7%	81	21.8%	24	6.5%	11	3.0%	371
計	84	48.0%	63	36.0%	20	11.4%	8	4.6%	175
小5	65	34.9%	84	45.2%	24	12.9%	13	7.0%	186
中2	149	41.3%	147	40.7%	44	12.2%	21	5.8%	361
高2	95	45.0%	69	32.7%	30	14.2%	17	8.1%	211
計	56	31.3%	90	50.3%	21	11.6%	8	4.3%	179
計	151	38.7%	159	40.8%	54	13.8%	26	6.7%	390



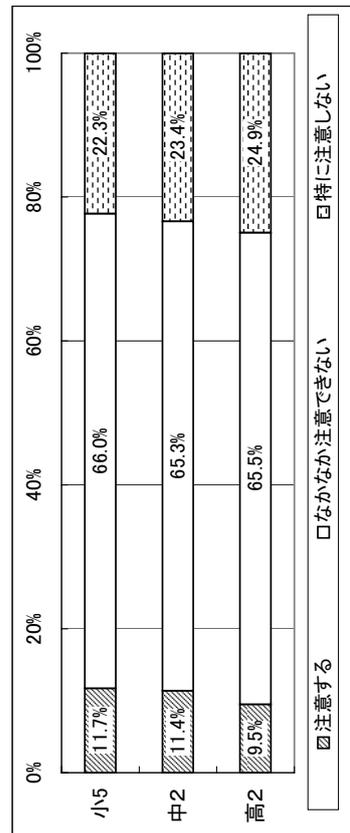
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	304	89.9%	8	2.4%
中2	306	91.1%	7	2.1%
高2	304	84.7%	15	4.2%



児童生徒②	とてもいやな気がする		少しいやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	
小5	128	66.0%	39	20.1%	16	8.2%	11	5.7%	194
中2	109	61.2%	44	24.7%	17	9.6%	8	4.5%	178
高2	237	63.7%	83	22.3%	33	8.9%	19	5.1%	372
計	82	47.4%	57	32.9%	25	14.5%	9	5.2%	173
小5	63	33.9%	65	34.9%	40	21.5%	18	9.7%	186
中2	145	40.4%	122	34.0%	65	18.1%	27	7.5%	359
高2	79	37.8%	68	32.5%	36	17.2%	26	12.4%	209
計	46	25.7%	80	44.7%	41	24.6%	9	5.0%	179
計	125	32.2%	148	38.1%	80	20.6%	35	9.0%	388

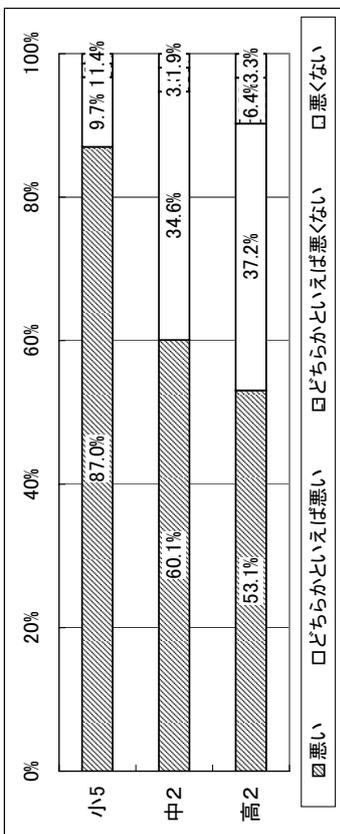


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	39	11.7%	219	66.0%
中2	38	11.4%	218	65.3%
高2	34	9.5%	234	65.5%

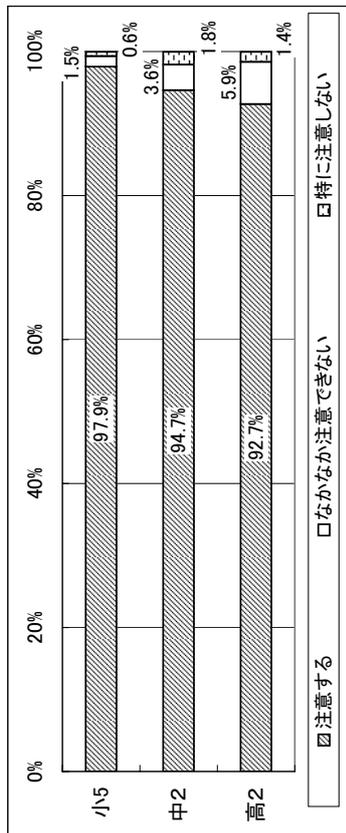


II-14 バスや電車の中で、座席を必要以上にとる

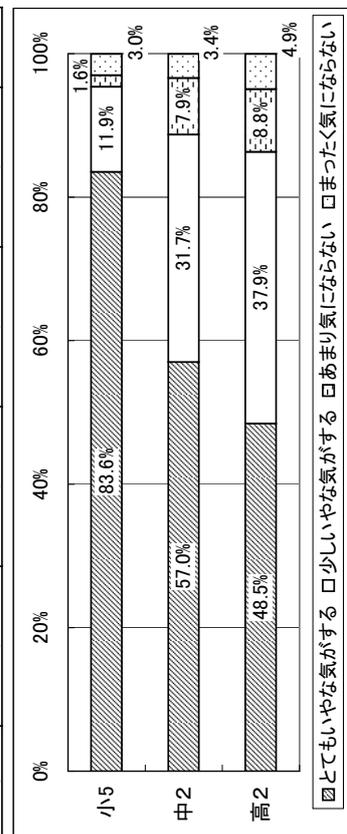
児童生徒①	悪い		どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	
小5	167	86.5%	19	9.8%	4	2.1%	3	1.6%	193
男	155	87.6%	17	9.6%	3	1.7%	2	1.1%	177
女	322	87.0%	36	9.7%	7	1.9%	5	1.4%	370
計	103	58.9%	63	36.0%	6	3.4%	3	1.7%	175
中2	114	61.3%	62	33.3%	6	3.2%	7	2.2%	186
男	217	60.1%	125	34.6%	12	3.3%	7	1.9%	361
女	114	54.0%	73	34.6%	15	7.1%	9	4.3%	211
計	93	52.0%	72	40.2%	10	5.6%	7	2.2%	172
高2	207	53.1%	145	37.2%	25	6.4%	13	3.3%	390



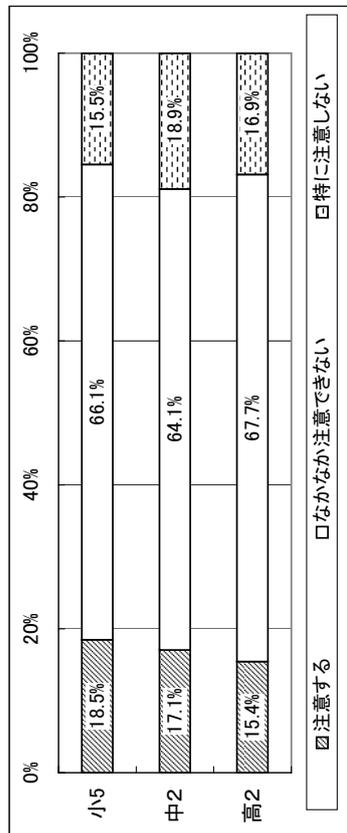
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	330	97.9%	2	0.6%
中2	319	94.7%	6	1.8%
高2	332	92.7%	5	1.4%



児童生徒②	とどまぬ気がする		少いやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
	とどまぬ気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	とどまぬ気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	
小5	159	82.0%	23	11.9%	4	2.1%	8	4.1%	194
男	151	85.3%	21	11.9%	2	1.1%	3	1.7%	177
女	310	83.6%	44	11.9%	6	1.6%	11	3.0%	371
計	92	53.8%	62	36.3%	9	5.3%	8	4.7%	171
中2	111	60.0%	51	27.6%	19	10.3%	4	2.2%	185
男	203	57.0%	113	31.7%	28	7.9%	12	3.4%	356
女	102	48.8%	76	36.4%	16	7.7%	15	7.2%	209
計	86	48.0%	71	39.7%	18	10.1%	11	2.2%	179
高2	188	48.5%	147	37.9%	34	8.8%	19	4.9%	388

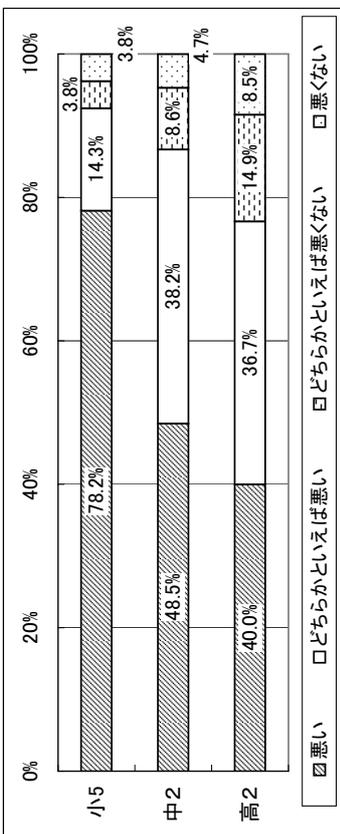


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数
小5	61	18.5%	218	66.1%
中2	57	17.1%	214	64.1%
高2	55	15.4%	241	67.7%

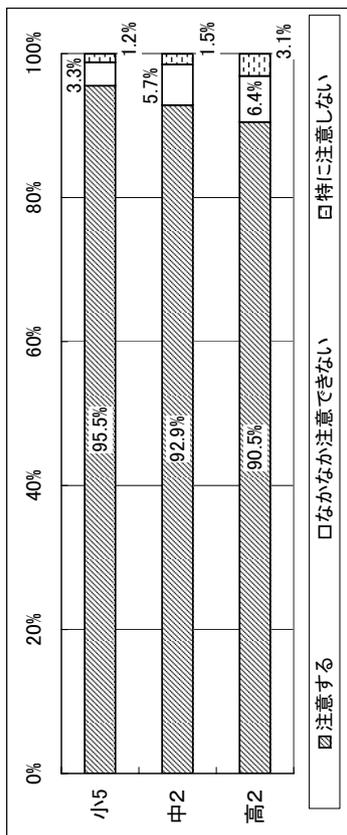


II-15 電車の通路や店さきなどで、しゃがみ込んだりじかに座ったりする

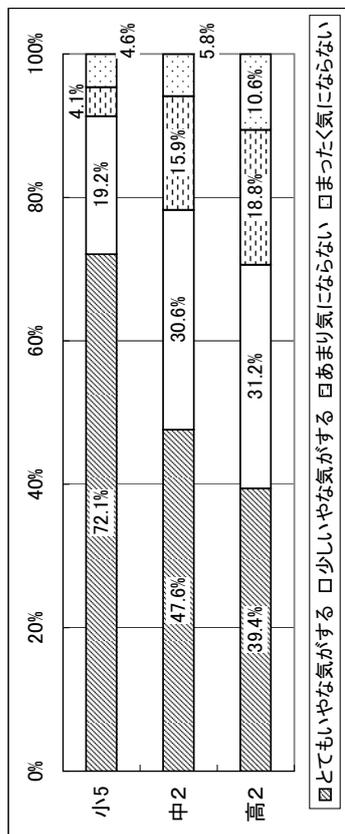
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
男	149	77.2%	26	13.5%	9	4.7%	193		
女	141	79.2%	27	15.2%	5	2.8%	178		
計	290	78.2%	53	14.3%	14	3.8%	371		
小5	86	49.1%	69	39.4%	11	6.3%	9	5.1%	175
中2	89	47.8%	69	37.1%	20	10.8%	4	3.3%	186
高2	175	48.5%	138	38.2%	31	8.6%	17	4.7%	361
計	87	41.2%	55	26.1%	43	20.4%	26	12.3%	211
男	69	39.5%	38	19.2%	15	8.4%	3	3.0%	179
女	156	40.0%	143	36.7%	58	14.9%	33	8.5%	390



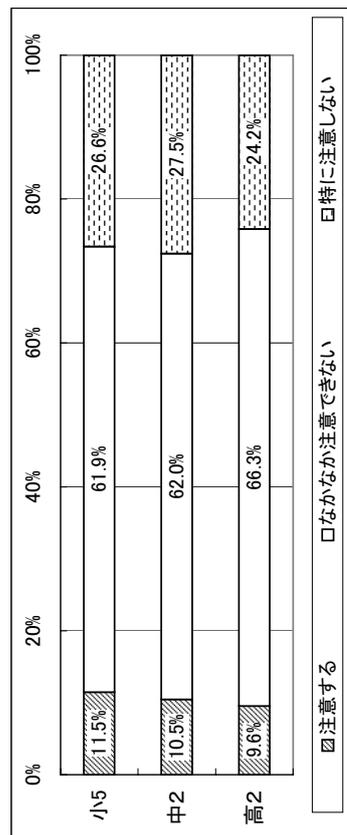
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	322	95.5%	11	3.3%	4	1.2%	337
中2	312	92.9%	19	5.7%	5	1.5%	336
高2	324	90.5%	23	6.4%	11	3.1%	358



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数				
男	135	70.7%	39	20.4%	7	3.7%	10	5.2%	191
女	131	73.6%	32	18.0%	8	4.5%	7	3.9%	178
計	266	72.1%	71	19.2%	15	4.1%	17	4.6%	369
小5	81	46.8%	58	33.5%	23	13.3%	11	6.4%	173
中2	90	48.4%	52	28.0%	34	18.3%	10	5.4%	186
高2	171	47.6%	110	30.6%	57	15.9%	21	5.8%	359
計	87	41.6%	49	23.4%	44	21.1%	29	13.9%	209
男	66	36.9%	72	40.2%	29	16.2%	12	6.7%	179
女	153	39.4%	121	31.2%	73	18.8%	41	10.6%	388

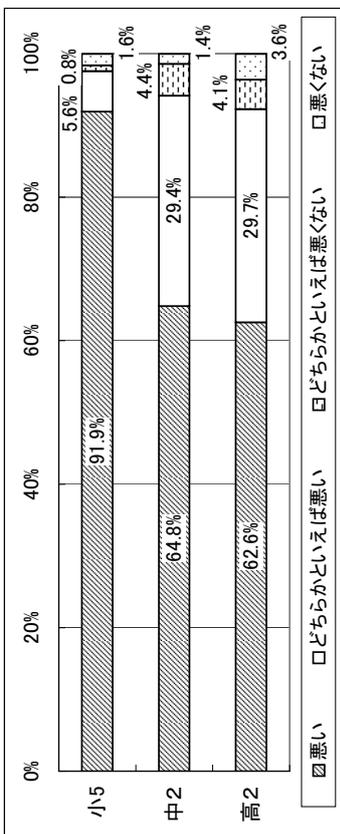


保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	38	11.5%	205	61.9%	88	26.6%	331
中2	35	10.5%	207	62.0%	92	27.5%	334
高2	34	9.6%	236	66.3%	86	24.2%	356

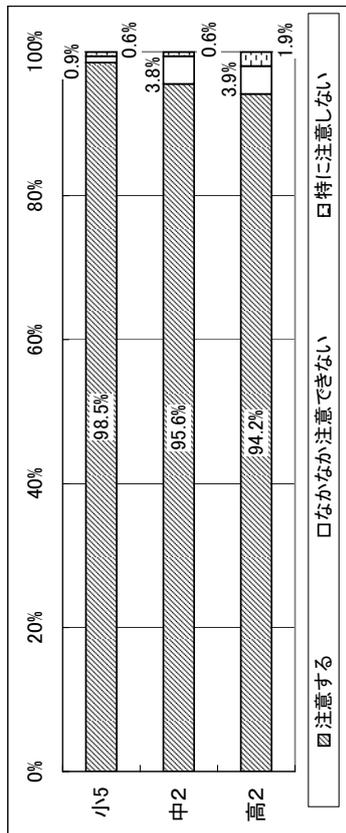


II-16 ごみをポイ捨てしたり置きっぱなしにしたりする

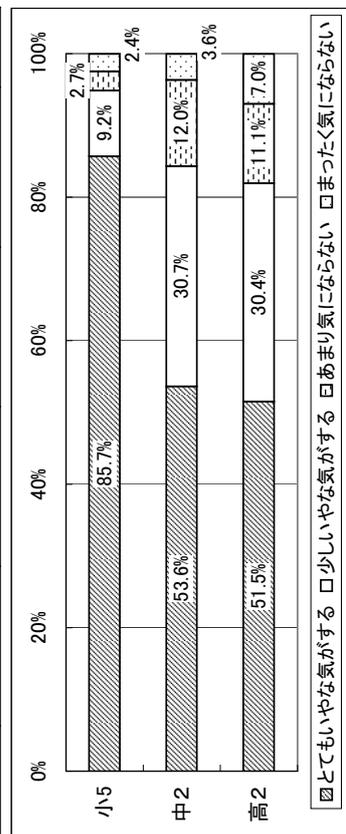
児童生徒①	悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数		
男	178	91.8%	11	5.7%	4	2.1%	194
女	164	92.1%	10	5.6%	2	1.1%	178
計	342	91.9%	21	6.1%	6	1.6%	372
小5	110	62.9%	52	29.7%	9	5.1%	175
中2	124	66.7%	54	29.0%	7	3.8%	186
高2	234	64.8%	106	29.4%	16	4.4%	361
計	134	63.5%	59	28.0%	8	3.8%	211
男	103	61.5%	57	31.8%	5	4.5%	172
女	108	65.5%	59	29.7%	11	2.2%	179
計	244	62.6%	116	29.7%	16	3.6%	390



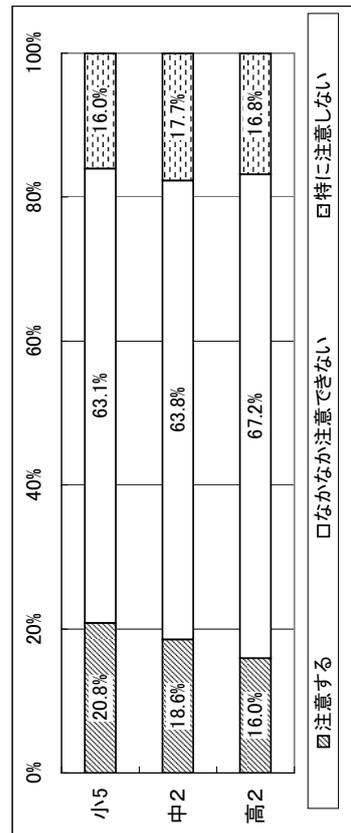
保護者①	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数	
小5	333	98.5%	3	0.9%	338
中2	323	95.6%	13	3.8%	338
高2	338	94.2%	14	3.9%	359



児童生徒②	とてもいやな気がする	少いやな気がする	あまり気にならない	まったく気にならない	回答数		
男	162	83.9%	20	10.4%	5	2.6%	193
女	156	87.6%	14	7.9%	5	2.8%	178
計	318	85.7%	34	9.2%	10	2.7%	371
小5	90	52.3%	50	29.1%	23	13.4%	172
中2	102	54.8%	60	32.3%	20	10.8%	186
高2	192	53.6%	110	30.7%	43	12.0%	358
男	104	49.8%	61	29.2%	26	12.4%	209
女	96	53.6%	57	31.8%	17	9.5%	179
計	200	51.5%	118	30.4%	43	11.1%	388



保護者②	注意する	なかなか注意できない	特に注意しない	回答数			
小5	69	20.8%	209	63.1%	53	16.0%	331
中2	62	18.6%	213	63.8%	59	17.7%	334
高2	57	16.0%	240	67.2%	60	16.8%	357



子どもの生活に関する調査
- 子どもの規範意識を高めるために -

発行 平成 18 年 3 月
栃木県総合教育センター 研究調査部
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070
TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303